

(仮称)横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事

図面リスト

A-00	表紙 図面リスト	-	A-21	鋼製建具キープラン・建具表 図示	S-01	構造設計標準仕様	-	
A-01	特記仕様書 (1)	-	A-22	木製建具キープラン・建具表 図示	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	-	
A-02	特記仕様書 (2)	-	A-23	天井伏図 1	1 : 50	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	-
A-03	特記仕様書 (3)	-	A-24	天井伏図 2・吹抜平面図	1 : 50	S-04	鉄骨構造標準図 (1)	-
A-04	特記仕様書 (4)	-	A-25	サインキープラン・リスト	図示	S-05	鉄骨構造標準図 (2)	-
A-05	特記仕様書 (5)	-	A-26	-	-	S-06	露出型固定柱脚 設計施工標準図	-
A-06	特記仕様書 (6)・工事区分表	-	A-27	家具キープラン・家具図	図示	S-07	基礎地盤説明書	-
A-07	工事概要・付近見取図	-	A-28	-	-	S-08	基礎伏図・1階床伏図(1階梁・1階柱伏図)	1 : 100
A-08	配置図 1	1 : 1000	A-29	雑詳細図 1	図示	S-09	小屋伏図(小屋梁・1階柱伏図)・下屋伏図(下屋梁・1階柱伏図)	1 : 100
A-09	配置図 2	1 : 200	A-30	雑詳細図 2	図示	S-10	屋根伏図(屋根梁・小屋束伏図)	1 : 100
A-10	面積表	1 : 100	A-31	法チェックリスト	1 : 100	S-11	Y通り軸組図	1 : 100
A-11	仕上表	-	A-32	外構平面図 1	1 : 200	S-12	X通り軸組図	1 : 100
A-12	平面図・屋根伏図	1 : 100	A-33	外構平面図 2	1 : 600	S-13	構造詳細図 (基礎リスト 1)	1 : 30
A-13	立面図	1 : 100	A-34	外構平面図 1 (撤去・移設)	1 : 200	S-14	構造詳細図 (基礎リスト 2)	1 : 30
A-14	断面図	1 : 100	A-35	外構平面図 2 (撤去)	1 : 600	S-15	構造詳細図 (地中梁リスト)	1 : 30
A-15	矩計図	1 : 50	A-36	外構詳細図 1	図示	S-16	構造詳細図 (柱脚・鉄骨リスト・基礎配筋図)	1 : 30
A-16	平面詳細図	1 : 50	A-37	外構詳細図 2	図示	S-17	構造詳細図 (鉄骨リスト)	1 : 20・30
A-17	展開図 1	1 : 50	A-38	外構詳細図 3	図示	S-18	構造詳細図・床スラブ断面表	1 : 30
A-18	展開図 2	1 : 50	A-39	仮設参考図	1 : 200	S-19	鉄骨詳細図 (Y 2 通り)	1 : 20・30
A-19	展開図 3	1 : 50				S-20	鉄骨詳細図 (EXP. J部・X 5 通り)	1 : 20・30
A-20	展開図 4	1 : 50						



特記仕様書		特記事項		特記事項		特記事項																								
<p>1. 本特記仕様書は、本工事における建築関連工事に適用する。</p> <p>2. 本特記仕様書における採用事項</p> <p>① 項目欄に番号等に○印を付したものを適用する。</p> <p>② 項目欄に○印を付し特記事項欄に○印を付していない場合は標準仕様書による。</p> <p>③ 特記事項に○印を付したものを適用する。但し○印の付かない場合は※印の付した事項を採用する。</p> <p>○印と※印を付した場合は共に適用する。</p> <p>3. 本特記仕様書に記載なき事項については下記による。</p> <p>○国土交通省大臣官房官務課部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版</p> <p>・国土交通省大臣官房官務課部監修 建築物解体工事共通仕様書 平成24年版</p> <p>4. その他事項</p> <p>・各項目欄の番号(例: 1.4 ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に照合する</p> <p>・各項目欄の番号(例: 1.* ○○○)は標準仕様書の番号(章番号を除く)に該当しない項目とする</p>		<p>③ 落下物、飛散物等による危害防止</p> <p>③* 洗車設備</p> <p>③* 仮排水</p> <p>2.3 埋戻し及び盛土</p> <p>②⑤ 建設発生土の処理</p> <p>3.3 山留めの撤去</p>		<p>3.4 継手及び定着</p> <p>3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔</p> <p>3.7 各部配筋</p> <p>4.9 圧接完了後の試験</p> <p>5.2 機械式継手</p> <p>5.3 溶接継手</p>		<p>10.1 一般事項</p> <p>10.2 材料及び割合</p> <p>11.2 材料及び割合</p> <p>12.2 材料及び割合</p> <p>13.2 材料及び割合</p> <p>14.1 一般事項</p> <p>15.1 一般事項</p>		<p>10. 軽量コンクリート</p> <p>土に接する軽量コンクリートの使用: ・使用する【使用箇所: ・図示 ・】</p> <p>水に接する軽量コンクリートの使用: ・使用する【使用箇所: ・図示 ・】</p> <p>軽量コンクリート種類: ・下表による ・図示 ・</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ルーブルコーン防水押え</td> <td>・1種・2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・屋上防水押え</td> <td>・1種・2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・浴室防水押え</td> <td>・1種・2種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>所要スランプ: ※21cm以下 ・18cm以下 ・図示 ・</p> <p>1.1. 高中コンクリート</p> <p>適用期間: ・図示 ・11月 日～4月 日まで</p> <p>積算温度の採用: ・採用する ・採用しない</p> <p>1.2. 量中コンクリート</p> <p>構造体強度補正値(S): ※6 N/mm²</p> <p>1.3. マスコンクリート</p> <p>セメントの種類: ・中濃熱がトランドメント ・低熱がトランドメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュB種 ・混合セメント</p> <p>混合セメントの混和材: ・フライアッシュ【・1種 ・II種】</p> <p>・高炉セメント 微粉末(400)</p> <p>所要スランプ: ・8cm以下 ・12cm以下 ※15cm以下 ・</p> <p>1.4. 無筋コンクリート</p> <p>適用箇所: ※標準仕様書5.14.1(d)による ・下表による ・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工部位</th> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>スランプ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・バルコニー防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td>※15以下 ※18以下</td> </tr> <tr> <td>・浴室防水押え</td> <td>・18 ・21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>1.5. 流動化コンクリート</p> <p>流動化コンクリートの適用: ・適用する【使用箇所: ・図示 ・】</p>		施工部位	種類	備考	・ルーブルコーン防水押え	・1種・2種		・屋上防水押え	・1種・2種		・浴室防水押え	・1種・2種		施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	スランプ	・バルコニー防水押え	・18 ・21	※15以下 ※18以下	・浴室防水押え	・18 ・21	
施工部位	種類	備考																												
・ルーブルコーン防水押え	・1種・2種																													
・屋上防水押え	・1種・2種																													
・浴室防水押え	・1種・2種																													
施工部位	設計基準強度(N/mm ²)	スランプ																												
・バルコニー防水押え	・18 ・21	※15以下 ※18以下																												
・浴室防水押え	・18 ・21																													
<p>1 章 一般共通事項</p> <p>① 工事実績情報登録</p> <p>①* 建築基準法の風圧</p> <p>① 積雪に関する規定</p> <p>③ 電気保安技術者</p> <p>③ 施工条件</p> <p>③ 11 発生材の処理等</p> <p>④ 使用材料</p> <p>5.9 化学物質の濃度測定</p> <p>⑦ 1 完成時の提出図書</p> <p>⑦ 2 完成図</p> <p>⑦ 3 安全に関する資料</p>		<p>①* 地業工事</p> <p>2.2 試験杭</p> <p>2.3 杭の載荷試験</p> <p>2.4 地盤の載荷試験</p> <p>3.1 適用範囲</p> <p>3.2 材料</p> <p>3.3 打込み工法</p> <p>3.4 杭の打込み工法</p> <p>3.5 特定埋設杭工法</p> <p>4.1 適用範囲</p> <p>4.2 材料</p> <p>5.1 適用範囲</p> <p>5.3 材料その他</p> <p>5.4 7-スリット工法, 7-スリット工法</p> <p>5.5 場所打鋼管コンクリート杭工法, 拡張杭工法</p> <p>6.3 砂利及び砂地業</p> <p>6.4 捨てコンクリート</p> <p>6.5 床下防湿層</p> <p>①* 鉄筋工事</p> <p>2.1 鉄筋</p> <p>2.2 溶接金網</p>		<p>①* コンクリート工事</p> <p>2.1 コンクリートの種類</p> <p>2.2 コンクリートの強度</p> <p>2.4 7-スリット及びびくろ</p> <p>2.5 構造コンクリートの仕上り</p> <p>3.1 コンクリートの材料</p> <p>3.2 コンクリートの割合</p> <p>3.3 打混ぜ</p> <p>8.2 一般事項</p> <p>③ 9 材料</p> <p>8.3 材料</p>		<p>①* 鉄骨工事</p> <p>1.3 鉄骨製作工場</p> <p>2.1 鋼材</p> <p>2.2 高力ボルト</p> <p>2.3 普通ボルト</p> <p>2.4 アカボルト</p> <p>2.5 溶接材料</p> <p>2.6 トリプル</p> <p>2.7 フライアッシュ</p> <p>2.8 レール</p> <p>2.9 柱底均しモルタル</p> <p>2.10 材料試験等</p> <p>3.2 工作図</p>																								
<p>2 章 仮設工事</p> <p>① 監督員事務所、受注者事務所等</p> <p>① 工事用水</p> <p>① 工事電力</p> <p>③ 仮囲い</p>		<p>①* 鉄筋工事</p> <p>2.1 鉄筋</p> <p>2.2 溶接金網</p>		<p>①* 鉄骨工事</p> <p>1.3 鉄骨製作工場</p> <p>2.1 鋼材</p> <p>2.2 高力ボルト</p> <p>2.3 普通ボルト</p> <p>2.4 アカボルト</p> <p>2.5 溶接材料</p> <p>2.6 トリプル</p> <p>2.7 フライアッシュ</p> <p>2.8 レール</p> <p>2.9 柱底均しモルタル</p> <p>2.10 材料試験等</p> <p>3.2 工作図</p>		<p>10.1 一般事項</p> <p>10.2 材料及び割合</p> <p>11.2 材料及び割合</p> <p>12.2 材料及び割合</p> <p>13.2 材料及び割合</p> <p>14.1 一般事項</p> <p>15.1 一般事項</p>																								



公共建築局長

承認 設計 設計年月日
年月日
2019.10

工事名(仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
図面名称 特記仕様書(1) Scale

Table with 8 main columns (A-H) detailing technical specifications for building materials and construction methods. Each column contains item numbers, descriptions, and specific technical requirements. Includes tables for material properties, waterproofing methods, and tile specifications.



承認設計 設計年月日 年月日 2019.10

工 事 名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事 図面番号 図面名称 特記仕様書 (2) Scale

Table with 3 columns: Item (項目), Particulars (特記事項), and Material/Work (材料/工事). It details specifications for exterior finishing materials, including types of coatings, application methods, and performance requirements.

Table with 3 columns: Item (項目), Particulars (特記事項), and Material/Work (材料/工事). It details specifications for window and door hardware, including types of sets, materials, and performance requirements.

Table with 3 columns: Item (項目), Particulars (特記事項), and Material/Work (材料/工事). It details specifications for glass and window treatments, including types of glass, coatings, and hardware.

Table with 3 columns: Item (項目), Particulars (特記事項), and Material/Work (材料/工事). It details specifications for floor and wall treatments, including types of sheets, coatings, and materials.



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
19	2 材料	ビニル幅木の高さ: ②30mm・100mm・300mm 接着剤のMMA7F7D'放数量: ※☆☆☆・F☆☆☆ 下地の工法: ①図示 ※標準仕様書による 熱溶接工法: ①適用する・適用しない	19	9.2 断熱材打込み工法	9. 断熱・防露 種類 種類別 厚さ(mm) ・ビーズ法'リソソフォーム' 25 ・押出法'リソソフォーム' 3種: 土間コンクリート下層 25・50 ・硬質ウレタンフォーム' A種' 25 ・フェノールフォーム' ※F☆☆☆☆' F☆☆☆ 接着剤のMMA7F7D'放数量: ※F☆☆☆☆・F☆☆☆ 材料: ※吹付け硬質ウレタンフォーム 種類: ※A種1 難燃材: 1級・2級・3級 吹付け厚さ(mm) ①図示 25・30・20	20	① 階段すり	*. その他工事 笠木: ・ビニル製・造作集成材 受け材: ・スチール・ステンレス 材種: ・木製・スチール製・FRP製 ボックスの種類: ・カーテン・ブラインド・スリット 操作方法: ・プルコード式・チェーン式 材質: ・図示 巾・高さ: ・図示 黒板の種類/色/枠: ・焼付け/緑/FRP/鋼合金・焼付け/黒/木製 ホワイトボードの種類/色/枠: ・ほうろろ/白/FRP/鋼合金 種類: ・銘名板・融着銘名板 寸法/材質/仕上げ: 文字数/字体: ・字程度/ 体 枠材/形状: ・図示 スチール製/ 枠材/形状: ・FRP製/幅1.0mm・木製/幅1.0mm 仕上材: ・特殊発泡加工ビニル貼(周囲押縁) 材質: ①図示・ステンレス・FRP/鋼合金・真鍮 高さ: ・図示・1.8m程度・天井まで 材質: ②FRP/鋼合金製・塩化ビニル製 材質: ・ステンレス製 形状: ・への字型: 幅 mm・ハット型: 40mmx20mm 目地棒型: 6mm 材質: ・塩化ビニル製 耐腐食性能: ・不燃・準不燃・難燃 表面材: ・図示・ビニル張り 形式: ・図示・両開・片開 折りたたみ幅(mm): ・図示 パネル厚さ: ・図示 表面仕上げ: ・図示 接点の接合位置: ・有・無 材質等: ③FRP/鋼合金製(内外枠共) 寸法(mm): ④450x450・600x600 材質: ・FRP/鋼合金製(目地材共) 寸法(mm): ・450x450・600x600 材質: ・木製【・米松・米柏】・FRP/鋼合金製【厚さ: ・3.0mm】 材質等: ・硬質塩化ビニル管50φ(内側FRP/鋼合金製防虫網外側折付枠FRP/鋼合金製) ⑤床下換気金物 ・鋼鉄(コナール厚9mm)・樹脂製 ・FRP/鋼合金製打ち・裏打ちなし ⑥レジスター・固定ガラリ ・既製品(外部水切り付固定ガラリ 内部FRP/鋼合金製防虫網(外壁取付時)) 種類: ・一般型・防水型・防臭型 性能: ・防水防臭型【・化粧型・一般型】 壁: ・有・無	21	① 材料	3. 街きよ、縁石及び側溝 縁石の形状・寸法: ①図示 L形側溝の形状・寸法: ・図示 U形側溝の形状・寸法: ・図示 U形側溝の蓋の形状・寸法: ・図示 コンクリートの種類: ※無筋コンクリート・図示 コンクリートの材料強度: ※18N/mm ² ・21N/mm ² ・図示 地盤の材料: ・砂利地盤【・再生砕石・切込砕石】 砂利地盤の厚み: ※100mm・図示 地盤の材料: ・砂地盤【・山砂・川砂・砕砂】 砂地盤の厚み: ※100mm・図示
3.4	3 工法	3. カーペット敷き ①織じゅうたん 種類: ・A種・B種・C種 パイル形状: ・カットパイル・ループパイル・カットループ併用 色柄: ・無地・柄物 帯電性の適用: ・適用しない・適用する(人体帯電圧: ※3kV以下) ②タフテッドカーペット パイル形状: ・ループ・カット パイル長: ・図示 mm ③ニードルパンチカーペット 厚さ: ・4mm・7mm ④タイルカーペット パイル形状 種類 寸法(mm) 総厚さ(mm) ①カットパイル ※第1種 ③300x500 ※6.0 ②カットパイル ※第2種 ③カットループ併用	20	② 外装工事	① 軽量軒天井材 ② 無塗装品 基材: ・ダイライト 火山性ガラス繊維層板(VSA'ド') 9. ①2.0 ③ セメントボード基材内外装システム ベースコート厚5mm 特殊粉末樹脂入り既調合セメント系下地調整材 JIS A6916セメント系下地調整材 適合 両面ガラス繊維ネット張セメントモルタル板 t12.5 芯材: 骨材入りポルトランドセメントモルタル ガラス繊維ネット: 耐アルカリ性	21	2.1 材料	2. 路床 凍上抑制層の適用: ①適用しない・適用する 厚さ: ・車道部 mm・歩道部 mm 透水性舗装のフィルター層の適用: ・適用しない・適用する 厚さ: ・車道部 mm・歩道部 mm 路床安定処理の適用: ・適用しない・適用する 方法: ・添加材による処理・図示 盛土の種類: ・A種・B種・C種・D種 路床安定処理用添加材: ・普通砕石/山砂・高炉セメント・FRP/鋼合金 ・消石灰【・特号・1号】・生石灰【・特号・1号】 ジオテキスタイルの適用: ・適用しない・適用する 路床土のCBR試験: ・行わない・行う【・乱した土・乱さない土】 路床締め度試験: ・行う・行わない 現場CBR試験: ・行わない・行う			
7.2	2 材料	7. せっこうボードその他ボード及び合板張り 規格名称 種類 記号 厚さ(mm) 木質系せっこうボード ・木毛せっこうボード ・木片せっこうボード せっこうボード製品 ①せっこうボード GB-R ③9.5・12.5 ②セグメントせっこうボード GB-S ③9.5・12.5 ③強化せっこうボード GB-F ③12.5・15.0 ④普通硬質せっこうボード GB-R-H ③9.5・12.5 ⑤化粧せっこうボード(1層) GB-D ③9.5・12.5 ⑥化粧せっこうボード ③9.5・12.5 繊維強化せっこうボード ・FRP/鋼合金板(化粧) ③0.8FK ③6・8・10 ④1.0FK ③6・8・10 ロックウール吸音板 ①ロックウール化粧吸音板 RB ③9.0・12.0	20	2.2 2.1 7.2 7.3 工法	2. ユニット工事等 施工箇所 材質・形状・寸法 表面仕上材質・形状・寸法 ・FRP/鋼合金板: 450x450x50 ③帯電防止ビニル床材: 450x450x2.5 ・スチール: 500x500x50 ③化粧ボード: 500x500x6.5 ・樹脂製: 500x500x50 耐震性能: ・0.6G・1.0G 所定荷重: ・3,000N・5,000N 耐衝撃性能: ・0.6G・1.0G 帯電防止性能: ④試験 耐荷重性能: ※標準仕様書による 耐衝撃性能: ※標準仕様書による ローリングロード性能: ※標準仕様書による 耐燃性能: ※標準仕様書による 適用地震時水平力 寸法精度: ※±0.5mm 構造形式による種類 ・S・P・SP・M・O・F 構成材の種類 ・N・D・N・AL・ST・E・W・st 遮音性 ①0・12・20・28・36 パネルのMMA7F7D'放数量: ※F☆☆☆☆・F☆☆☆ パネル表面仕上げ: 取付建具形状・寸法: ・図示 材質: ・FRP/鋼合金板/代り・床材一体型ビニルシート 形状・寸法: ・図示 取付工法: ※接着工法・埋込み工法 厚さ: ①5mm・8mm 種類 形状・寸法 材質 ・衝突防止表示 ①図示 ・FRP/鋼合金 ・壁名札 ①図示 ・80x200 ・FRP/鋼合金/スチール ・FRP/鋼合金/カーティングシート ②外装ガラリ ①図示 ・200x200 ・FRP/鋼合金/キックフィルム ・FRP/鋼合金/スチール ・FRP/鋼合金/カーティングシート ・FRP/鋼合金/スチール ・FRP/鋼合金/カーティングシート ③非常口ステッカー ①図示 ①塩ビ	21	2.2 2.1 7.2 7.3 工法	2. 屋外雨水排水 材質: ・透心力鉄筋コンクリート管・硬質塩化ビニル管【・VP・VU】 ・FRP/鋼合金製塩化ビニル管(RS-VU) ・排水用硬質塩化ビニル管継手(DV) ・屋外排水設備用硬質塩化ビニル管継手(VU継手) 管径: ・図示 製溝(形状・寸法): ・図示 製溝(形状・寸法): ・図示 排水溝(形状・寸法): ・図示・現場打ち角型: 600x600 ・コンクリート既設溝: 300x300 ④側溝レーシング 材質: ・図示・鋼製・FRP/鋼合金製 適用荷重: ・図示・歩行用・T-2・T-6・T-14・T-20・T-25 メインバーピッチ等: ・図示・普通目・細目/ブレン・細目/ノリック ⑤側溝レーシング 材質: ・図示・鋼製・FRP/鋼合金製 適用荷重: ・図示・歩行用・T-2・T-6・T-14・T-20・T-25 メインバーピッチ等: ・図示・普通目・細目/ブレン・細目/ノリック 地盤の材料: ・砂利地盤【・再生砕石・切込砕石・切込砂利】 地盤の材料: ・砂地盤【・山砂・川砂・砕砂】 砂のふるい分け試験: ・適用する・適用しない 埋戻し材料: ・A種 ※B種・C種・D種 盛土地盤等の工法: ・図示 継手の工法: ・図示 ⑥透心力鉄筋コンクリート管 基礎の厚さ: ・図示 基礎の種類: ・図示 ⑦硬質ポリ塩化ビニル管 基礎の厚さ: ・図示 基礎の種類: ・図示 継手の種類: ※接着材・ゴム輪			
8.2	2 材料	8. 壁紙張り 防火性能の指定: ・下表による ①図示 品質 検定区分 施工箇所 ・フクロ系 1級・2級 ・織物系 1級・3級・4級 ・アクリル系 1級・2級 ②無地ごしらえ モルタル面及びプラスター面: ・A種 ※B種 せっこうボード及びその他ボード面: ①A種 ※B種	20	2.3 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 2.7 2.8 2.9 2.10 2.11 2.12 2.13 2.14 2.15 2.16 2.17 2.18 2.19 2.20 2.21 2.22 2.23 2.24 2.25 2.26 2.27 2.28 2.29 2.30 2.31 2.32 2.33 2.34 2.35 2.36 2.37 2.38 2.39 2.40 2.41 2.42 2.43 2.44 2.45 2.46 2.47 2.48 2.49 2.50 2.51 2.52 2.53 2.54 2.55 2.56 2.57 2.58 2.59 2.60 2.61 2.62 2.63 2.64 2.65 2.66 2.67 2.68 2.69 2.70 2.71 2.72 2.73 2.74 2.75 2.76 2.77 2.78 2.79 2.80 2.81 2.82 2.83 2.84 2.85 2.86 2.87 2.88 2.89 2.90 2.91 2.92 2.93 2.94 2.95 2.96 2.97 2.98 2.99 3.00	21	2.2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 2.7 2.8 2.9 2.10 2.11 2.12 2.13 2.14 2.15 2.16 2.17 2.18 2.19 2.20 2.21 2.22 2.23 2.24 2.25 2.26 2.27 2.28 2.29 2.30 2.31 2.32 2.33 2.34 2.35 2.36 2.37 2.38 2.39 2.40 2.41 2.42 2.43 2.44 2.45 2.46 2.47 2.48 2.49 2.50 2.51 2.52 2.53 2.54 2.55 2.56 2.57 2.58 2.59 2.60 2.61 2.62 2.63 2.64 2.65 2.66 2.67 2.68 2.69 2.70 2.71 2.72 2.73 2.74 2.75 2.76 2.77 2.78 2.79 2.80 2.81 2.82 2.83 2.84 2.85 2.86 2.87 2.88 2.89 2.90 2.91 2.92 2.93 2.94 2.95 2.96 2.97 2.98 2.99 3.00	22	2.2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 2.7 2.8 2.9 2.10 2.11 2.12 2.13 2.14 2.15 2.16 2.17 2.18 2.19 2.20 2.21 2.22 2.23 2.24 2.25 2.26 2.27 2.28 2.29 2.30 2.31 2.32 2.33 2.34 2.35 2.36 2.37 2.38 2.39 2.40 2.41 2.42 2.43 2.44 2.45 2.46 2.47 2.48 2.49 2.50 2.51 2.52 2.53 2.54 2.55 2.56 2.57 2.58 2.59 2.60 2.61 2.62 2.63 2.64 2.65 2.66 2.67 2.68 2.69 2.70 2.71 2.72 2.73 2.74 2.75 2.76 2.77 2.78 2.79 2.80 2.81 2.82 2.83 2.84 2.85 2.86 2.87 2.88 2.89 2.90 2.91 2.92 2.93 2.94 2.95 2.96 2.97 2.98 2.99 3.00	23	2.2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 2.7 2.8 2.9 2.10 2.11 2.12 2.13 2.14 2.15 2.16 2.17 2.18 2.19 2.20 2.21 2.22 2.23 2.24 2.25 2.26 2.27 2.28 2.29 2.30 2.31 2.32 2.33 2.34 2.35 2.36 2.37 2.38 2.39 2.40 2.41 2.42 2.43 2.44 2.45 2.46 2.47 2.48 2.49 2.50 2.51 2.52 2.53 2.54 2.55 2.56 2.57 2.58 2.59 2.60 2.61 2.62 2.63 2.64 2.65 2.66 2.67 2.68 2.69 2.70 2.71 2.72 2.73 2.74 2.75 2.76 2.77 2.78 2.79 2.80 2.81 2.82 2.83 2.84 2.85 2.86 2.87 2.88 2.89 2.90 2.91 2.92 2.93 2.94 2.95 2.96 2.97 2.98 2.99 3.00	

項目	特記事項
23章 植栽及び屋上緑化工事	3. 植樹 樹木の樹種/寸法/株立ち数等: ○図示 支柱材: ※丸太【杉・松】・竹 支柱材の防腐処理方法: ※加圧防腐処理・焼き丸木処理 幹巻き用材料: ※幹巻き用テープ・わら及びこも 支柱の工法: ○図示・添え柱形・鳥居形・八掛形 補償期間: ※引渡しの日から1年 3.3 新植の工法 3.4 新植樹木の枯損償 3.6 移植樹木の枯損処置 補償期間: ※引渡しの日から1年
4.2 材料	4. 芝張り、吹付けは種及び地被類 芝の種類: ※コシバ・バシバシ 吹付けは種用種子の種類/量: ※標準仕様書による・洋芝類 (E/m ²) 地被類の樹種/芽立数/コンテナ径/コンテナ数: ○図示
4.3 芝張りの工法	芝張りの工法(平地): ※目地張り・べた張り 芝張りの工法(法面): ○目地張り ※べた張り
4.7 芝張り***	補償期間: ※引渡しの日から1年 ***の枯損償

屋内	項目	分類				備考	設備配線配管	項目	分類				備考
		建築	電気	衛生	空調				建築	電気	衛生	空調	
1. 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	○					機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共) 機器付属の制御盤への電源供給配管配線 空調機とリモコンスイッチ及び渡り配線配管 空調室外機と室内機の渡り配線(冷媒管共巻き) 空調機集中コントローラーの渡り配線配管 空調機集中コントローラーの電源供給配線配管 一般換気機器手元スイッチ、渡り配線配管、連動制御 一般換気の24時間スイッチ 同上支給品の取付	○	○		2次側		
	補強を要しないボードの切り込み		○	○	○			○			1次側		
	開口部の墨出し		○	○	○				○				
	2. つりボルト	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○	○					○		
		3. 水まわり	流し台・洗面カウンター下部収納	○					流しトラップあり			○	
			水栓・ボール			○							
			鏡		※	○			※姿見鏡のみ				
			衛生器具ユニット・ユニット手すり			○							○
	紙巻器				○							○	
	ベビーシート(取付共)		○									○	
下地補強(穴あけ共)		○											
4. 防火・防犯	埋込型消火器+AEDボックス	○											
	消火器本体・AED					○	備品						
	消火器本体・収納箱(SUS)		○				変電設備						
5. その他	点検口(壁・天井・床下)	○											
	誘導標識	○											
展示関連一般事項													
								分類					
								建築	電気	空調	展示	別途	
建築内装壁仕上げ工事								○					
天井仕上げ工事								○					
天井・壁面取付展示物設置								※		○		※トラス受金物	
床仕上げ工事								○					
一般照明・コンセント設備工事									○				
空調設備工事										○			
運営備品搬入・家具等設置												○	
展示室・ガラスシアターA/V機器・制御機器の搬入								※			○	※天井スピーカー開口補強 ※アクリル吊下用補強	
同上A/V機器・制御機器の据付・試験調整											○		
同上A/V機器・制御機器への配管配線・結線											○		
演出照明・配管配線・器具取付 結線分電盤接続・試験								※			○	※第1ボックスまで	
建築照明・配管配線・器具取付 結線分電盤接続・試験									○				
コンセント設備・配管配線・器具取付 結線分電盤接続・試験									○				
サイン工事									○		○		
誘導標識の設置									○				
分電盤取付・総合試験									○				
電話設備・配管配線・モジュラーヤック取付									○				
電話機器類												○	
トイレ呼出装置一式									○				
電力申請費用									○				
電気主任技術者立会費用												○	
電話申請費用												○	
その他													



承認 設計 設計年月日
年月日
2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
図面名称 特記仕様書(6)・工事区分表 Scale

□ 敷地概要

申請地 横須賀市東逸見町1丁目14-9, -12, -13
 汐入町1丁目1-1の一部, -6, -8 本町3丁目26-2の一部

用途地域 第1種住居地域 (60%/200%) 商業地域 (80%/400%)
 準防火地域 防火地域 商業地域 (80%/400%)

敷地面積 25,548.47 m²
 (22,657.33+2,891.14)

道路 前面道路幅員: 27.30m 接道長さ: 362.239m

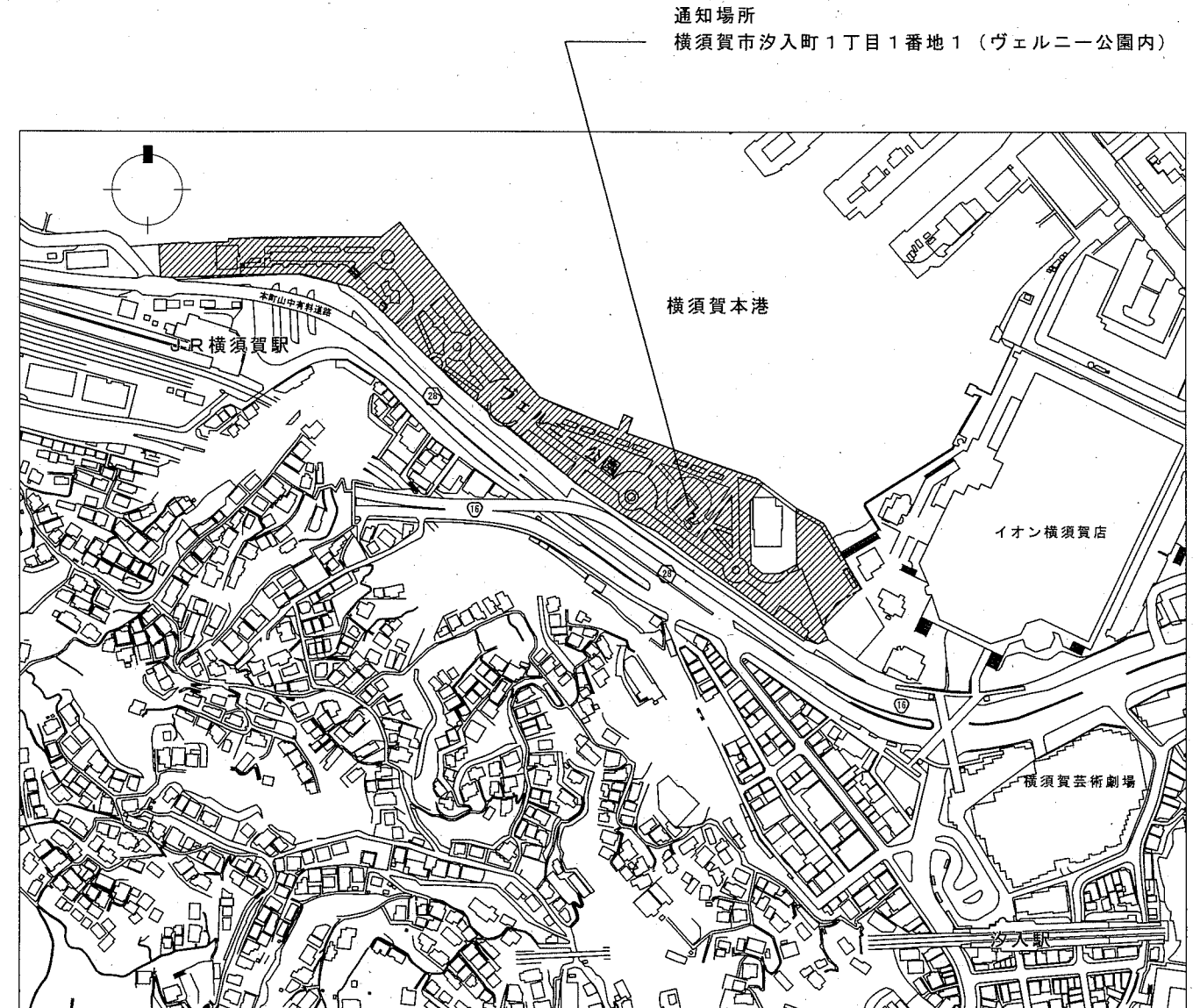
□ 建物概要 建物用途: 08140ガイダンスセンター (教養施設)

工事種別: 増築工事 構造・階数: 鉄骨造 平屋建

最高の高さ: 9.140 m 最高の軒高: 4.305 m 平均地盤面: ±0m

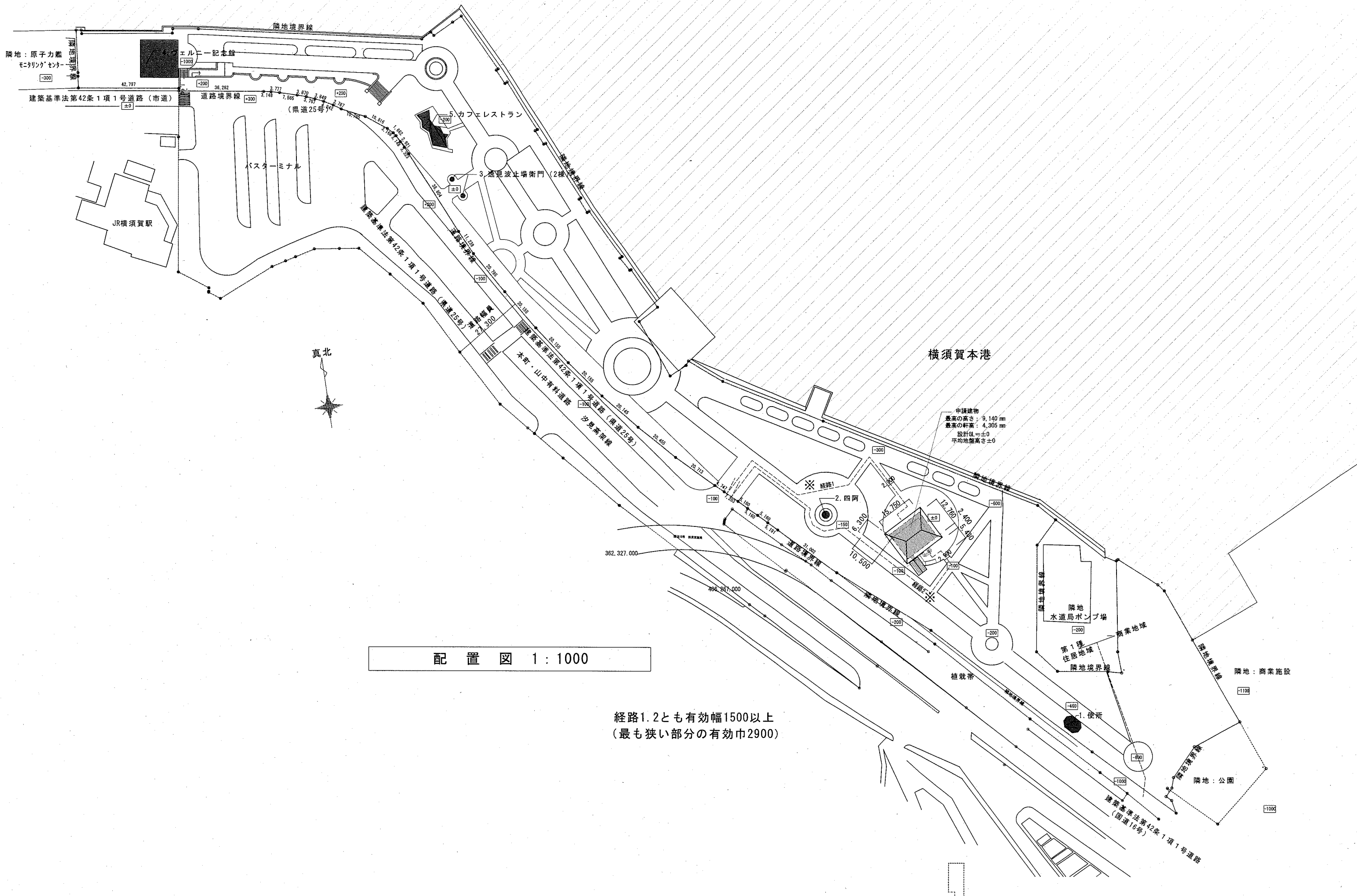
	申請以外の部分	合計	
建築面積:	253.56 m ²	392.04 m ²	645.60 m ² 建蔽率: 2.53%

	申請以外の部分	合計	
延床面積:	221.97 m ²	398.83 m ²	620.80 m ² 容積率: 2.43%




付近見取図

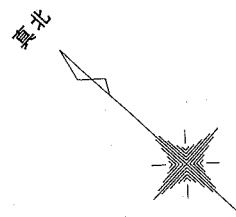




配置図 1:1000

経路1.2とも有効幅1500以上
(最も狭い部分の有効巾2900)

	承認	設計	設計年月日	工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事 図面名称 配置図 1 Scale N.S. A3 1:1000 A2	図面番号 A-08
			年月日 2019.10		

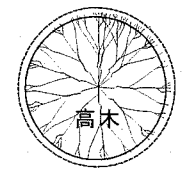


ポンプ場

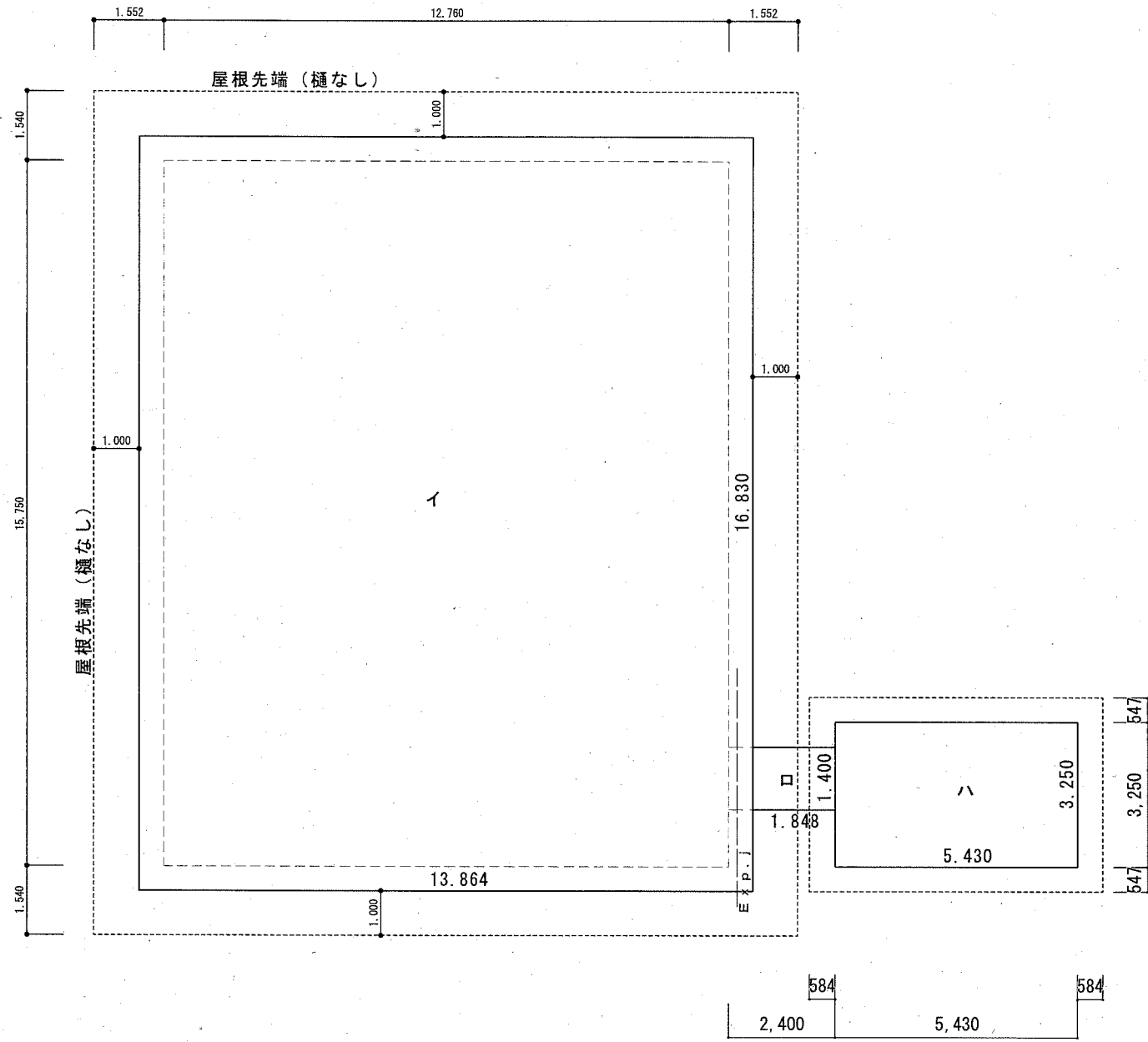
※敷地内通路
経路1.2とも有効幅1500以上
(最も狭い部分の有効巾2900)

凡例
□ : 雨水
○ : 汚水

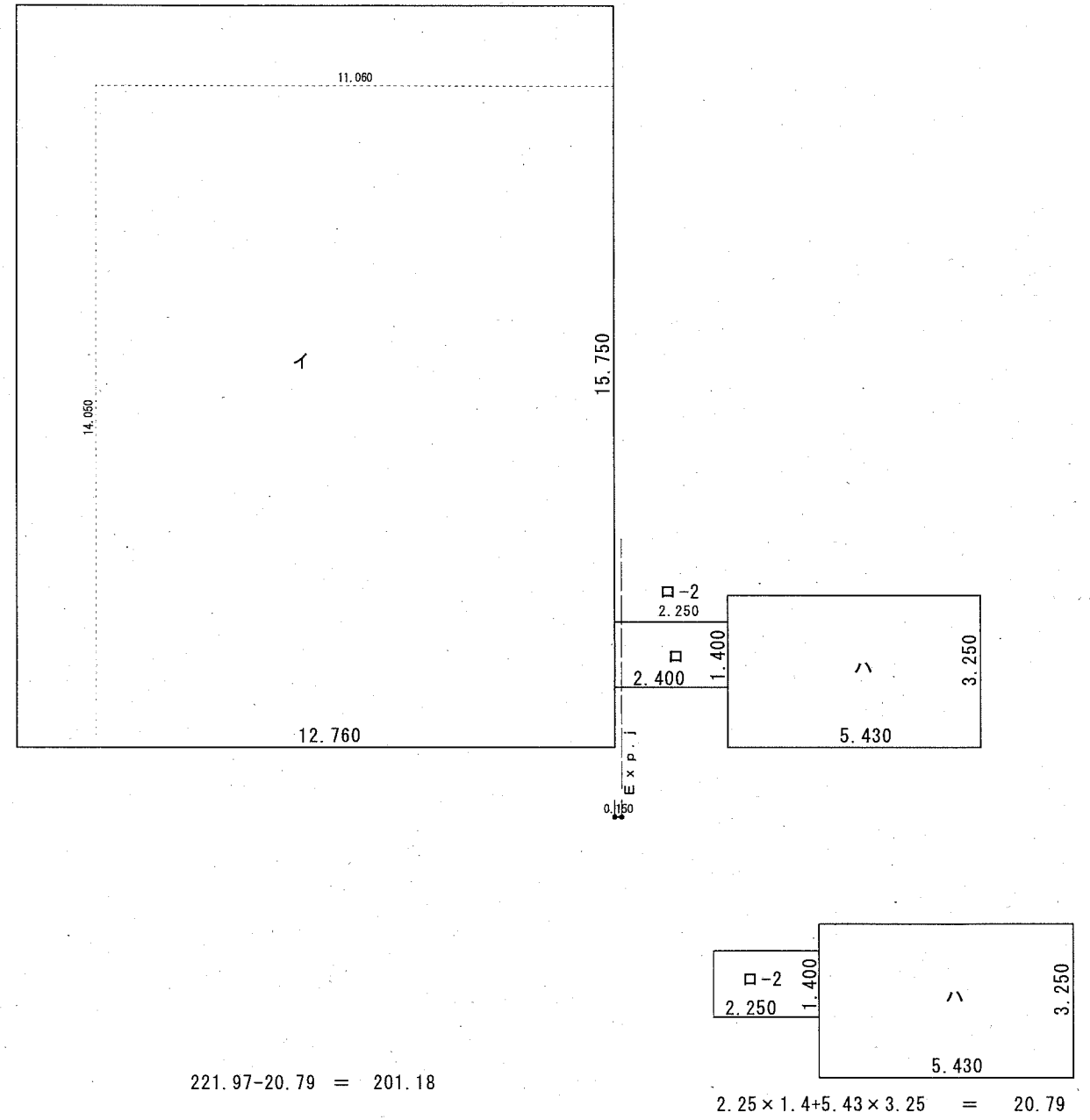
配置図 1 : 200



建築面積



1階床面積



イ	13.864	×	16.830	=	233.331120
ロ	1.848	×	1.400	=	2.587200
ハ	5.430	×	3.250	=	17.647500

253.565820 → 253.56

イ	12.760	×	15.750	=	200.970000
ロ	2.400	×	1.400	=	3.360000
ハ	5.430	×	3.250	=	17.647500

221.977500 → 221.97



承認 設計 設計年月日
年月日
2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイドセンター新築その他工事
図面名称 面積表
Scale N.S. A3
1:100 A2

外部仕上表

屋根 1 屋根 3	和風棧瓦調金属屋根 耐摩塗装次世代ガルバリウム鋼板 厚0.5mm (NM-8697) (マグネシウム添加アルミ・亜鉛合金めっき ガラス繊維配合強化塗装) 垂木45×60mm@455 軒先巴瓦面戸・けらば包み 棟瓦3段・海津鬼瓦(大・小) 改質ゴムアスファルトフィング(22kg)厚1.3mm 野地板厚18mm 母屋: C-100×50×20×3.2@455 断熱材: グラスウール厚50 (K24) 煙突頂部屋根及び大棟-煙突間屋根: 耐摩塗装次世代ガルバリウム鋼板厚0.4mm (NM-8697)	テラス	床: 磁器質タイル(木目調)厚10mm 200×800 東石: 天然石 化粧丸柱・梁: 杉・桧 W/P塗装 軒天部: 軽量軒天井材厚12mm (NM-4449) E/P塗装 廻り縁: モールディング(H25) ステンレス手摺(GLより立ち上げ)
屋根 2	金属屋根心木なし瓦葺葺き/蟻掛葺き 耐摩塗装次世代ガルバリウム鋼板 厚0.4mm (NM-8697) エキスパンションジョイント部折り上げ板加工 (マグネシウム添加アルミ・亜鉛合金めっき ガラス繊維配合強化塗装)	軒裏	軽量軒天井材厚12mm (NM-4449) E/P塗装
エントランス	床: 200角タイル ステンレス手摺 階段: 200角タイル 蹴上部: 高耐摩タイプ意匠性外装塗材	外壁	高耐摩タイプ意匠性外装塗材(割肌調)厚2.5mm ベースコート(メッシュ全面伏せ込み)厚5mm 両面ガラス繊維ネット張セメントモルタル板 t12.5 (NM-2083) 防水シート 断熱材: グラスウール厚50 (K24) 付柱・付梁: 不燃化粧材
	スロープ部 床: タイル刷毛引仕上 笠木: タイル ステンレス手摺	基壇部立上	雲母・玉石骨材入 意匠性70%共重樹脂水性上塗材 プラフ積目地棒(5mm巾) 底目地着色仕様 下地寒水石(白電)一厘配合(目地部色分け) 外構用 弾性塗膜下地調整材 GLより70mm部・階段巾木部W70mm下地材表し (テラス・エントランス 階段取り合い部シーリング)

内部仕上表

室名	床		巾木	壁		窓額縁	天井		C.H. 廻縁	備考
	下地	仕上		下地	仕上		下地	仕上		
展示室	乾式2重床タイル H=200	コンポジションビニル床タイルKT 厚2.0mm □305 (エコマーク・グリーン購入法製品) 点字がけ付	ビニル巾木 H=60	LGS GB-R t12.5+GB-R-H t9.5 (ガイダンスシアター間) GB-F t12.5+GB-R-H t9.5	EP塗	木製 未製→(スプルース) WP塗装 H=25	LGS GB-R t12.5捨張 LGS 直張り	RB厚 t9mm (455×910) (1/8リ天井)	3,100 A.L(約1) 4,370~8,000 A.L(約1)	視覚障害者用誘導塩ビタイル トラス展示振止め金物(9か所)、コーナーガード6か所 正面付ビクチャーレール6.0m+4.5m (ラナー+ワイヤー+フックセット 22組)
掃除用具入	乾式2重床タイル H=200	複層ビニル床シートFS 厚2.0mm (エコマーク・グリーン購入法製品) 抗菌 消臭	ビニル巾木 H=60	LGS GB-R t12.5+GB-R-H t9.5	EP塗 一部: 巾木厚6.0mm張	—	LGS 直張り	RB厚 t9mm	2,500 A.L(約1)	ラインがけ 雑巾干パイプ(3)
ガイダンスシアター	乾式2重床タイル H=200	カーベットタイル(ルーフタイプ) 厚6.0mm 500×500 パイル長3.0 ストライプ	ビニル巾木 H=60	LGS GB-F t12.5+GB-R-H t9.5 遮音壁	不燃クロス貼	—	LGS 直張り	RB厚 t9mm	3,100 A.L(約1)	プロジェクター取付用補強、天井開口補強(スピーカー用) キッチンセットW1100(ソウ作業台)
事務室	乾式2重床タイル H=200	コンポジションビニル床タイルKT 厚2.0mm □305 (エコマーク・グリーン購入法製品)	ビニル巾木 H=60	LGS GB-R t12.5+GB-R-H t9.5 (ガイダンスシアター間) GB-F t12.5+GB-R-H t9.5	EP塗 一部: 巾木厚6.0mm張	木製 WP塗装 H=25	LGS 直張り	RB厚 t9mm	2,800 A.L(約1)	受付カウンター(ビス式固定金物)、
倉庫	乾式2重床タイル H=200	コンポジションビニル床タイルKT 厚2.0mm □305 (エコマーク・グリーン購入法製品)	ビニル巾木 H=60	LGS GB-R t12.5+GB-R-H t9.5	EP塗	—	LGS 直張り	RB厚 t9mm	3,100 A.L(約1)	C面取付下地用構造用合板 天井点検口
通路1 (事務室となり)	乾式2重床タイル H=200	コンポジションビニル床タイルKT 厚2.0mm □305 (エコマーク・グリーン購入法製品)	ビニル巾木 H=60	LGS GB-R t12.5+GB-R-H t9.5	EP塗 一部: 磁器質タイル厚6.0mm(六角形)張	—	LGS 直張り	RB厚 t9mm	2,500 A.L(約1)	壁モール枠掲示板2か所(スチール枠付)、埋込型消火器+AEDボックス
通路2 手洗いコーナー	乾式2重床タイル H=200	複層ビニル床シートFS 厚2.0mm (エコマーク・グリーン購入法製品) 抗菌 消臭	ビニル巾木 H=60	LGS GB-R t12.5+GB-S t9.5	不燃クロス貼	木製 未製→(スプルース) WP塗装 H=25	LGS 直張り	不燃クロス貼 GB-R t9.5 2重張	2,500 A.L(約1)	壁モール2か所、壁モール枠掲示板2か所(スチール枠付)、洗面がけ+下部収納 鏡 鉄板「ツヨクジョイントが」(床・壁・天井)、ゾレ防止
男子トイレ	乾式2重床タイル H=200	同上	タイル	LGS GB-R t12.5+GB-S t9.5	不燃クロス貼 腰: 磁器質タイル厚8.0mm 角200 見切縁: 木製→M35WP塗装	—	LGS 直張り	不燃クロス貼 GB-R t9.5 2重張	2,500 A.L(約1)	荷物フック(1個)、ラインがけ
女子トイレ	乾式2重床タイル H=200	同上	タイル	LGS GB-R t12.5+GB-S t9.5	不燃クロス貼 腰: 磁器質タイル厚8.0mm 角200 見切縁: 木製→M35WP塗装	—	LGS 直張り	不燃クロス貼 GB-R t9.5 2重張	2,500 A.L(約1)	荷物フック(2個)、ラインがけ
みんなのトイレ	乾式2重床タイル H=200	同上	タイル	LGS GB-R t12.5+GB-S t9.5	不燃クロス貼 腰: 磁器質タイル厚8.0mm 角200 見切縁: 木製→M35WP塗装	—	LGS 直張り	不燃クロス貼 GB-R t9.5 2重張	2,500 A.L(約1)	ベビーシート、荷物フック(2個)、枝ホルダー (設備: 手摺・紙巻器・鏡)

【共通事項】(表中、図中、特記なき限り下記とする)

〈外部〉

- 外部に取り付ける金物等の吊掛り部周囲は、シール材を充填する。
- 地下外壁及び土に接する部分は、セバ穴切断後防錆スプレーの止水処理を行う。
- 床仕上でモルタル金コテ仕上の場合、@2000前後でV目地を施す。
- 外部に使用する金物はステンレス又はアルミ製とする。
- タイル張りは、コンクリート木コテ押さえの上モルタル下地とする。

〈内部床〉

- 乾式二重床下のコンクリートスラブは金コテ押さえB種とする。
- 特記なき限り室内の下地、仕上に使用する材料及び接着剤等は、規制対象外ホルムアルデヒド発散材料(F☆☆☆☆)以上の上位規格のものを使用する。

〈内部壁〉

- 出隅ボードコーナーは、全て、アルミ製コーナービートにて補強する。
- 水かき部の石膏ボードはシーリング石膏ボードとする。
- 壁に使用するシーリング材は、耐久性、耐汚染性、抗菌性、のものとする。
- 特記なき限り室内の下地、仕上に使用する材料及び接着剤等は、規制対象外ホルムアルデヒド発散材料(F☆☆☆☆)以上の上位規格のものを使用する。

〈内部天井〉

- 特記なき限り室内の下地、仕上に使用する材料及び接着剤等は、規制対象外ホルムアルデヒド発散材料(F☆☆☆☆)以上の上位規格のものを使用する。

〈雑〉

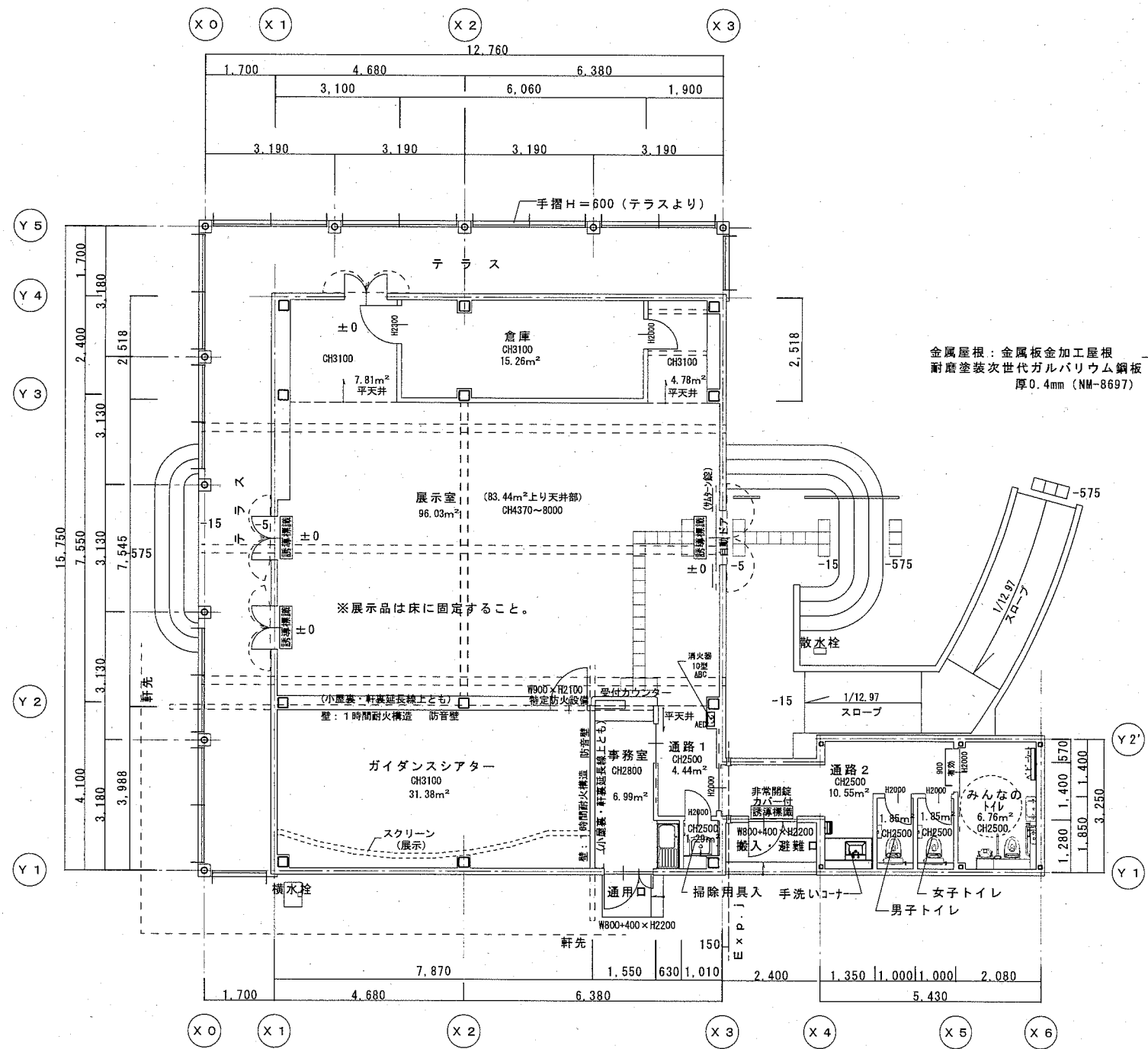
- 内外部に使用するステンレスは、特記なき限りSUS304とする。(ステンレス等を含む)
- メーカー、製品名、品番は、特記なき限り同等品とする。
- カーベットは、防炎加工品を使用する。
- 特記なき限り室内の下地、仕上に使用する材料及び接着剤等は、規制対象外ホルムアルデヒド発散材料(F☆☆☆☆)以上の上位規格のものを使用する。
- クロロピリホス、石綿は使用しない。

【凡例】

一般	ボード	塗料
RC コンクリート	GB-R 石膏ボード	E/P 合成樹脂エマルジョンペイント塗り
LGS 軽量型鋼	GB-R-H 普通硬質石膏ボード	
AL アルミニウム	GB-S シーリング石膏ボード	
S スチール	RB ロックウール化粧吸音板	
SUS ステンレス	GB-F 強化石膏ボード	
W 木製		

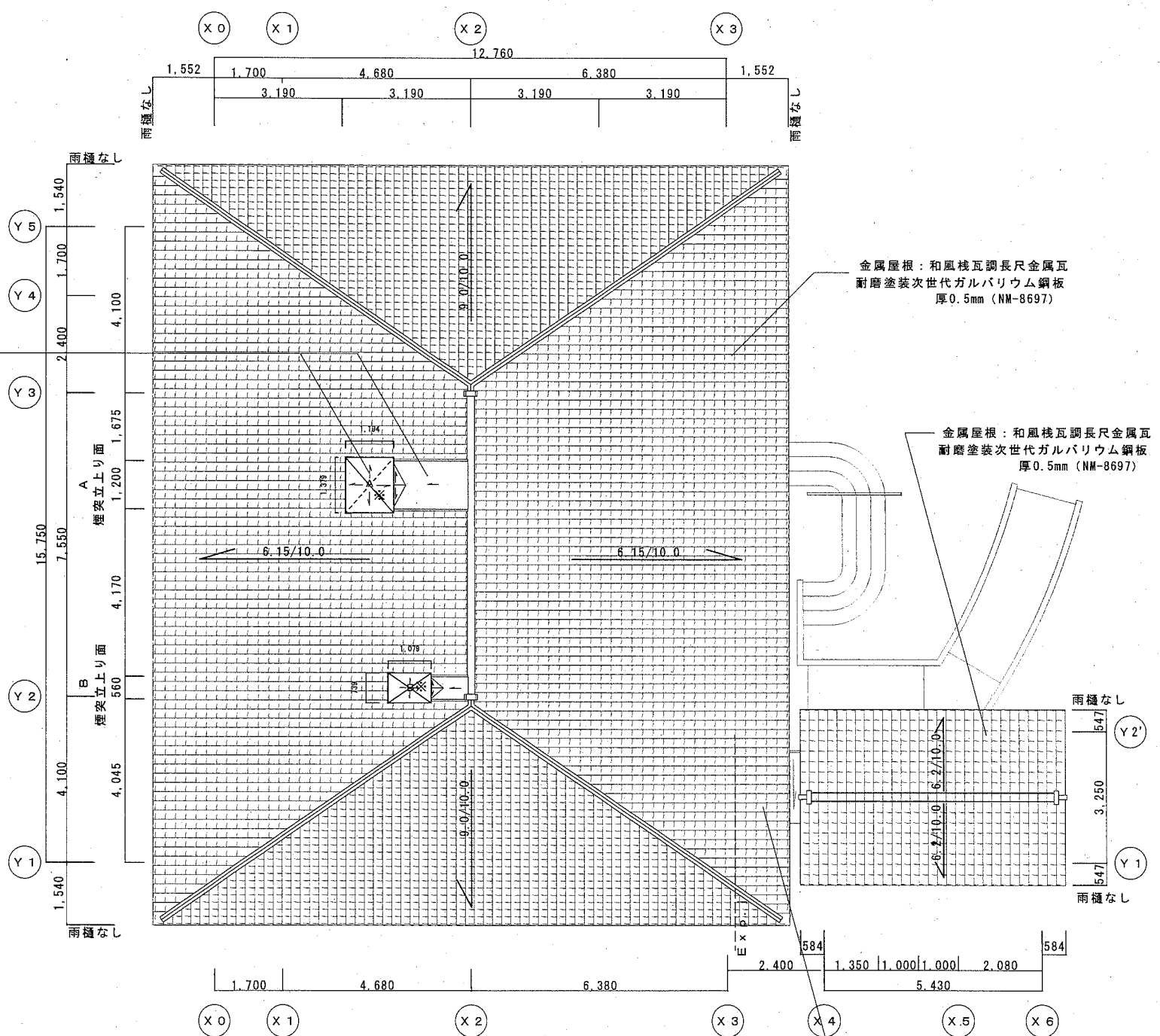
防火材料認定番号リスト

GB-R t=12.5	NM-8619 (不燃)	RB	NM-8599 (不燃)
GB-R t=9.5	GM-9828 (準不燃)	不燃クロス	不燃下地: NM-3985 (不燃)
GB-R-H t=9.5	NM-1908 (不燃)	EP	準不燃下地: QM-9816 (準不燃)
GB-S t=12.5	GM-9826 (準不燃)	EP	不燃下地: NM-8585 (不燃)
GB-F	NM-8615 (不燃)		



1階平面図 1/100

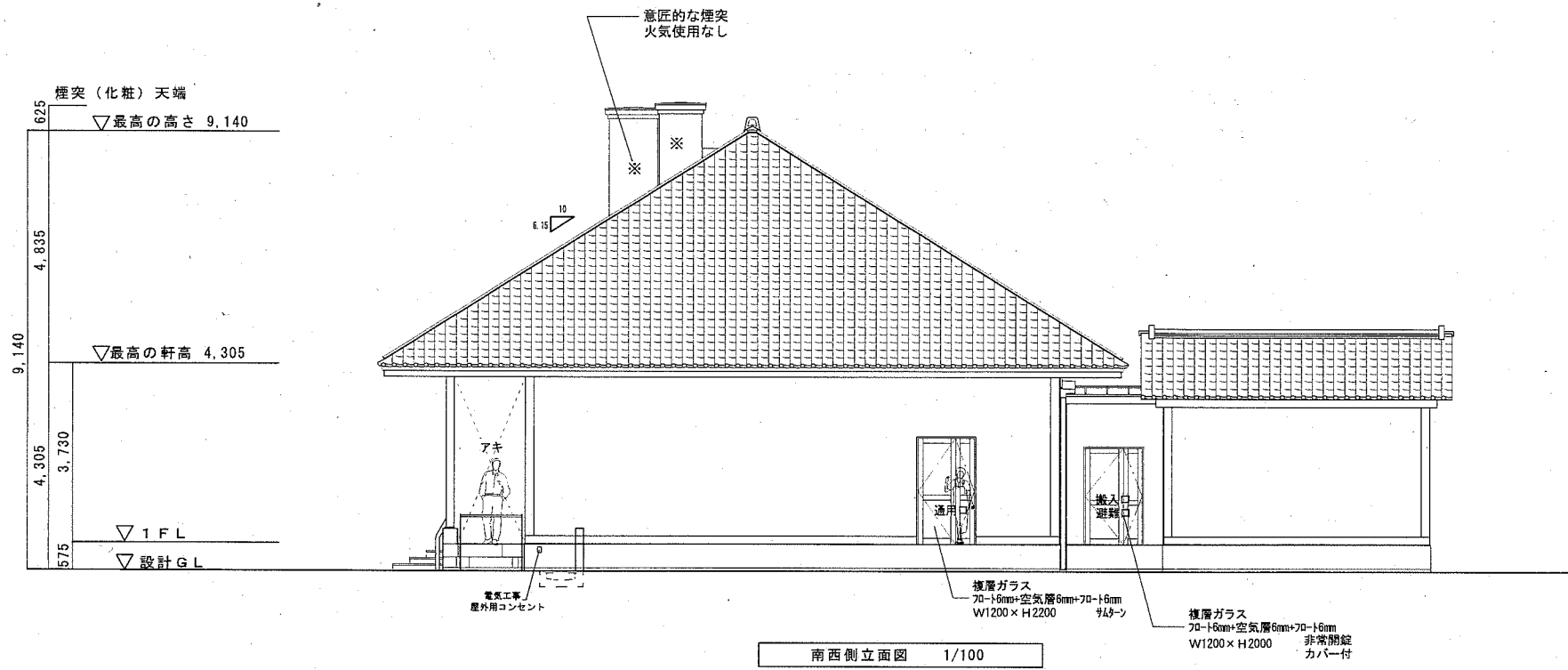
誘導標識 4か所
360×120
非常口ステッカー
緑地白抜き
塩ビ t=1.0
※図面A-25③



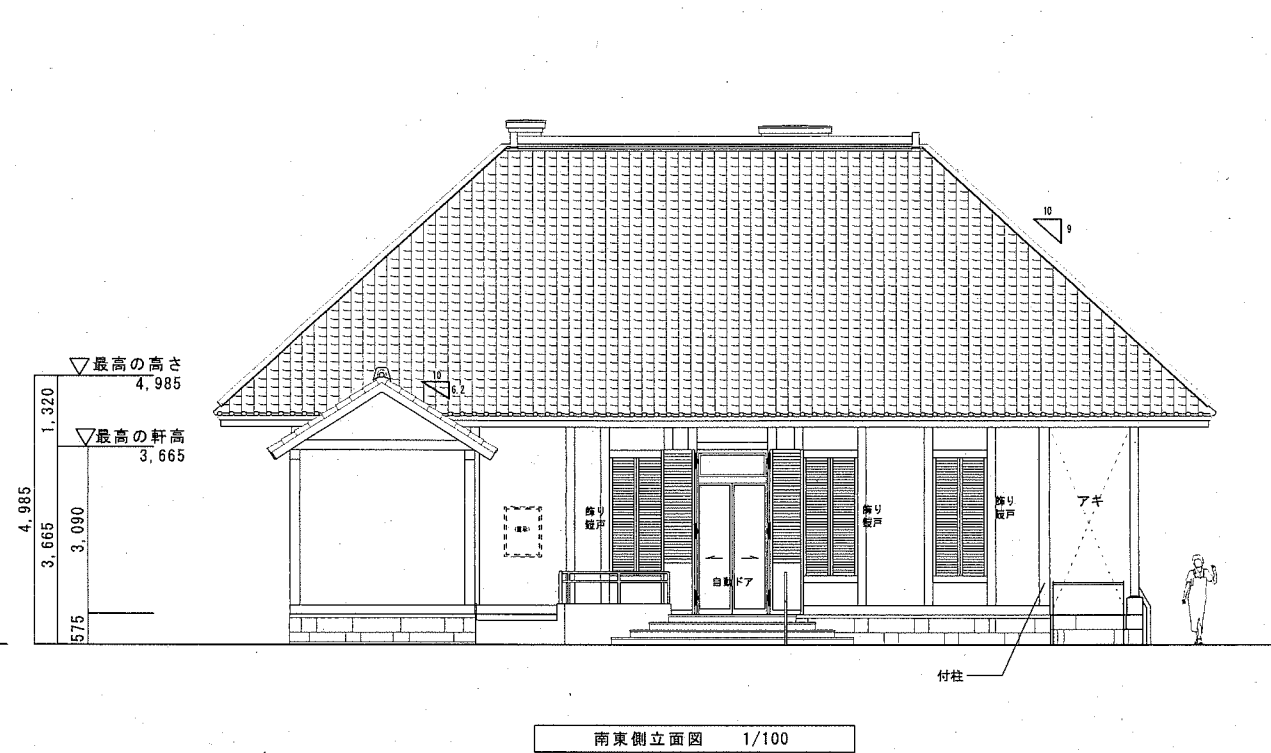
屋根伏図 1/100

A 煙突立上り面 1,015 2,000
B 煙突立上り面 900 1,065

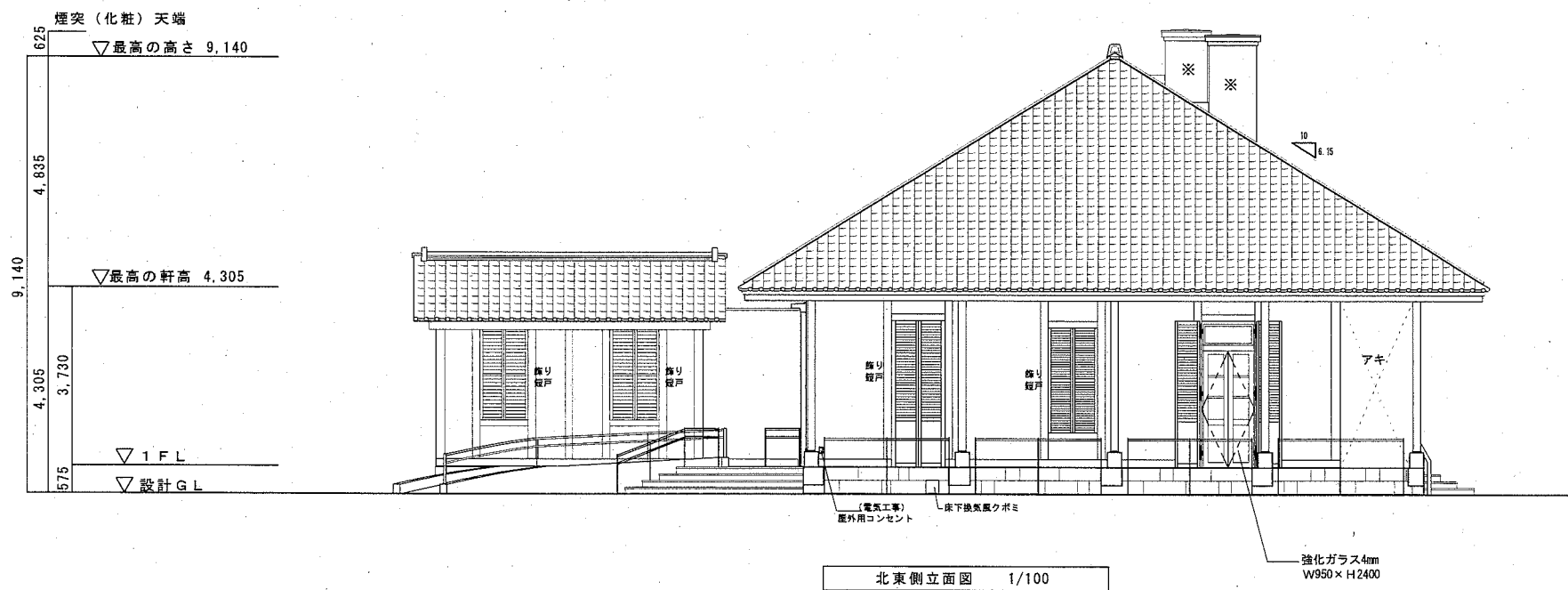
軒下渡り廊下部分屋根(片流れ)
金属屋根:立平葺
耐摩塗装次世代ガルバリウム鋼板
厚0.4mm (NM-8697)



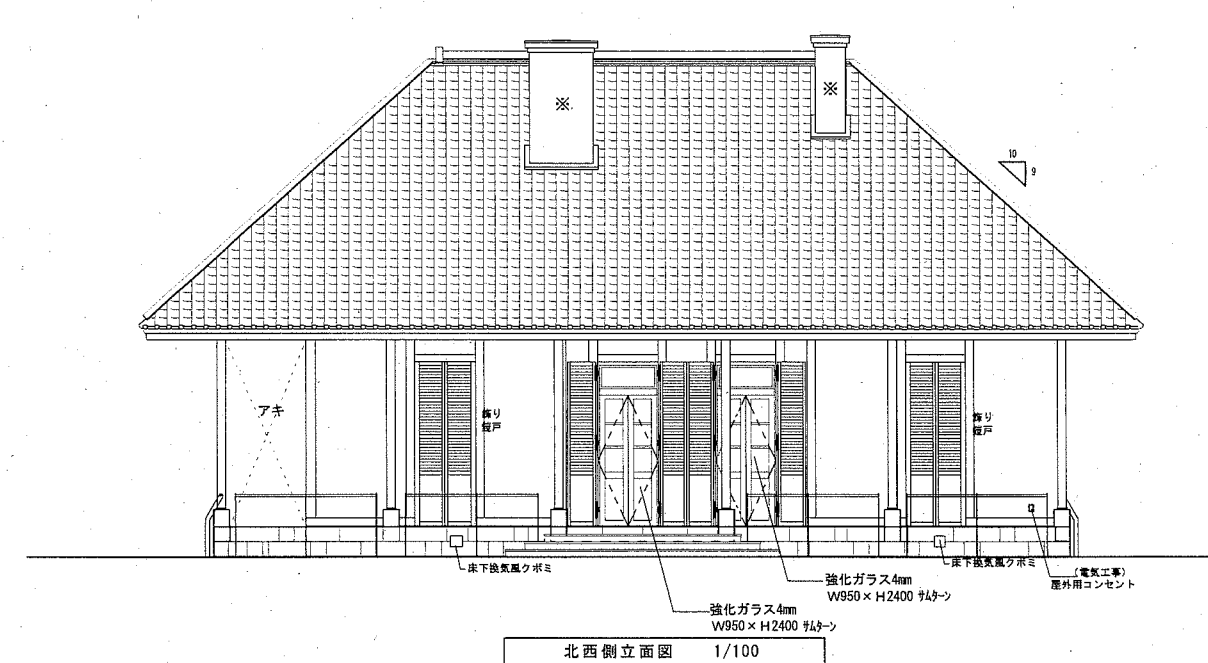
南西側立面図 1/100



南東側立面図 1/100



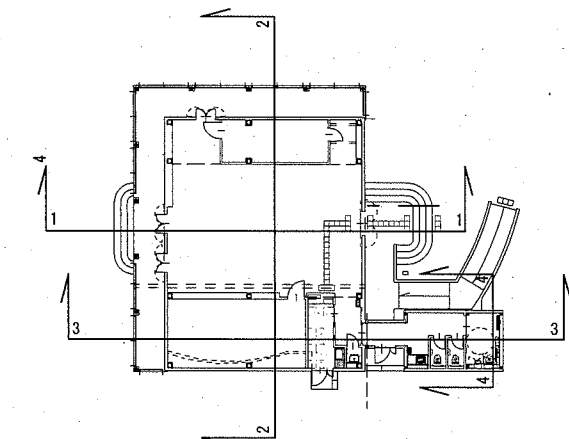
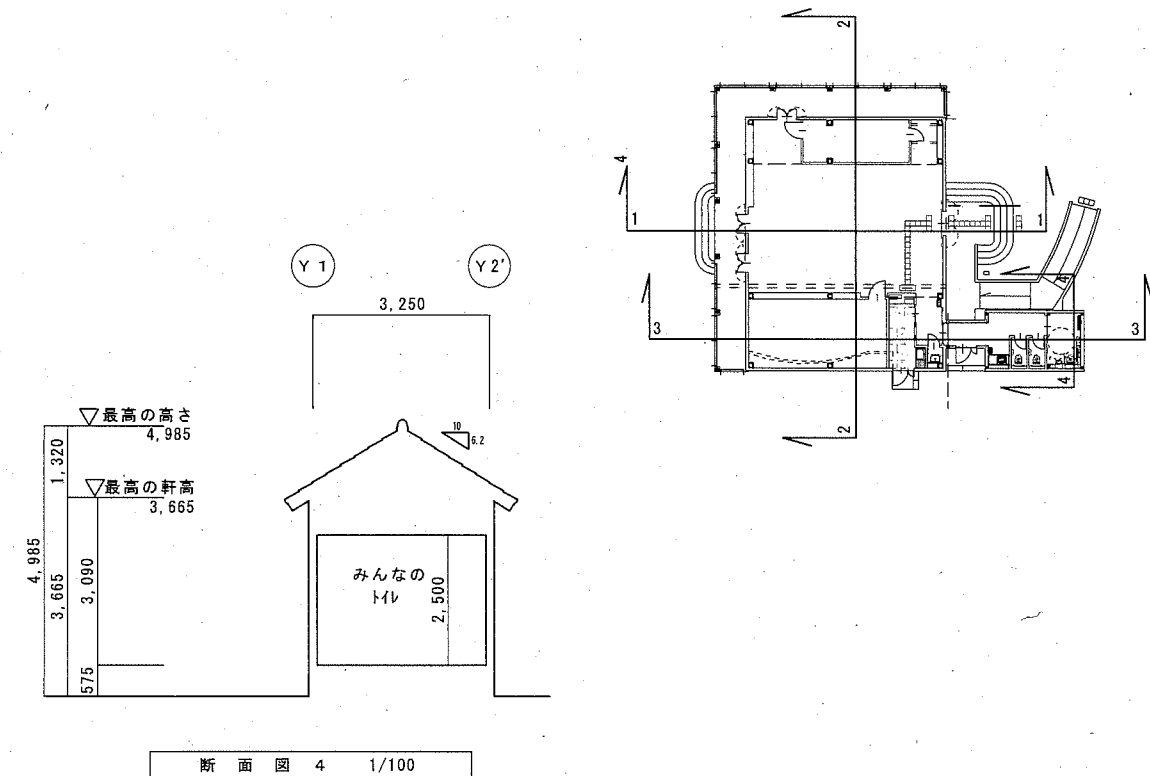
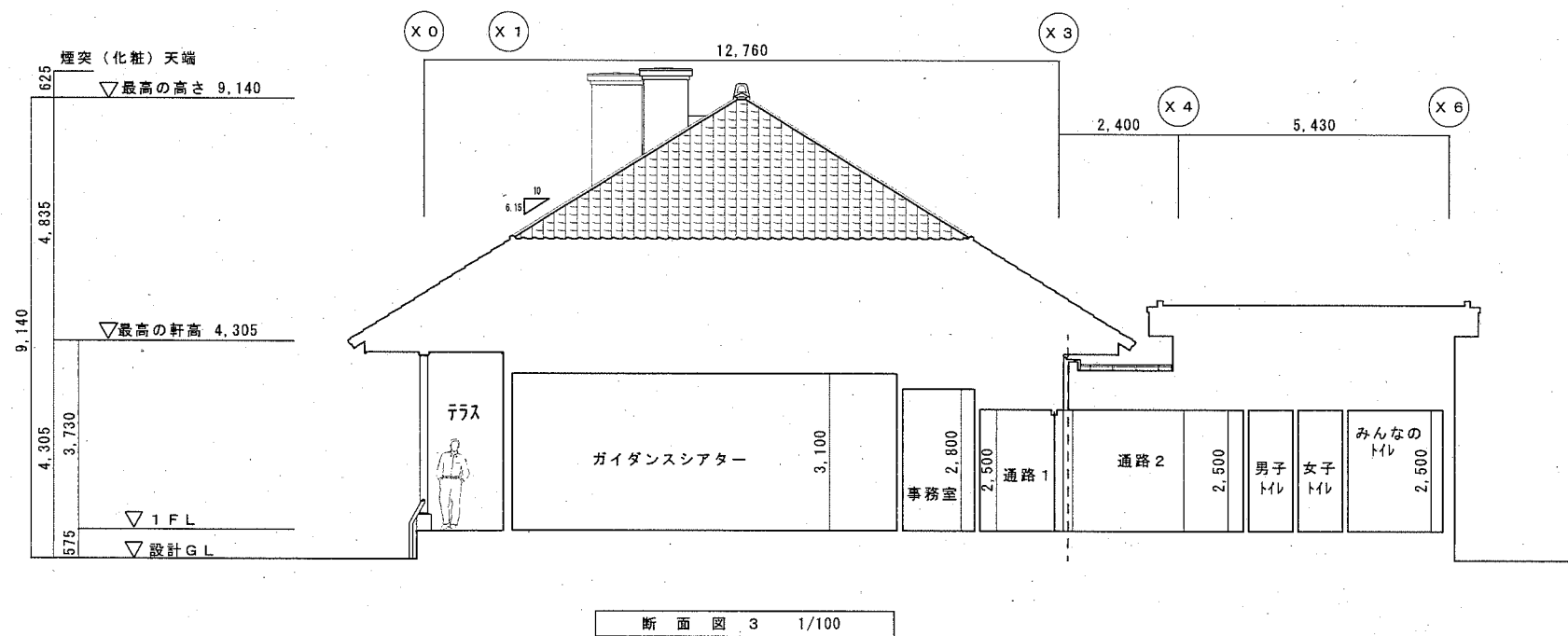
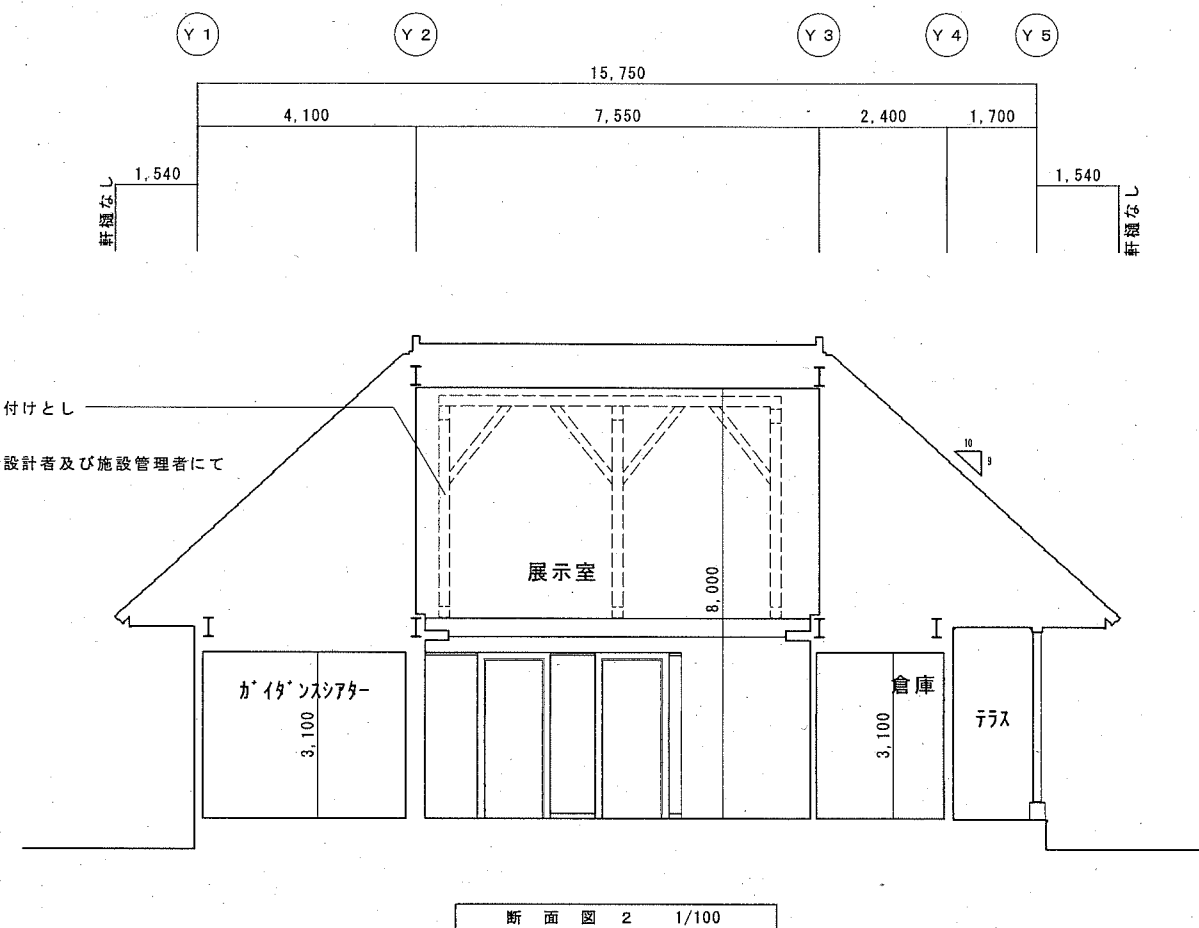
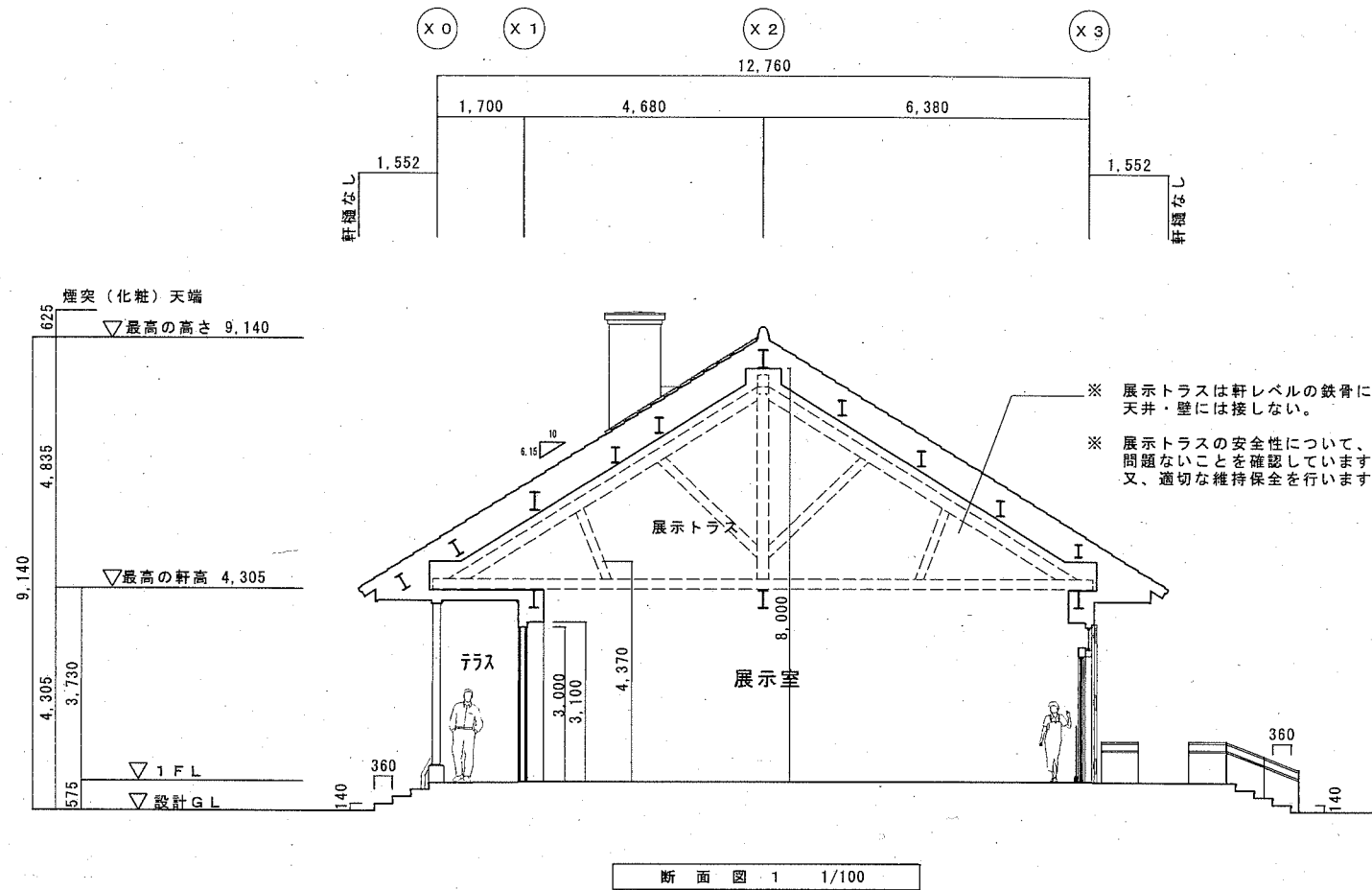
北東側立面図 1/100

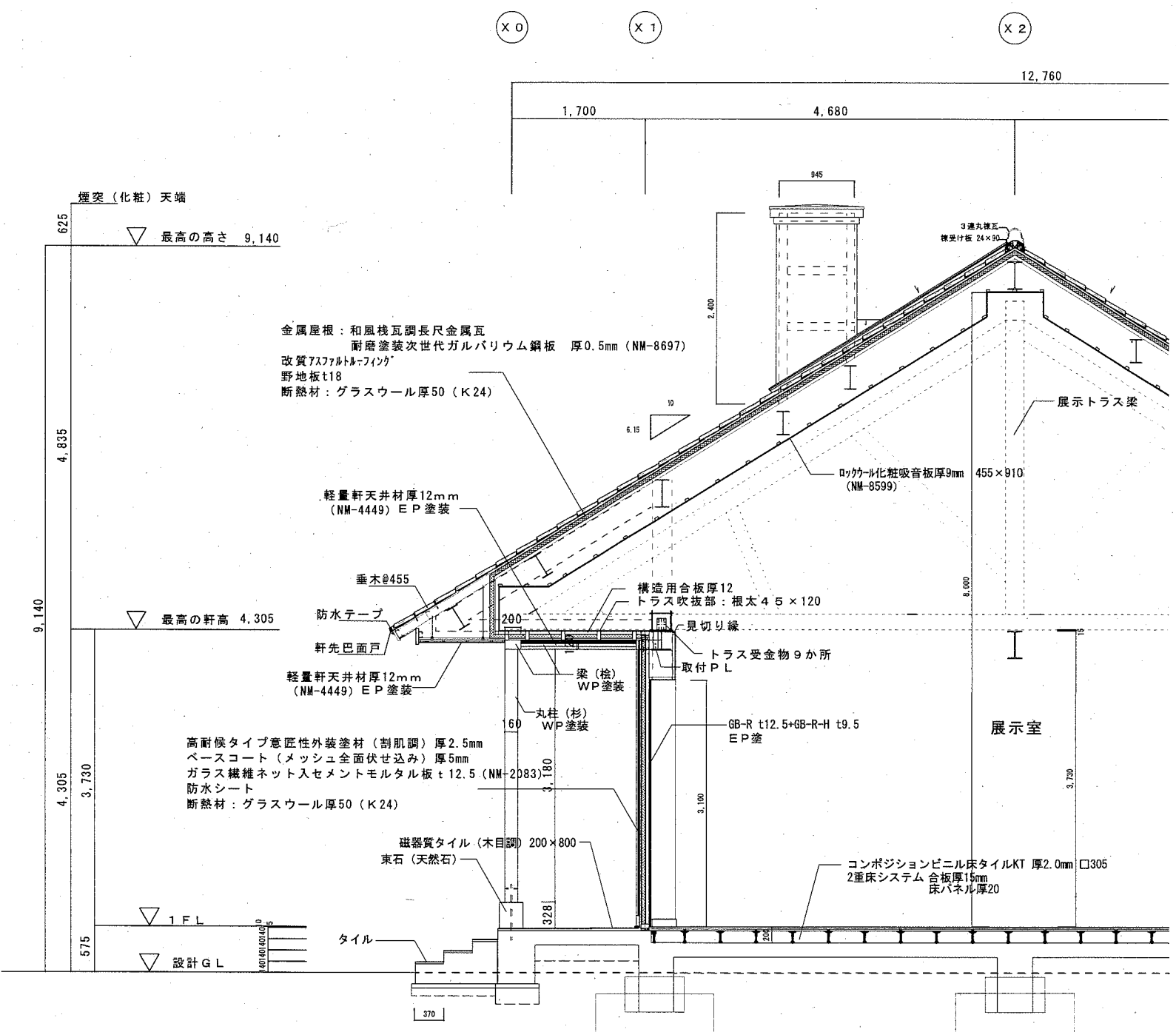


北西側立面図 1/100

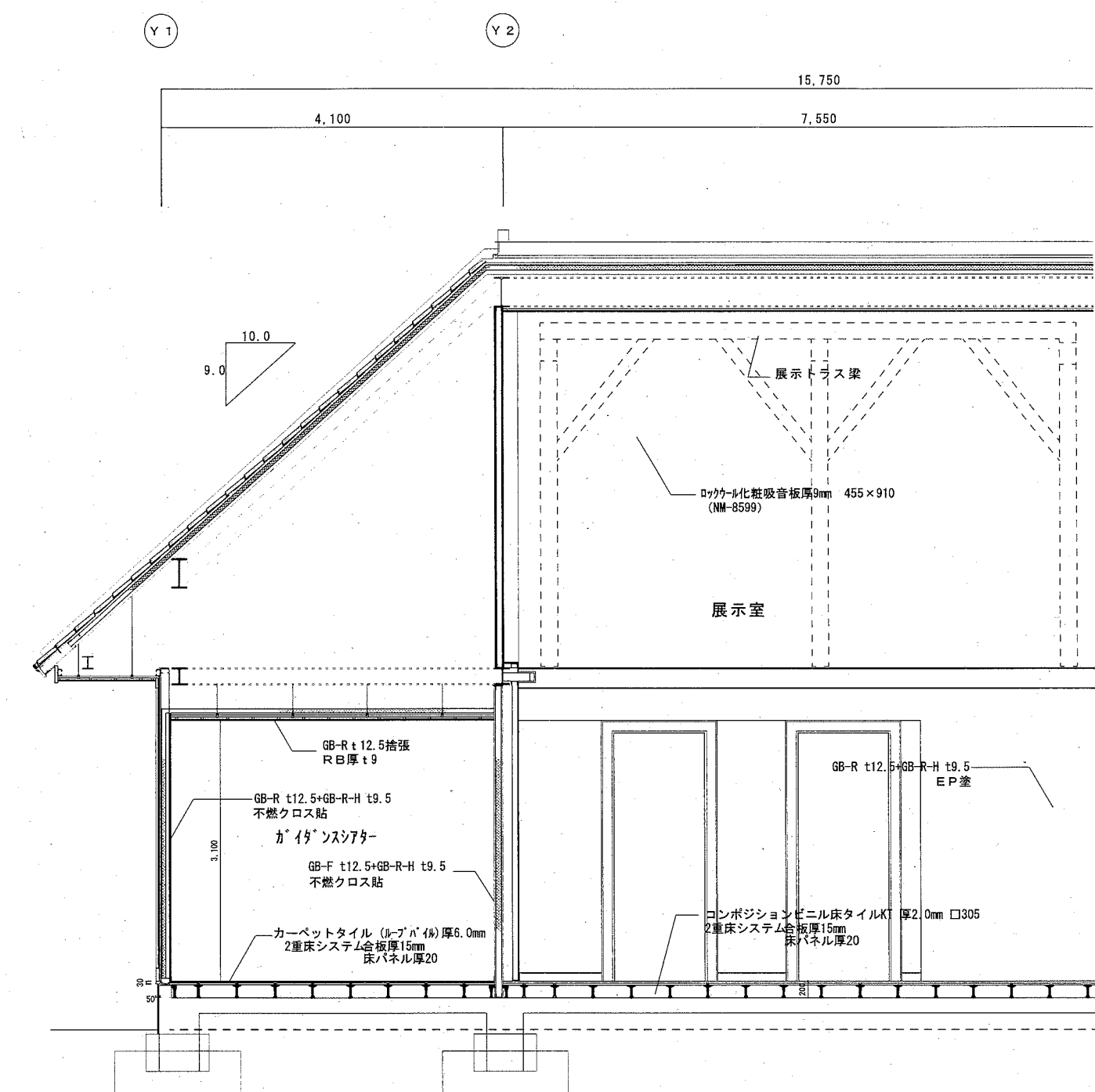
消防法上の無窓チェック					
階	床面積 (㎡)		必要面積 (㎡)	計算式 (W×H)	有効面積 (㎡)
1	221.97	1/30	7.40	$\begin{matrix} \textcircled{1} \text{展示室} \times 3 \text{ 箇所} & \textcircled{2} \text{事務室 通開口} & \textcircled{3} \text{通路} \times 2 \text{ 換入避難口} \\ W950 \times H2400 \text{ 枠付} & W1200 \times H2200 \text{ 枠付} & W1200 \times H2000 \text{ 非常閉鎖 カバー付} \end{matrix}$ $0.95 \times 2.4 \times 3 + 1.2 \times 2.2 + 1.2 \times 2.0 = 11.88$	11.88

消防法 (8) 項図書館・博物館・美術館 有窓扱い 収容人員50人以下
 ※有窓・無窓判定で算定している有効開口部全面は、道又は道に通じる幅員1m以上を確保する。

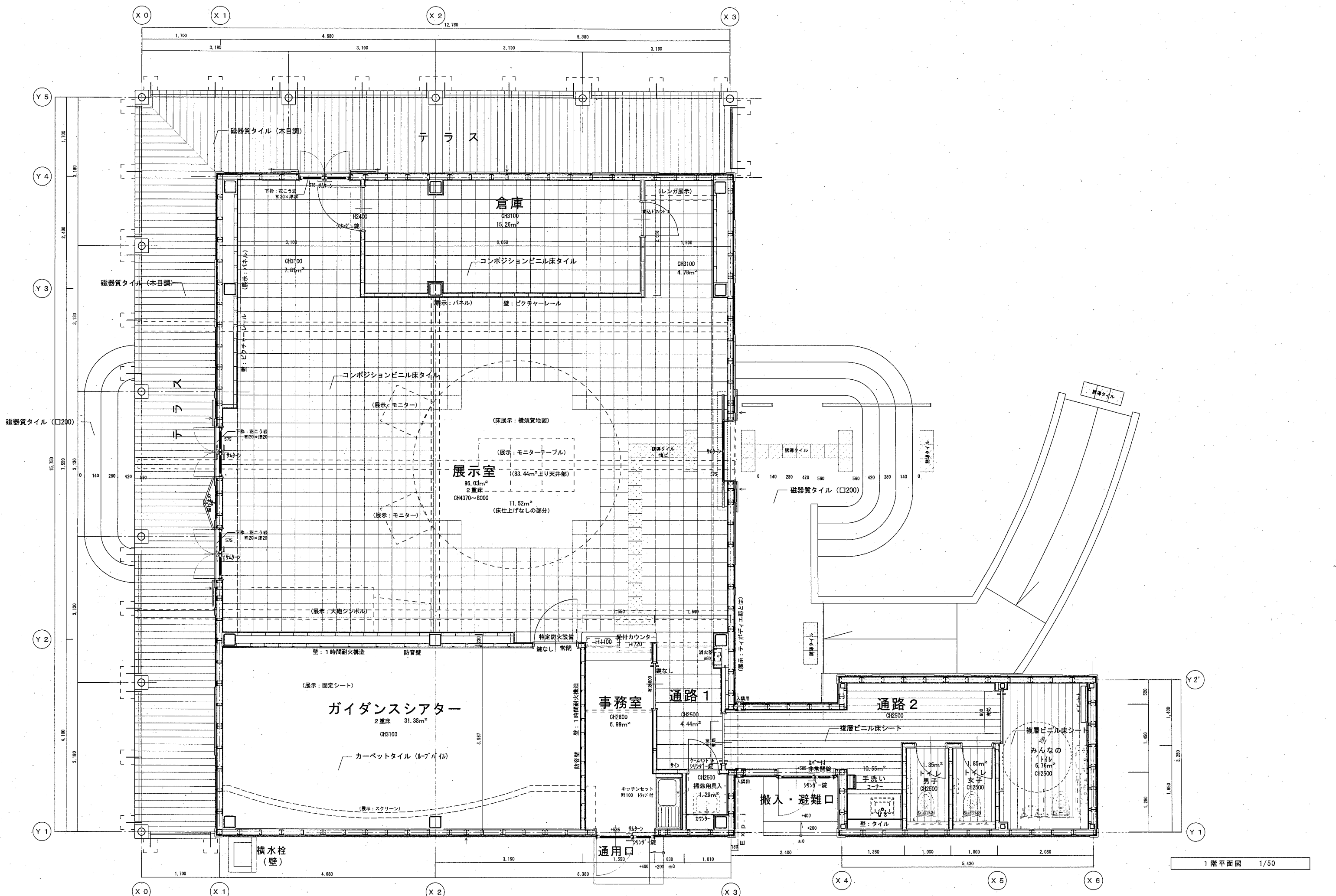




矩計図 1/50



矩計図 1/50

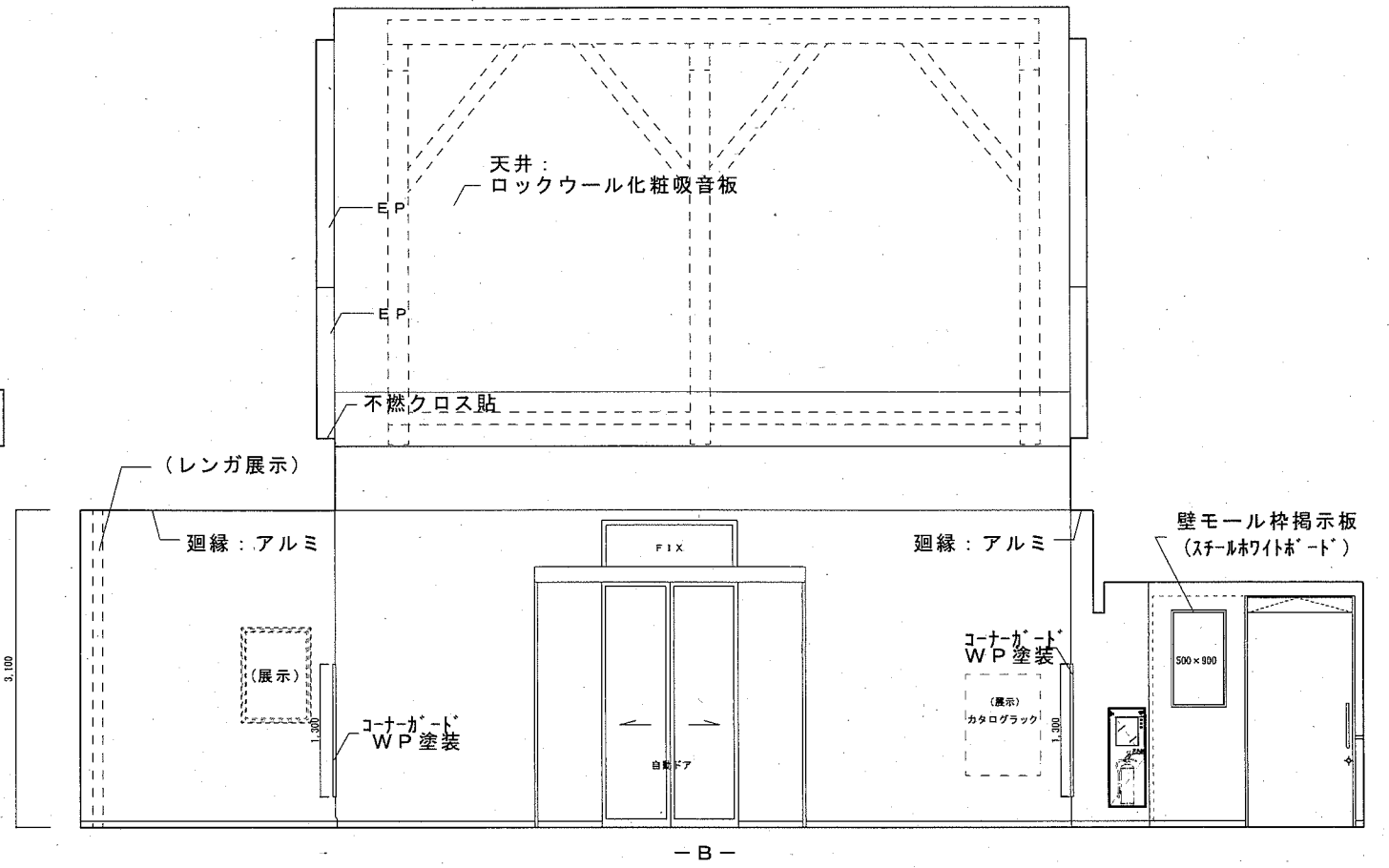
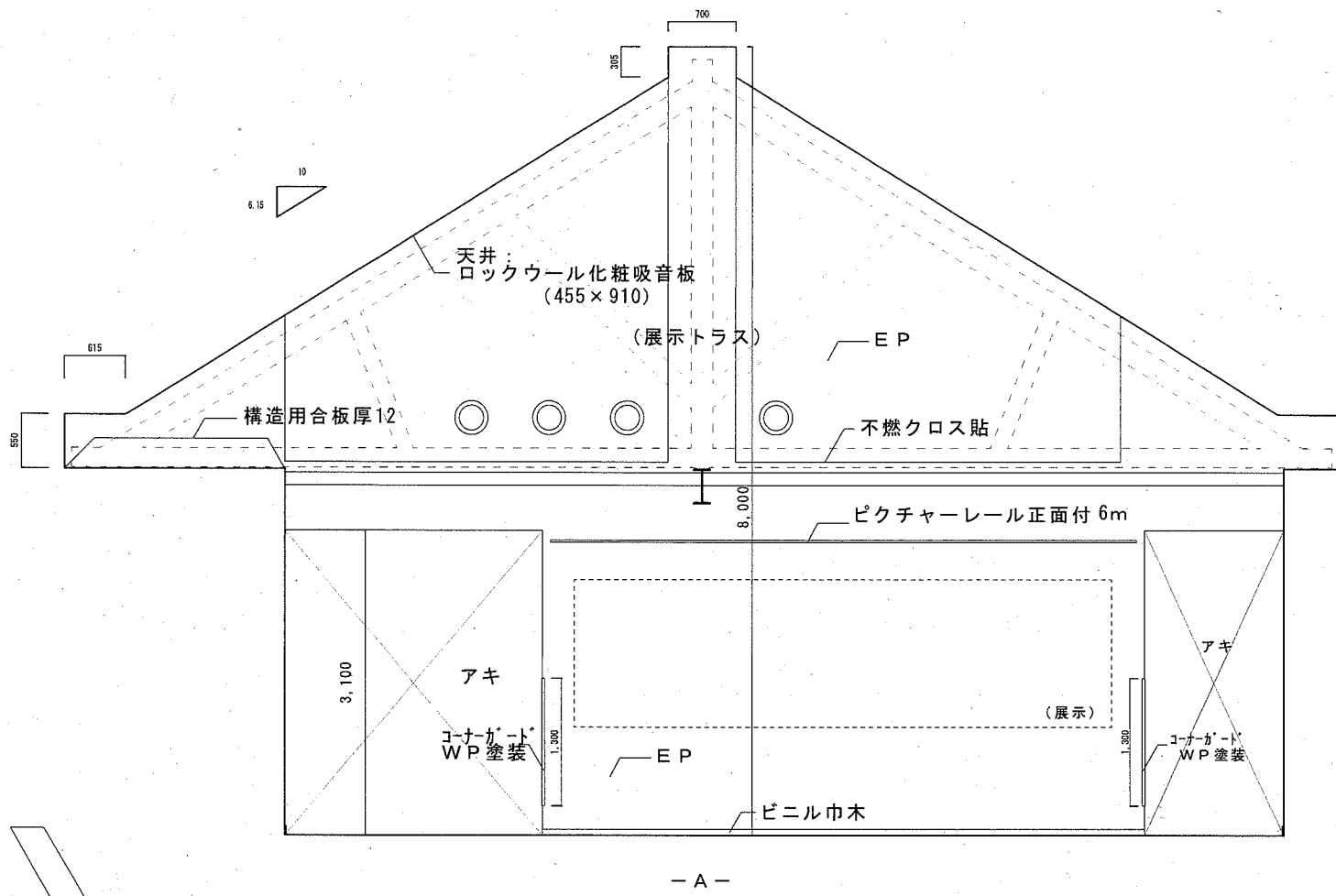


1階平面図 1/50

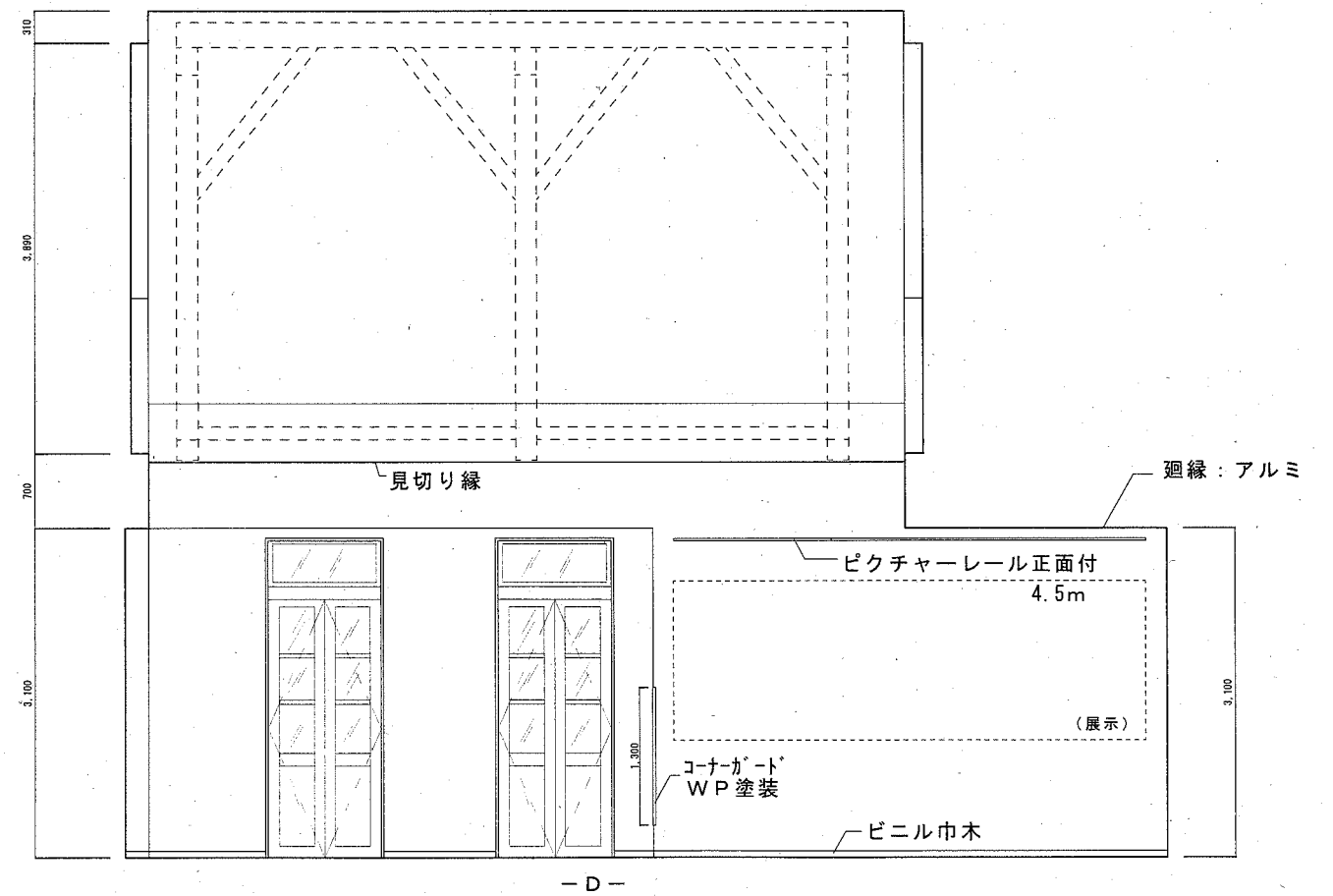
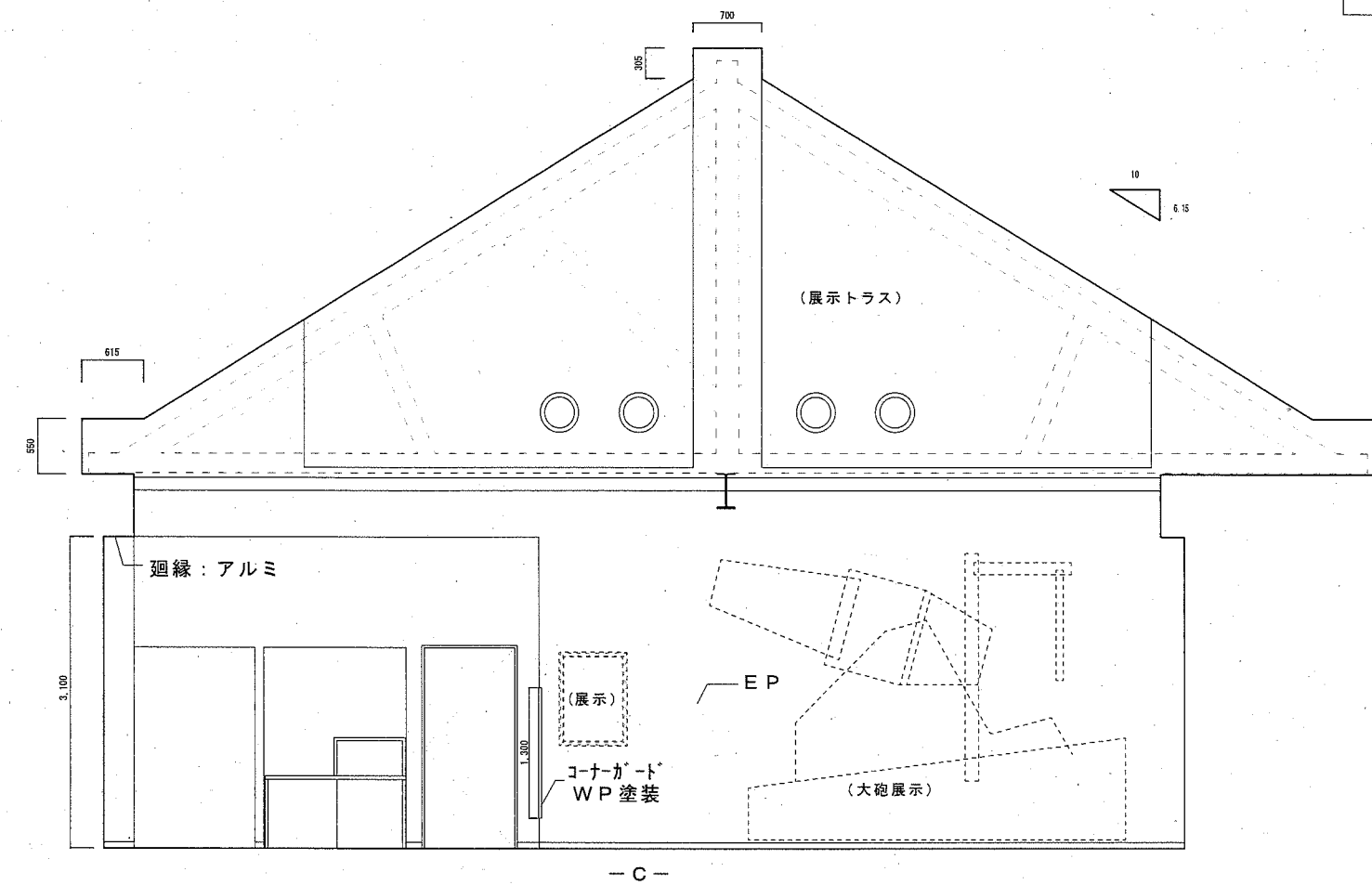


承認設計 設計年月日
年月日
2019.10

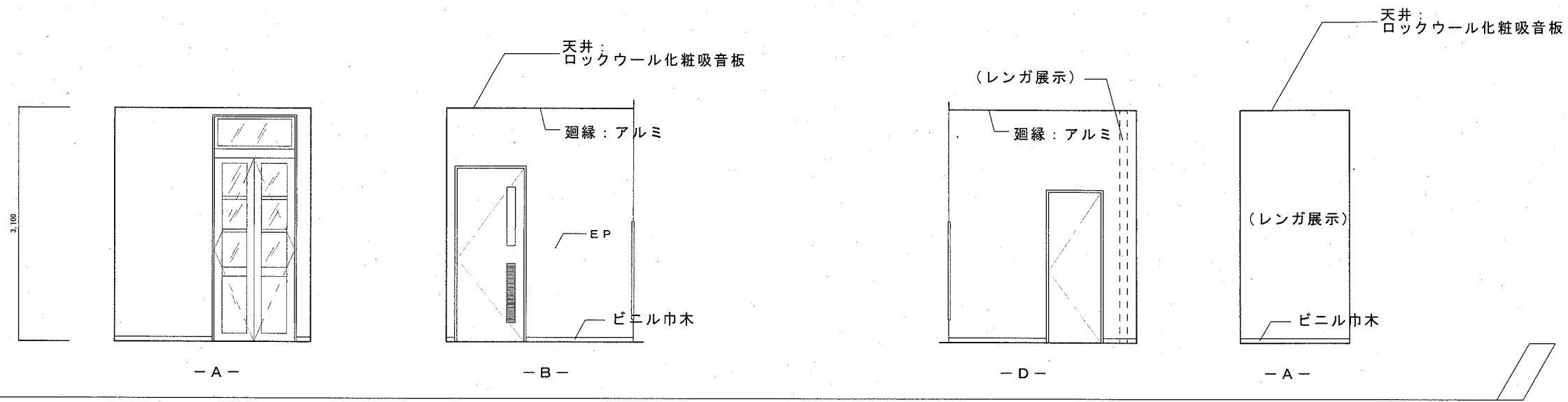
工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
図面名称 平面詳細図
Scale N.S. A3
1:50 A2



展示室



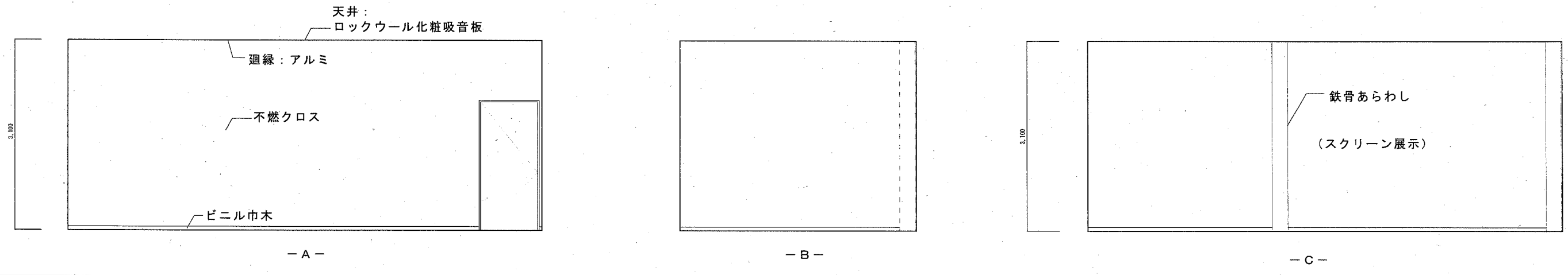
展示室



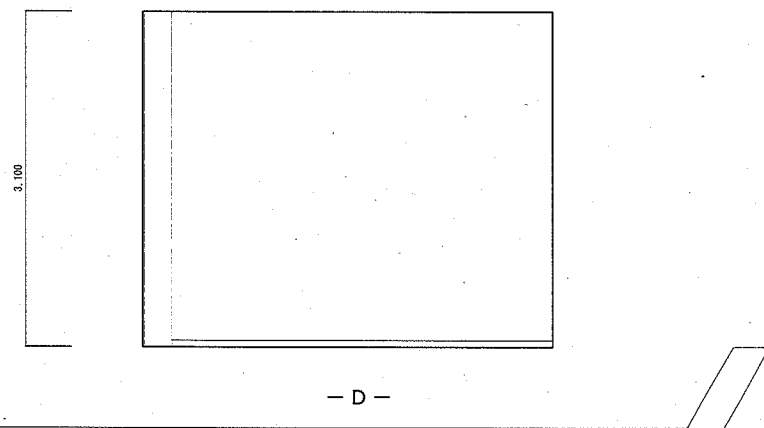
平天井出入口前

展示室

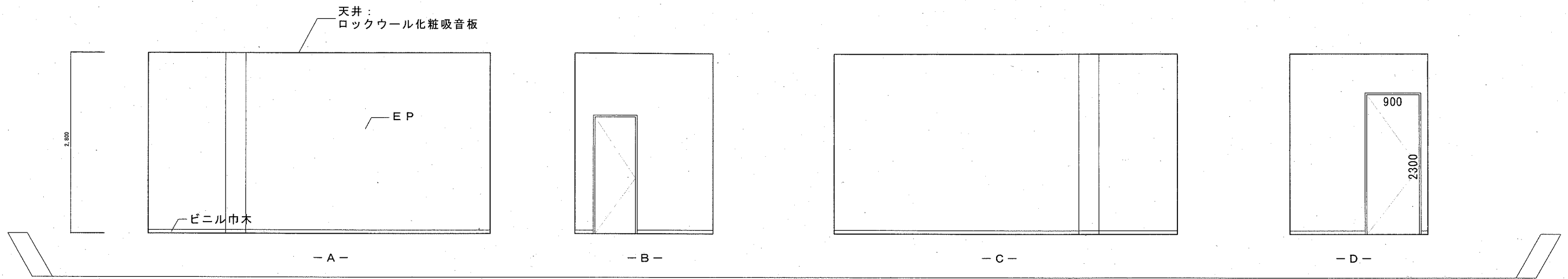
平天井レンガ展示前



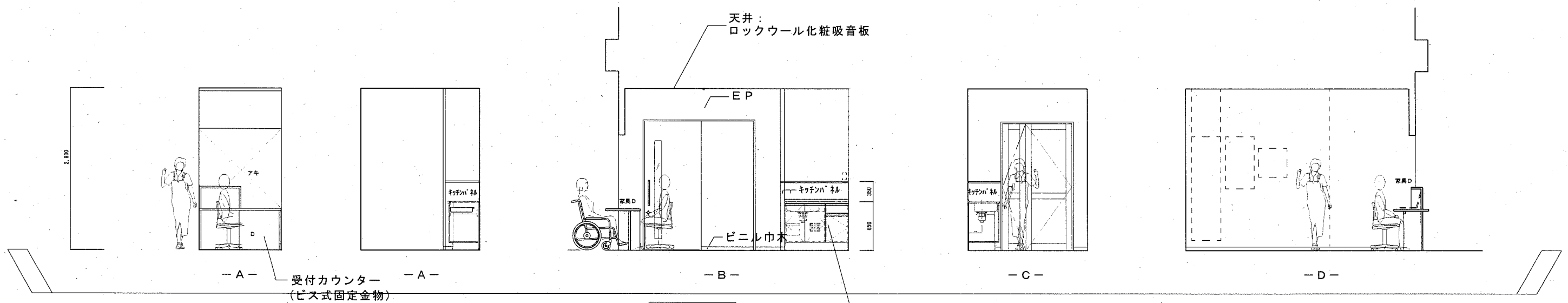
ガイダンスシアター



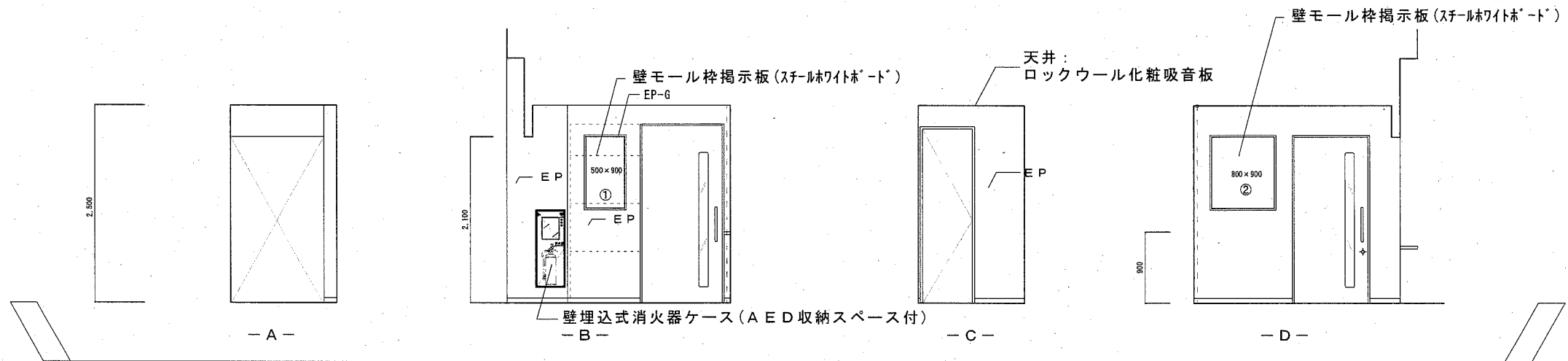
- D -



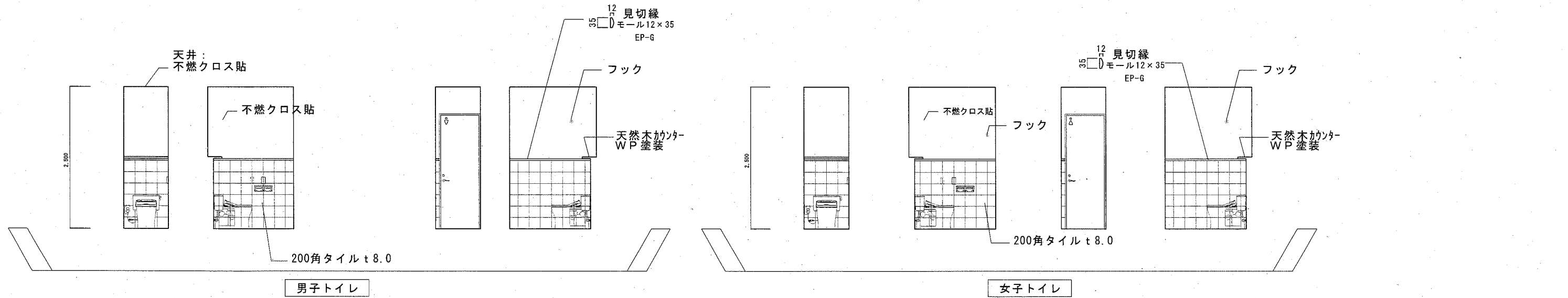
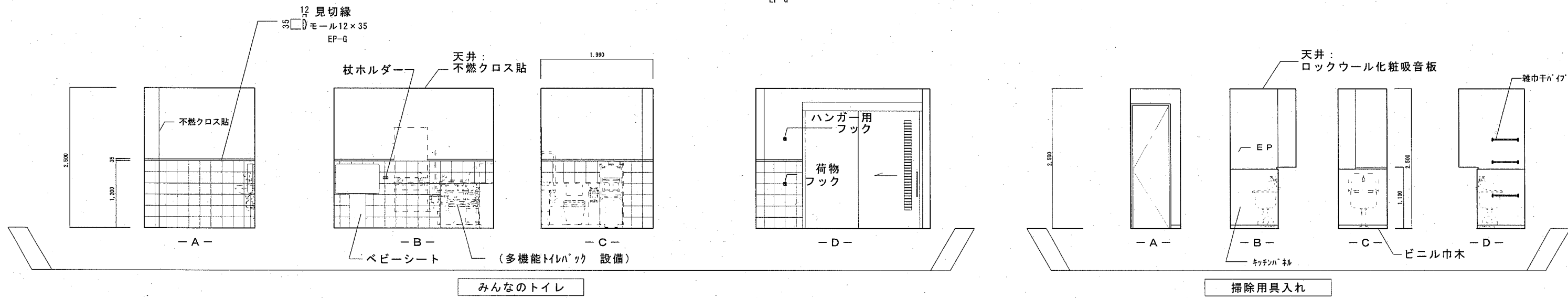
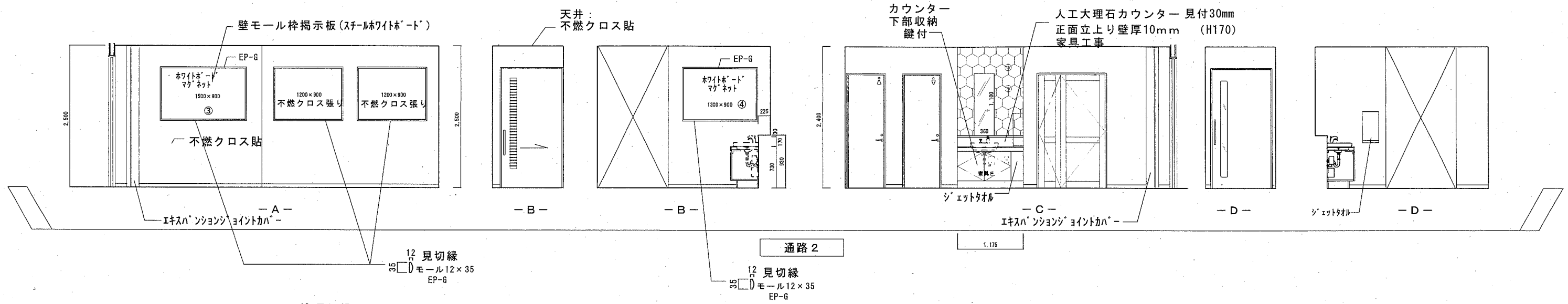
倉庫



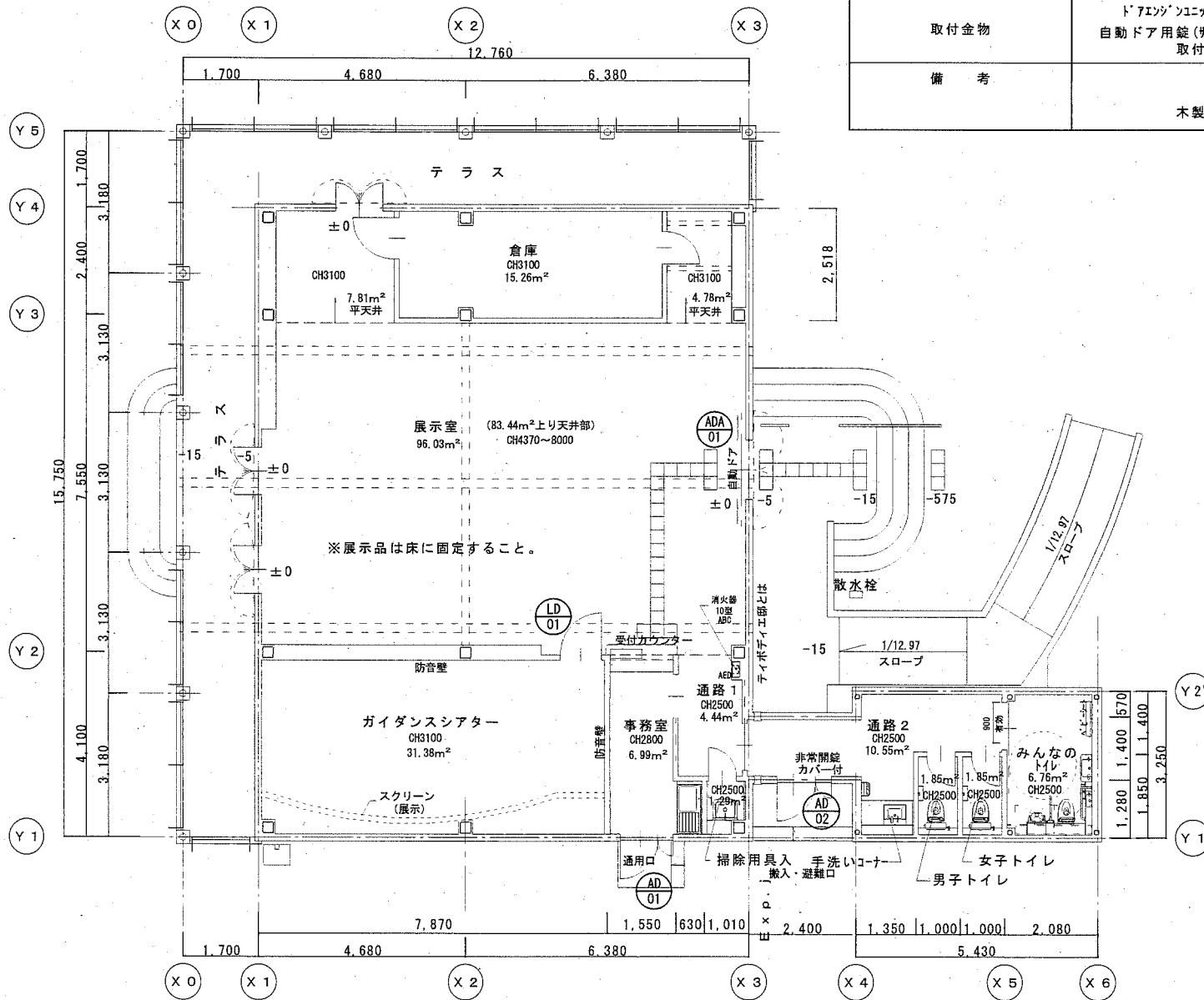
事務室



通路1



承認	設計	設計年月日	工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事	図面番号
		年月日	図面名称 展開図 4	Scale N.S. A3 1:50 A2
		2019.10		A-20



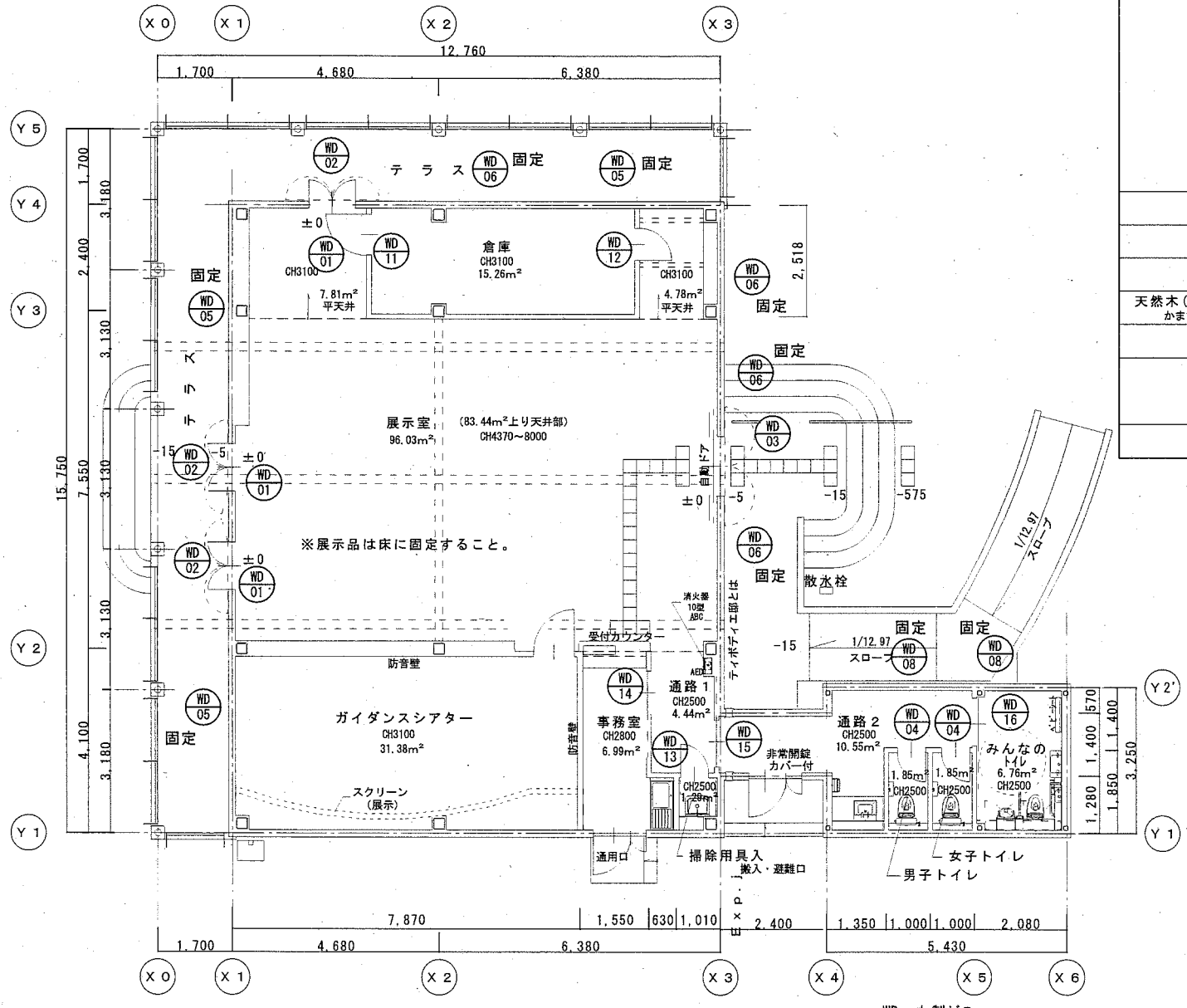
1階平面図 1/100

記号	ヶ所	ADA-01 1ヶ所	AD-01 1ヶ所	AD-02 1ヶ所	LD-01 1ヶ所
窓					
取付場所		展示室	事務室	通路2	ガイダンスシアター展示室
見込/枠見込		40/100	70	70	40/140
種別方法		欄間付引分け自動ドア	親子ドア	親子ドア	片開きフラッシュ戸
材質・仕上		アルミ(ホワイト)	アルミ(ホワイト)	アルミ(ホワイト)	原:化粧鋼板t=0.6 枠:溶融亜鉛メッキ鋼板t=1.6 SOP
ガラス		複層透明ガラス6+A6+6mm	複層透明ガラス6+A6+6mm	複層透明ガラス6+A6+6mm	-
取付金物		ドアコンユニット ドアセンサー式 自動ドア用錠(サムターン) 補助光電スイッチ 取付附属金物一式	DC ビットヒンジ 杵摺A 戸当り レバーハンドル 取付附属金物一式	DC ビットヒンジ 杵摺A 戸当り 非常開装置付レバーハンドル 取付附属金物一式	DC ビットヒンジ 杵摺C, SAT枠 掘込レバーハンドル(サリゲ/サリゲ) 下部17ヶ付装置仕様 取付附属金物一式 (芯材 水酸化アルミニウム)
備考		木製額縁(スチール)	耐風圧: S-5 (2400Pa) 気密性: A-4 (2等級線) 水密性: W-5 (500Pa) 遮音性: T-1 (25等級線) 木製額縁(スチール)	耐風圧: S-5 (2400Pa) 気密性: A-4 (2等級線) 水密性: W-5 (500Pa) 遮音性: T-1 (25等級線) 木製額縁(スチール)	遮音性能 T-1 特定防火設備 錆止め塗装2回塗りまでは工場とする。

建具記号

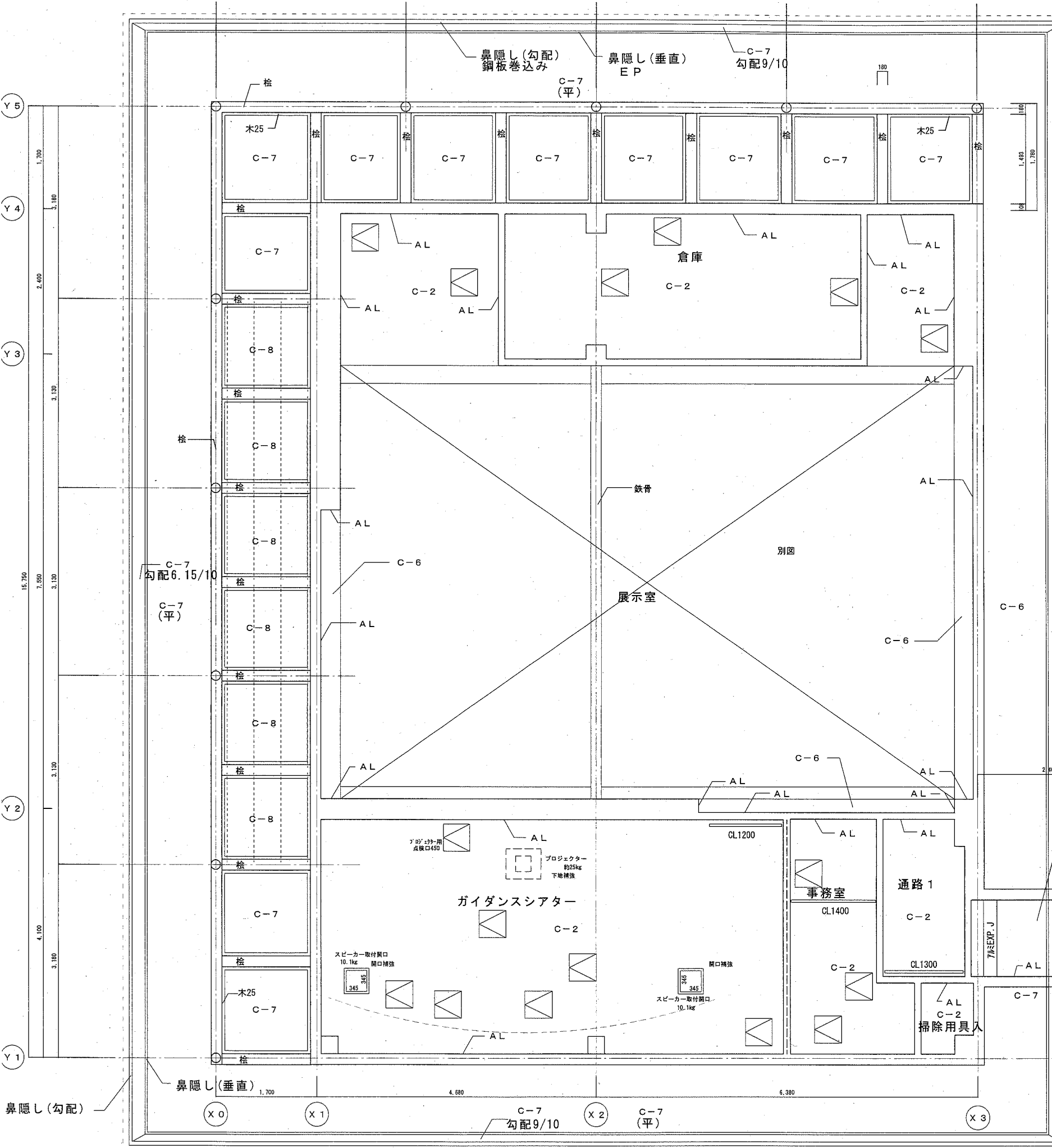
AD : アルミサッシュドア
ADA : アルミ製自動ドア

記号	ヶ所	WD-01 3ヶ所	WD-02 3ヶ所	WD-03 1ヶ所	WD-04 2ヶ所	WD-05 3ヶ所	WD-06 4ヶ所
姿図							
取付場所		展示室-テラス	テラス	エントランス	トイレ	テラス・外壁	テラス・外壁
見込/枠見込		33	33	33	33/120	24	24
種別方法		ランFIX+両開きかまちガラスドア	両開きガラリドア	両開きガラリドア	片開きフラッシュドア	両開きガラリドア調パネル	両開きガラリドア調パネル
材質・仕上		天然木(スプルース)・突板・WP塗装 かまち部ガラリ羽 鏡板	天然木(スプルース)・突板・WP塗装 かまち部ガラリ羽 鏡板	天然木(スプルース)・突板・WP塗装 かまち部ガラリ羽 鏡板	化粧合板(木目)	天然木(スプルース)・化粧突板パネル・WP塗装 かまち部	天然木(スプルース)・化粧突板パネル・WP塗装 かまち部
ガラス		強化ガラス 4mm	-	-	アクリル系樹脂(組込品)	-	-
取付金物		取付附属金物一式 フランス落し ハンドル 本締錠	取付附属金物一式 フランス落し ハンドル あおり止め金物(重複部のみ2段階)	取付附属金物一式 フランス落し ハンドル あおり止め金物	取付附属金物一式 レバーハンドル 表示錠 ビレット付 丁番 DC	-	-
備考		補助錠(固定金物)	補助錠(固定金物)	補助錠(固定金物)	-	壁固定(開閉なし)	壁固定(開閉なし)



記号	ヶ所	WD-08 2ヶ所	WD-11 1ヶ所	WD-12 1ヶ所	WD-13 1ヶ所	WD-14 1ヶ所	WD-15 1ヶ所	WD-16 1ヶ所
姿図								
取付場所		外壁	倉庫-展示室	倉庫-展示室	通路1-掃除用具入	通路1-事務室	通路1-通路2	みんなのトイレ
見込/枠見込		24	33/120	33/120	33/120	33/120	33/120	33/120
種別方法		両開きガラリドア調パネル	片開きフラッシュ戸ガラリ付	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片引フラッシュ戸(巾広)	引込フラッシュ吊戸(巾広)	ガラリ付片引きフラッシュ戸
材質・仕上		天然木(スプルース)・化粧突板パネル・WP塗装 かまち部	化粧合板(木目)	化粧合板(木目)	化粧合板(木目)	化粧合板(木目)	化粧合板(木目)	化粧合板(木目)
ガラス		-	熱処理型ガラス(組込品)	-	-	熱処理型ガラス(組込品)	熱処理型ガラス(組込品)	-
取付金物		壁固定(開閉なし)	DC, 戸当り, ビレット付 レバーハンドル[シンダ/サムターン] 取付附属金物一式	ビレット付, 香摺A 堀込レバーハンドル(ホワイト) 取付附属金物一式	DC, 戸当り, ビレット付, 香摺A 堀込レバーハンドル[シンダ/サムターン](ホワイト) 取付附属金物一式	メンテナンス用	メンテナンス用	メンテナンス用
備考		-	壁固定(開閉なし)	壁固定(開閉なし)	壁固定(開閉なし)	壁固定(開閉なし)	壁固定(開閉なし)	壁固定(開閉なし)

1階平面図 1/100
WD: 木製ドア



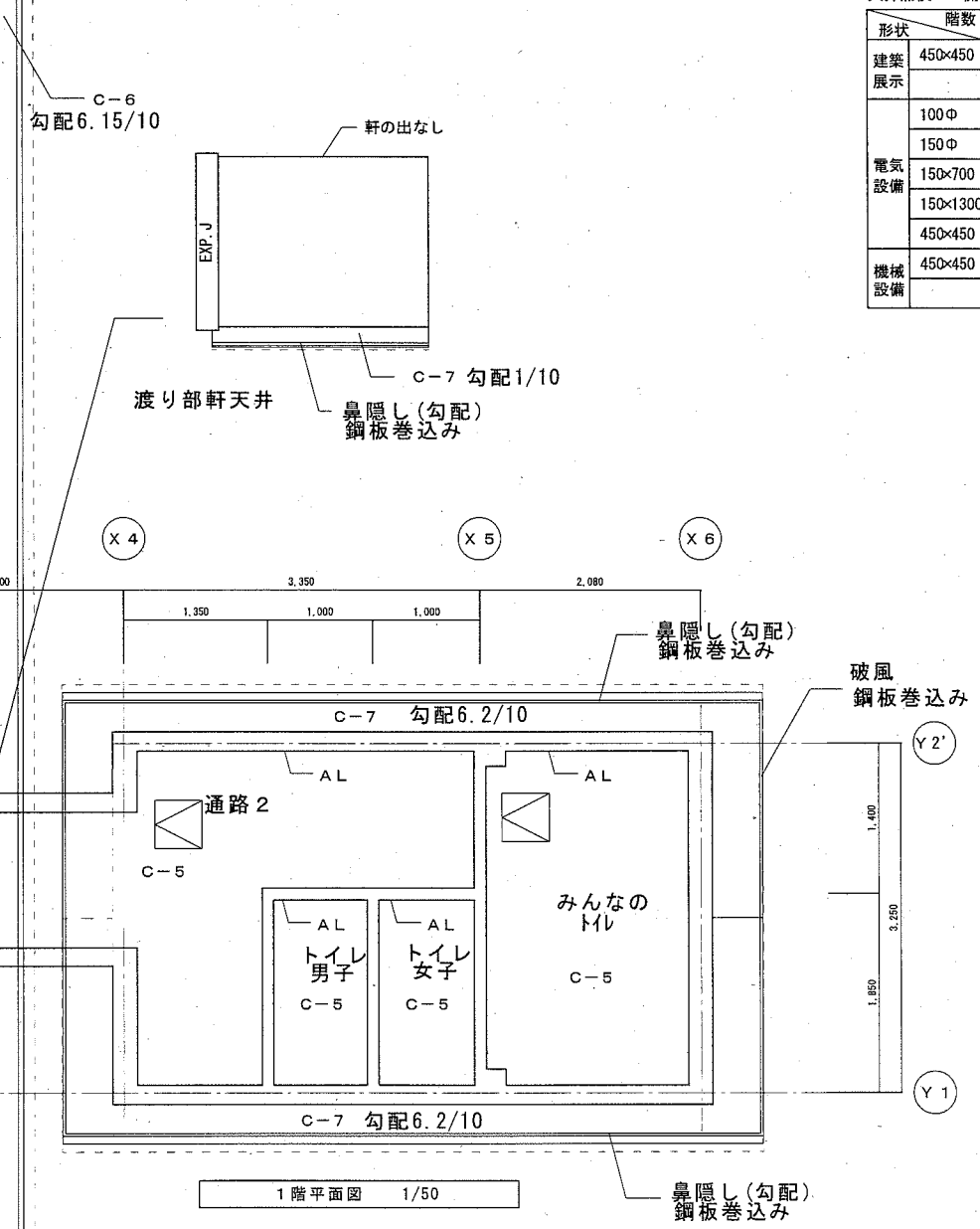
記号	下地・仕上
C-2	LGS GB-R t12.5捨張 RB t9
C-3	LGS RB t9直張り (455×910)
C-4	LGS GB-R t9.5直張り EP
C-5	LGS GB-R t9.52重張り 不燃クロス貼
C-6	LGS GB-R t9.52重張り EP
C-7	LGS 軽量軒天井材厚12mm EP
C-8	木下地 軽量軒天井材厚12mm EP

記号	名称
木25	廻縁：木製モール（ベイツガ）WP塗料 H=25
AL	廻縁：アルミニウム（ホワイト）
7#EXP.J	耐震天井見切：7#EXP.J
桧	桧梁WP塗装

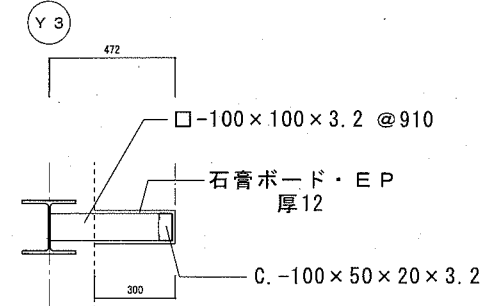
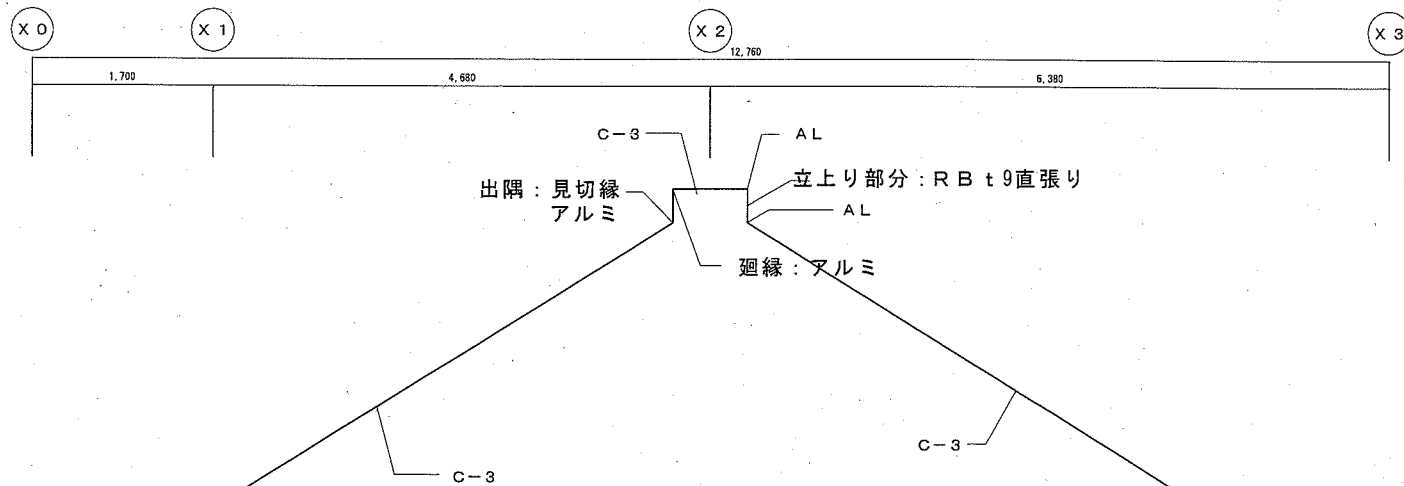
※図面A-24

天井点検口・開口補強リスト

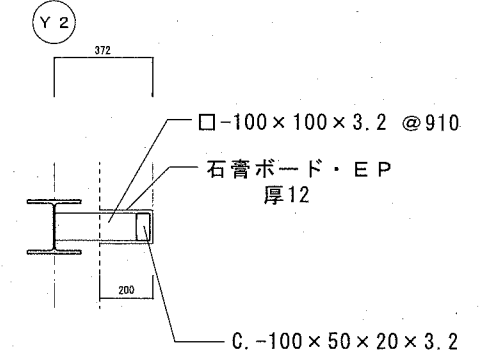
形状	階数	1階
建築	450×450	2
電気設備	100Φ	50
	150Φ	21
	150×700	2
	150×1300	1
機械設備	450×450	3
	450×450	13
		計18



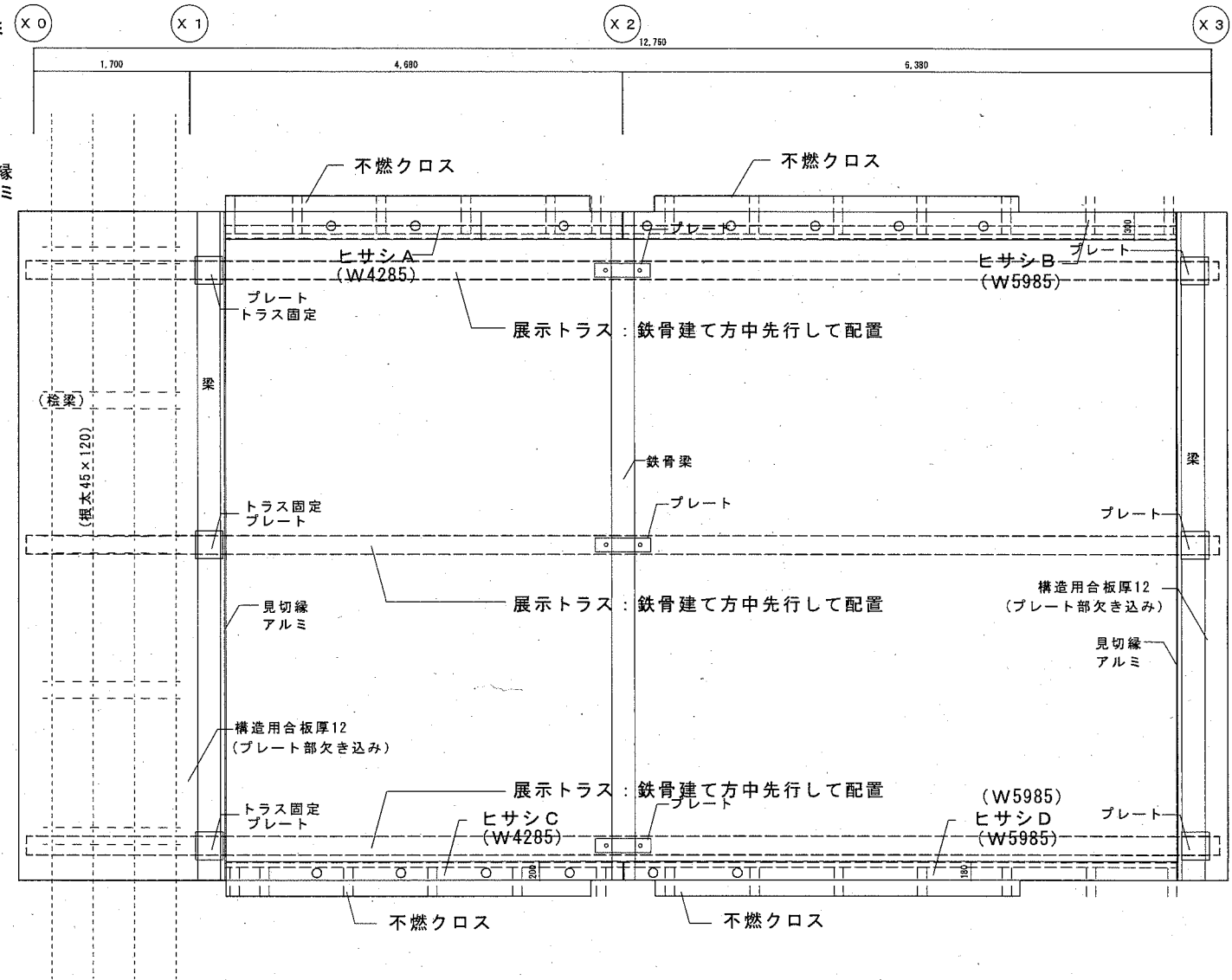
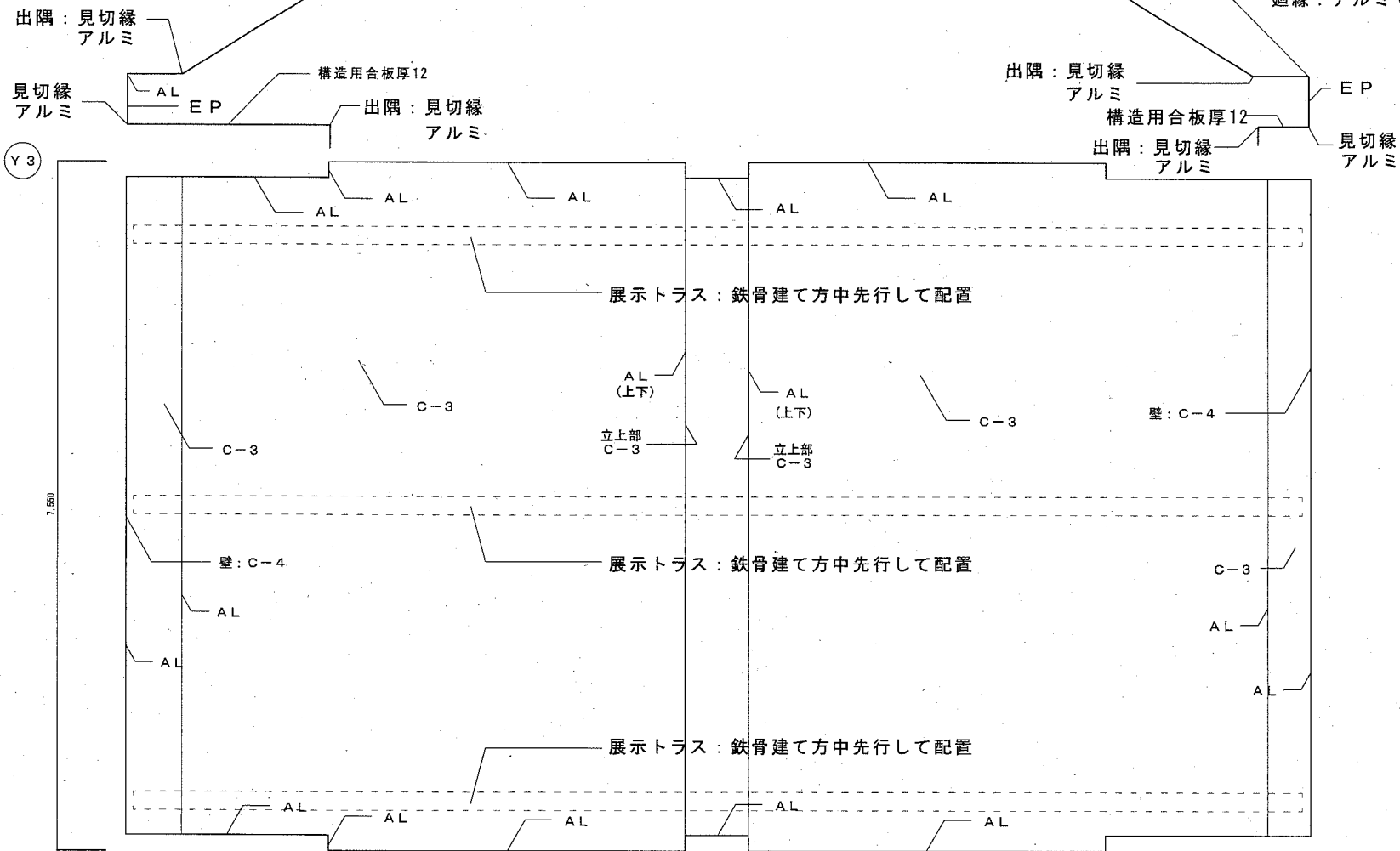
1階平面図 1/50



ヒサシA・B断面
S=1:20



ヒサシC・D断面
S=1:20



記号	下地・仕上
C-3	LGS RB t9直張り (455×910)
C-4	LGS GB-R t9.5直張り EP (立上部)

吹抜天井伏図 1/50

記号	名称
AL	廻縁・見切縁: アルミニウム(ホワイト)

吹抜平面図 1/50

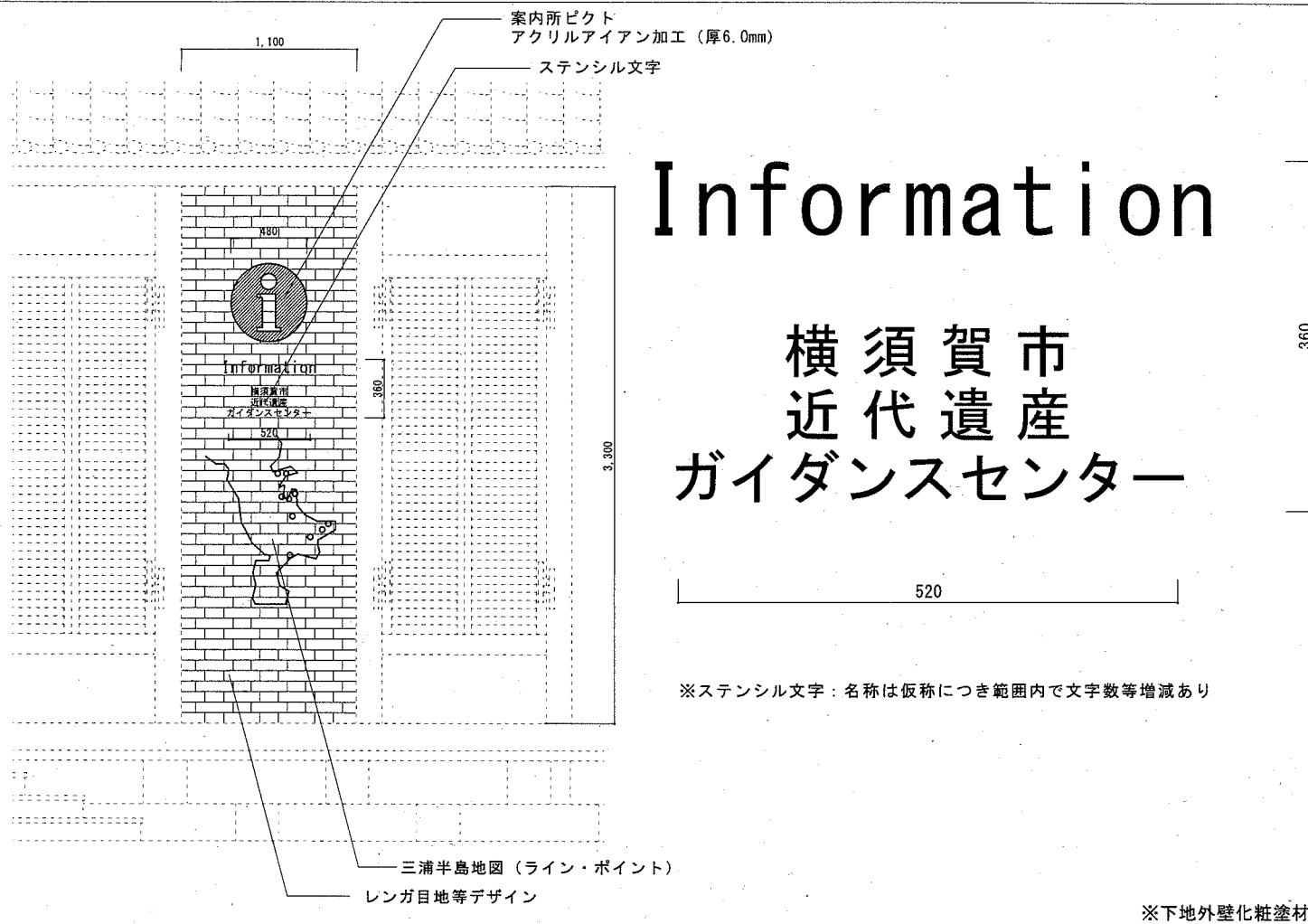


承認 設計 設計年月日
年月日
2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
図面名称 天井伏図2・吹抜平面図
Scale N.S. A3
1:50 A2

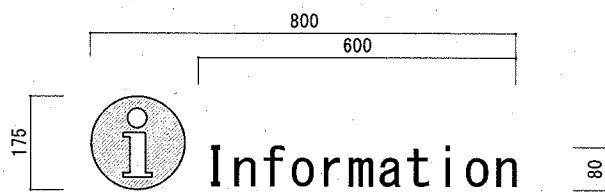
① 館名サイン

1ヶ所 1/30 1/5



② 案内サイン

1ヶ所 1/10

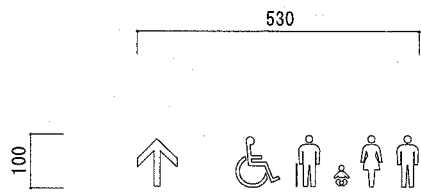


本体：アクリルアイアン加工 (厚6.0mm)

※下地石膏ボードEP塗

④ ピクトサイン

1ヶ所 1/10

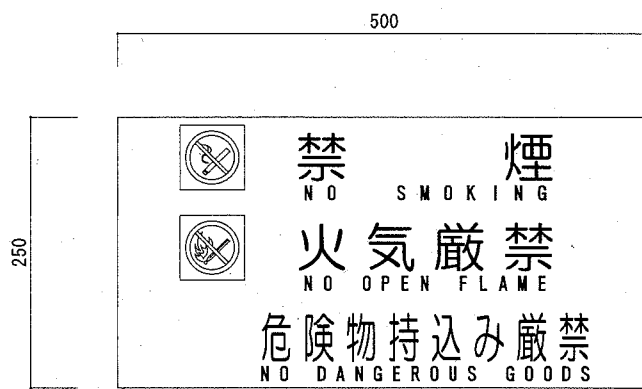


本体：アクリルアイアン加工 (厚6.0mm)

※下地石膏ボードEP塗

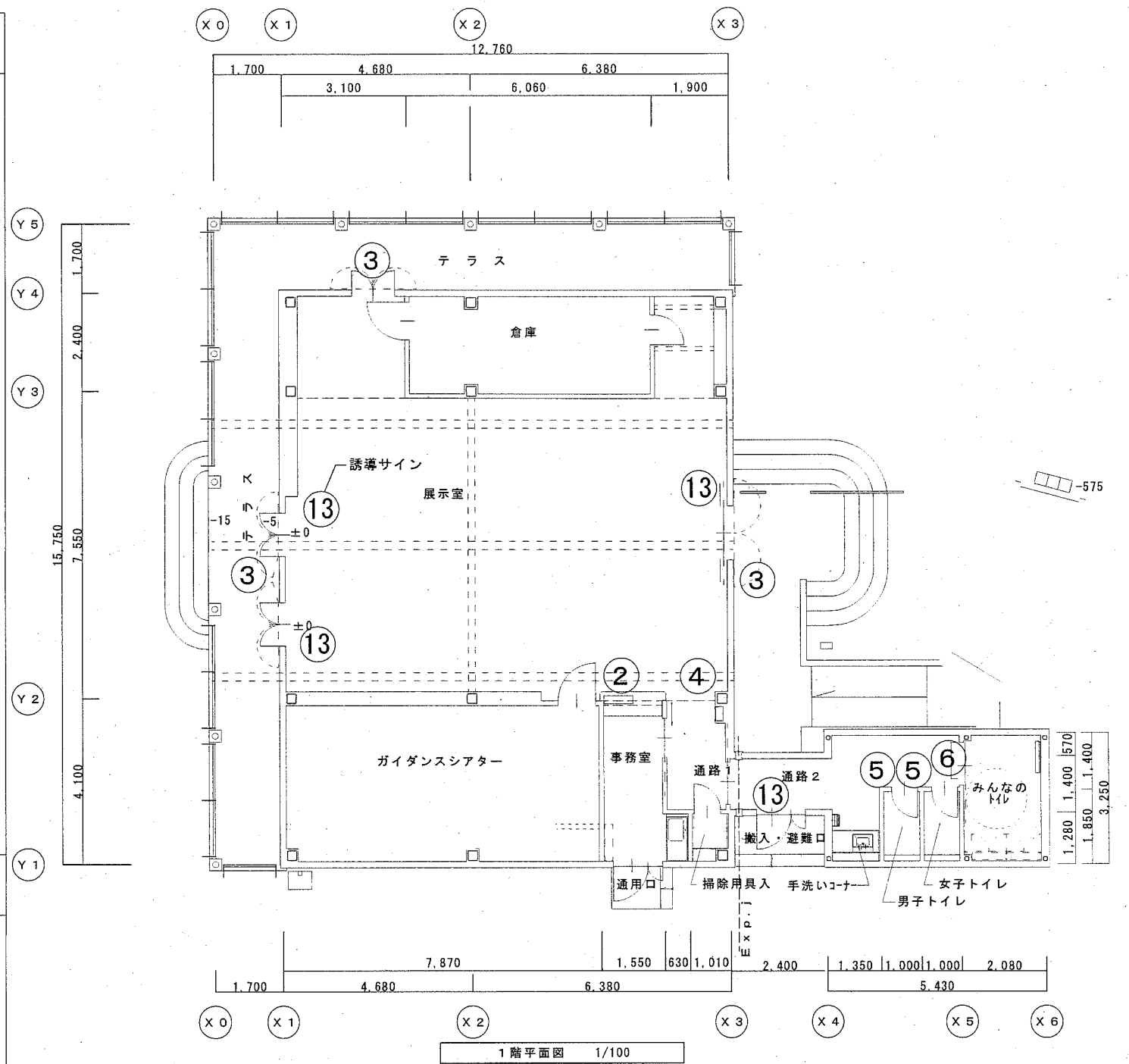
③ 消防標識

3ヶ所 1/5



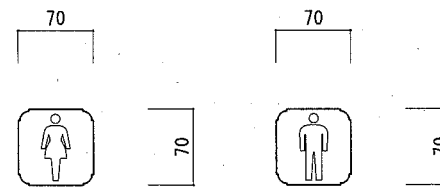
本体：アクリル板 厚5mm
ステ板：アルミ複合板 厚3mm
表示：溶剤系インクジェット出力巻込み貼

※下地木製ガラリ戸腰板部分



⑤ パネルサイン

2ヶ所 1/5

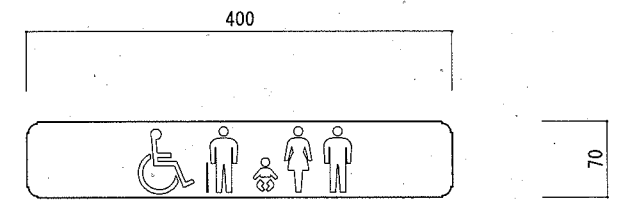


本体：アクリル切抜ピクト t5.0
ブロンズゴールド色

※木製ドア

⑥ シートサイン

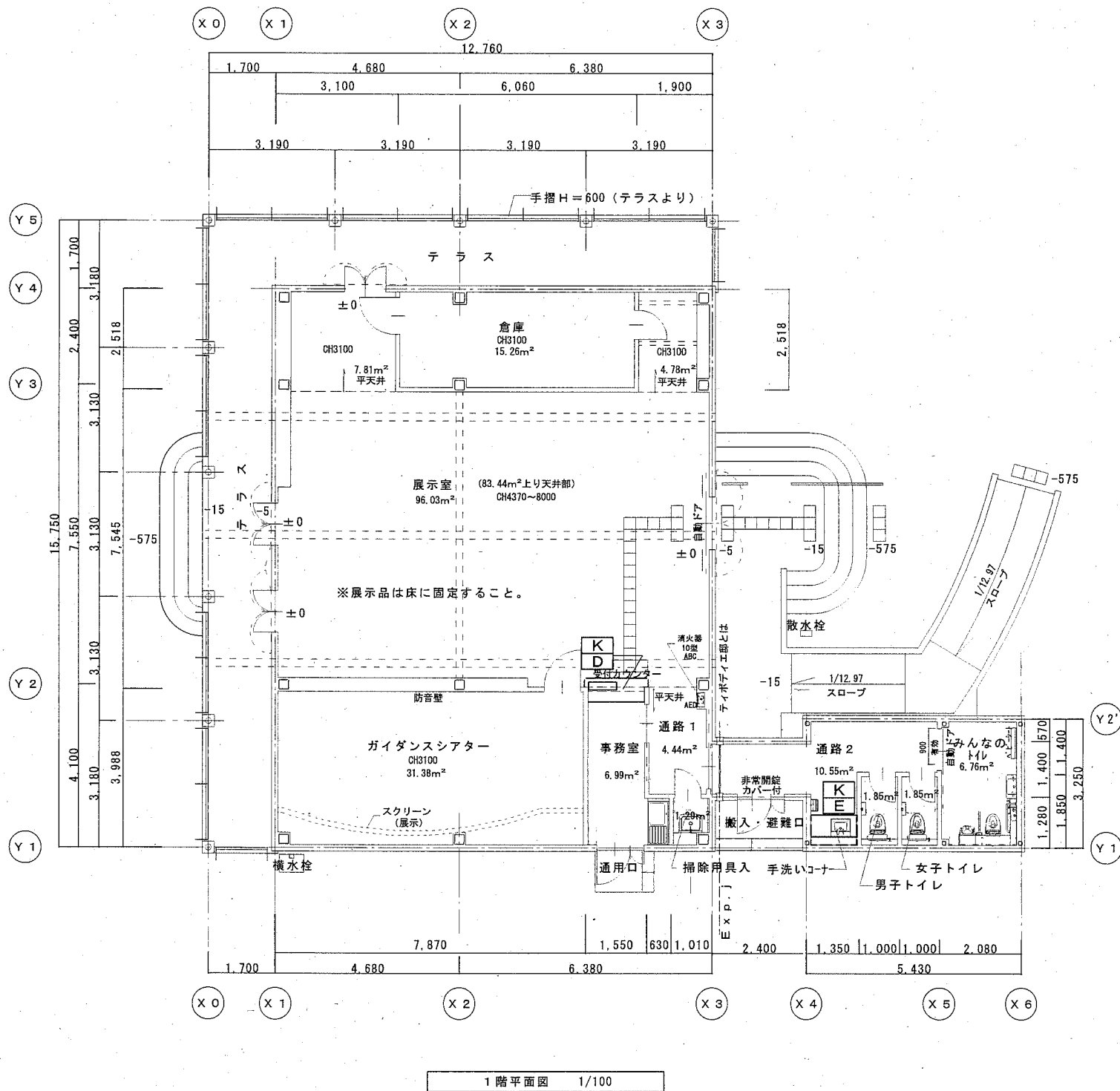
1ヶ所 1/5



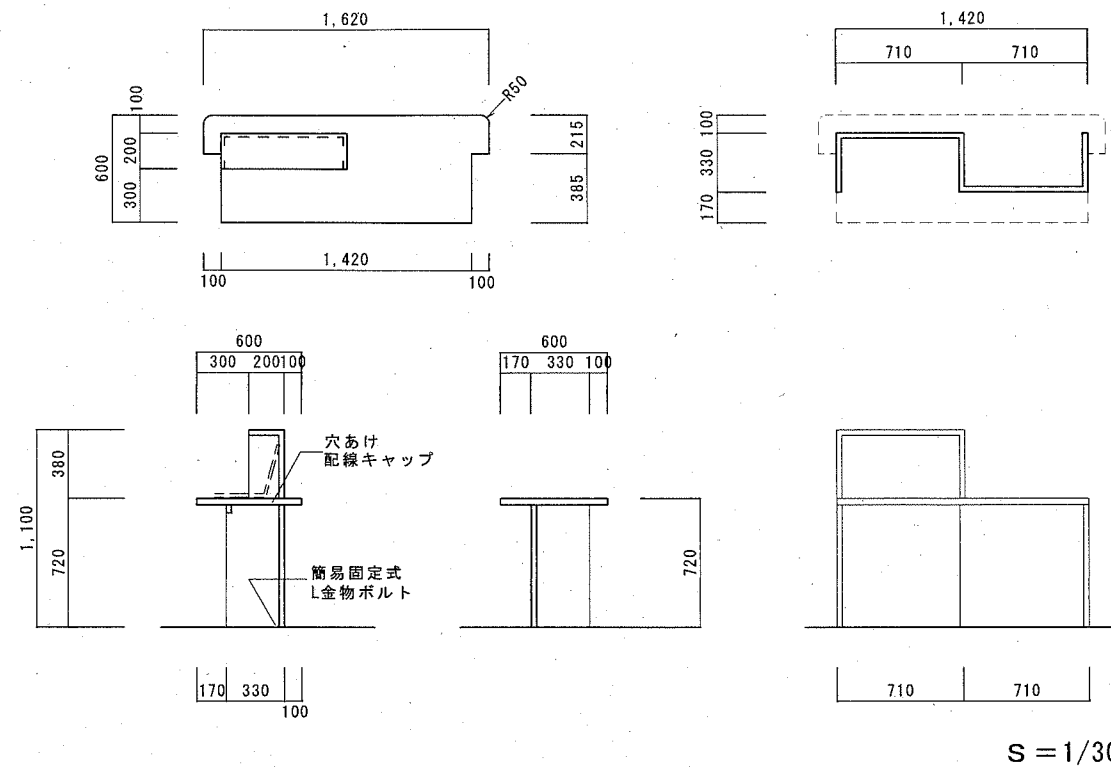
マーキングフィルム
アンティークゴールド単色

※鋼製軽量ドア



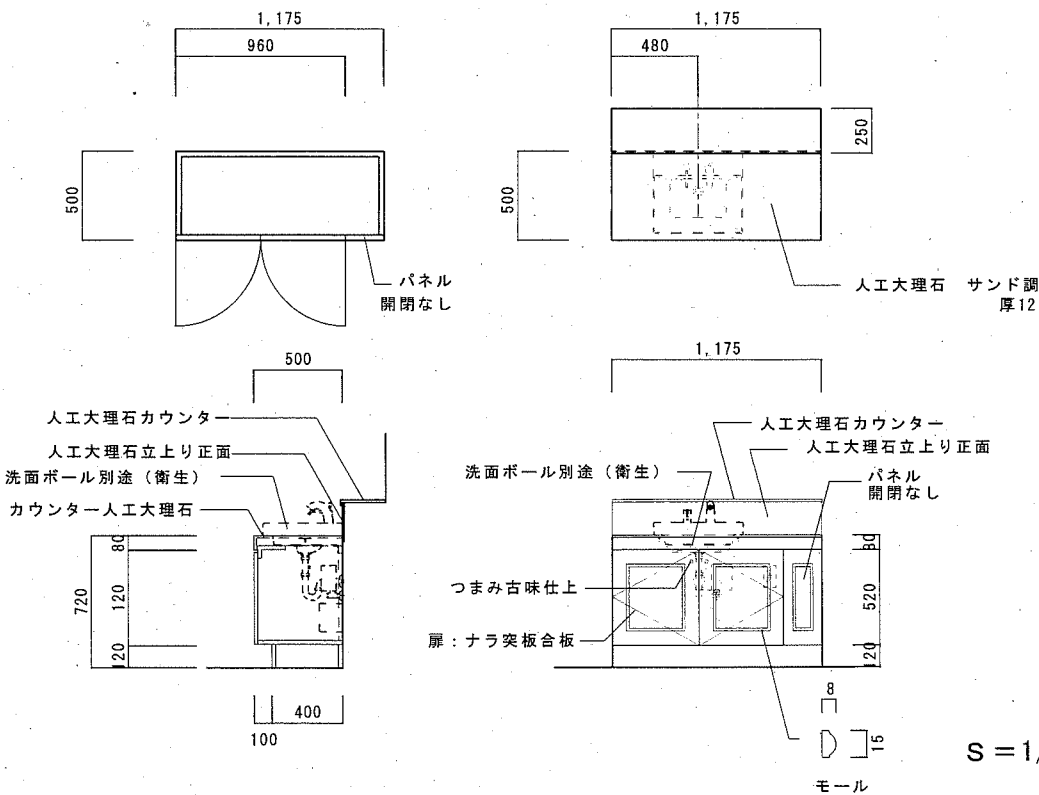


K-D 受付カウンター 事務室 1ヶ所

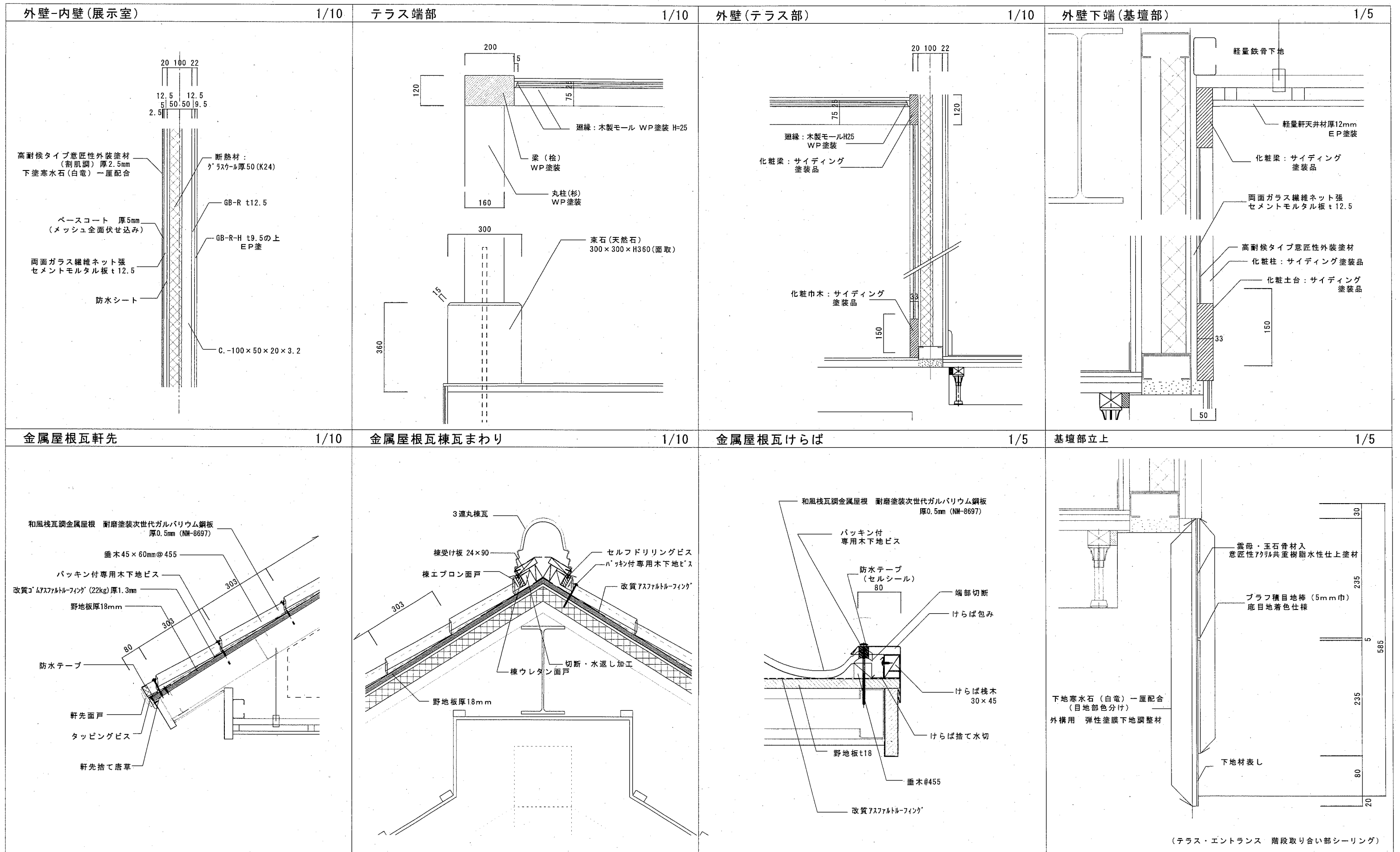


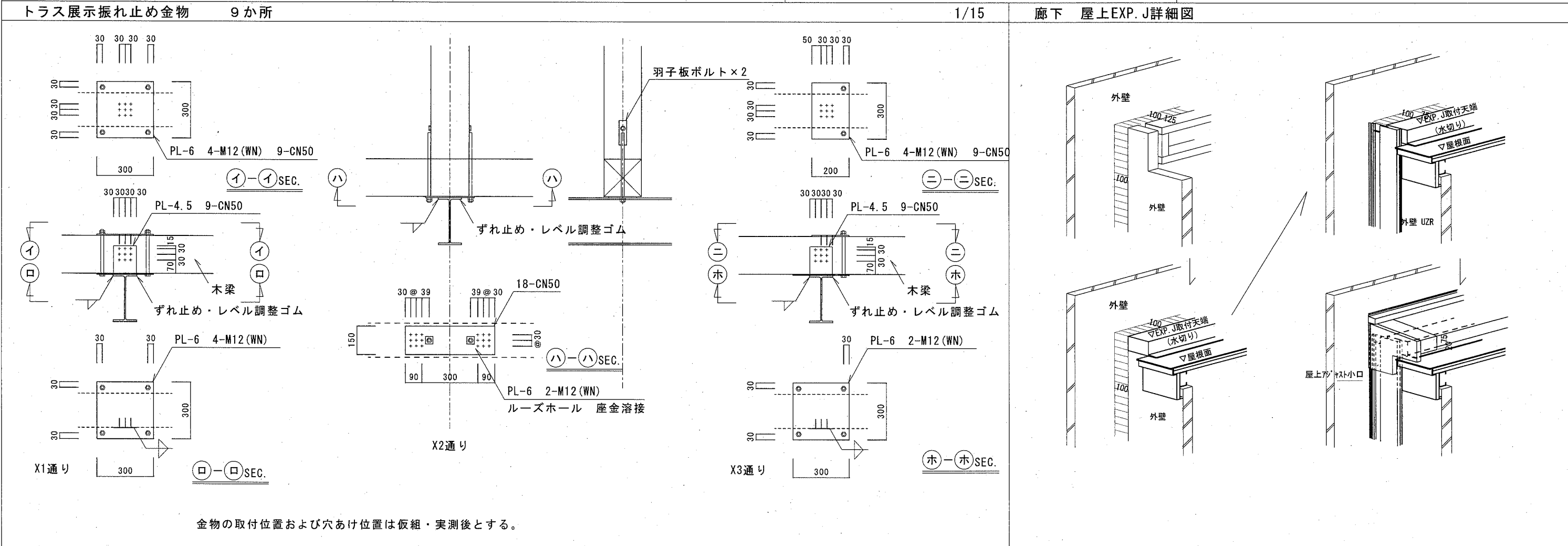
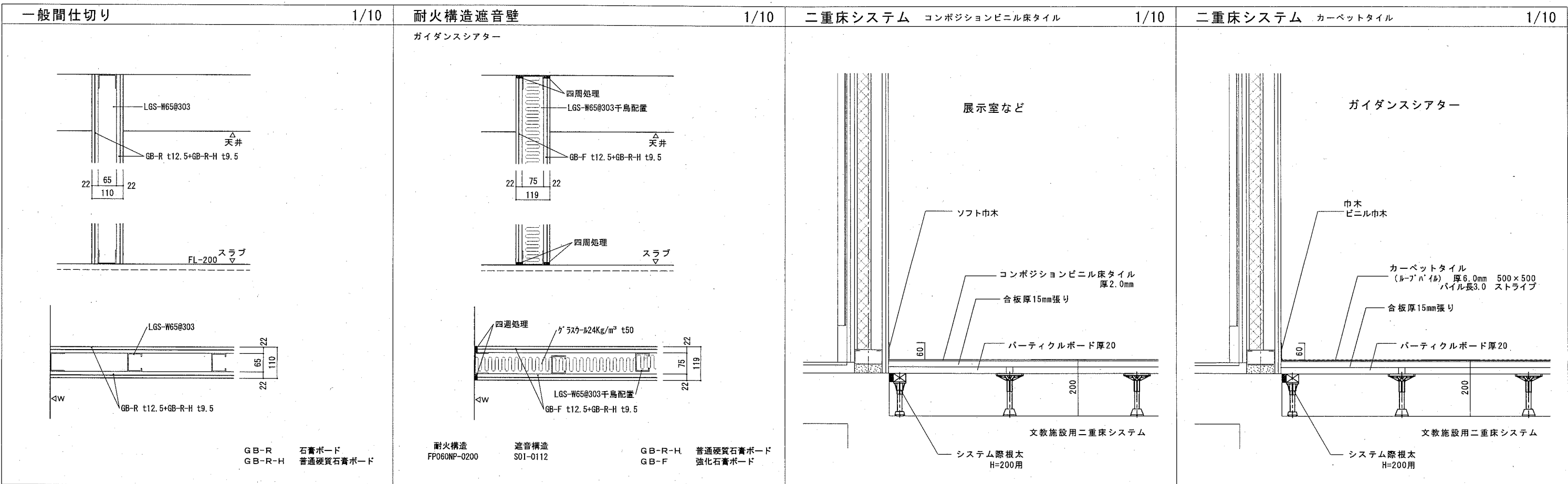
カウンター：集成材
 表面材：ナラ突板合板張
 配線キャップ
 簡易固定式L金物ボルト

K-E 洗面カウンター(ラインク仕上共) 手洗いコーナー 1ヶ所



カウンター：人工大理石
 扉：ナラ突板合板張
 内部：ポリ合板
 管理用鍵・つまみ古味仕上
 モルディング化粧

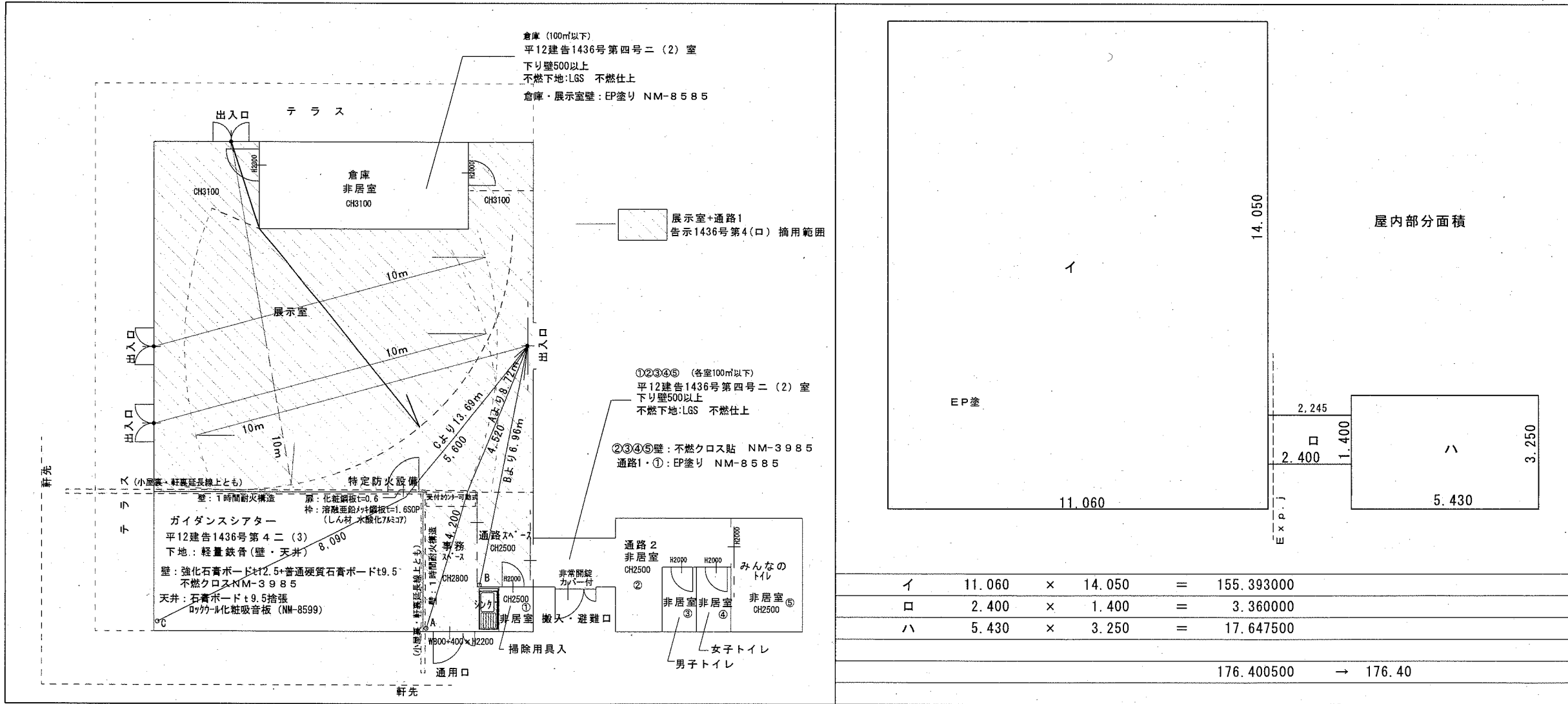


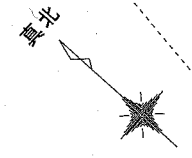


採光・換気・令116条の2のチェック													
室名	床面積 (m ²)	採光 (1/20)				換気 (1/20)			令第126条の2による開口 (1/50)				
		必要面積 (m ²)	採光関係比率	採光補正係数 =0/h×e-1.4	計算式(W×H)	有効面積 (m ²)	必要面積 (m ²)	計算式(W×H)	有効面積 (m ²)	必要面積 (m ²)	天井高	計算式(W×H)	有効面積 (m ²)
ガイダンスシアター	31.38	1.569			法28条1項ただし書き用途上やむを得ない居室(※)		0.733	機械換気		0.628	3100	平12建告1436号第4ニ(4)	
事務スペース	6.99	0.350			明らかに3.0 通用口上部 (0.6+0.2)×0.9×3.0	2.160	0.297	機械換気	2.400	0.140	2800		
展示室	7.81 4.78 83.44 96.03	4.802			明らかに3.0 再開き窓+横開き3か所 (0.33×1.2+0.33×1.2+0.95×0.35)×3×3.0	10.121	1.699	機械換気	6.480	1.921	空間一体 8000	平12建告1436号第4口 平27国住指4784号	
									通路1 4.44m ² 0.089				

※開口部を設けることが用途上望ましくない居室
2) 映写等を行うため自然光を防ぐ必要のある居室

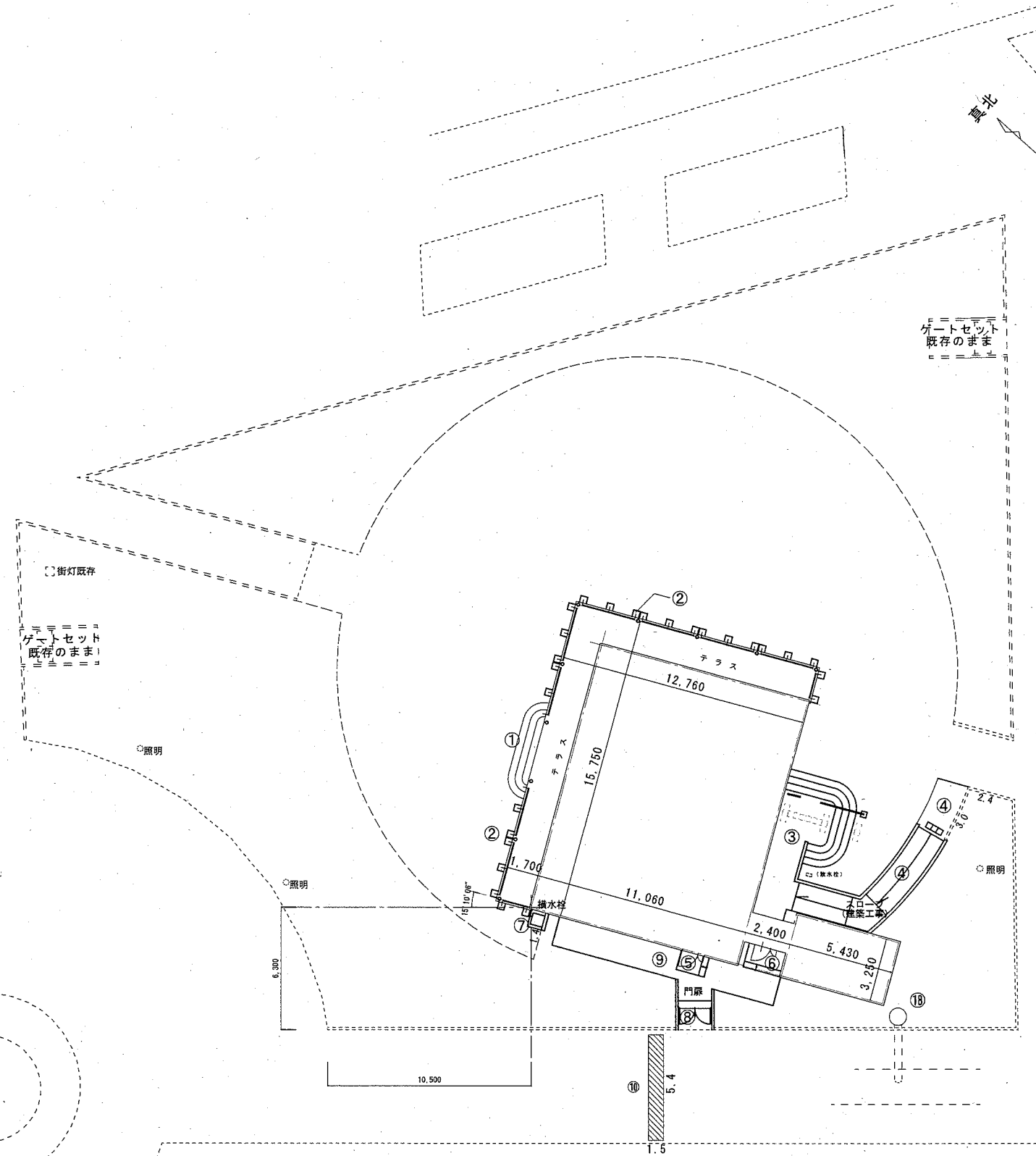
法第35条	ガイダンスシアター	室内及びメイン入口までの経路に非常用照明を設置
法第35条の2	ガイダンスシアター	仕上: 不燃クロス 不燃下地: NM-3985 (不燃) 下地: 軽量鉄骨下地
法第35条の3	ガイダンスシアター	仕上: 不燃クロス 不燃下地: NM-3985 (不燃) 下地: 軽量鉄骨下地





凡 例	
① テラス階段	
② テラス手摺基礎	26か所
③ エントランス階段	
④ エントラン斯洛ープ	
⑤ 通用口階段	
⑥ 避難口階段	
⑦ 外水柱	1か所
⑧ 既存門扉再設置	2か所
⑨ 設備基礎兼犬走り・スロープ	20.4m ²
⑩ 舗装1 石畳	26.4m ² +8.1m ²
⑪ 舗装2 インターロッキング	185m ²
⑫ 設備基礎(キュービクル)	1か所
⑬ コンクリート舗装	2.0m ²
⑭ 縁石再設置	7.2m
⑮ バラ植え込み(移設)	135株 40.2m ³
⑯ 下水本管つなぎこみ(ベビーモル工法)	

※A-33含



配置図 1:200

※縁石再設置は外構工事とする
 ※大型重機乗り入れによる舗装の補修は外構工事とする。
 (大型重機経路の通行経路内 1m×10箇所程度)

※縁石復旧は外構工事

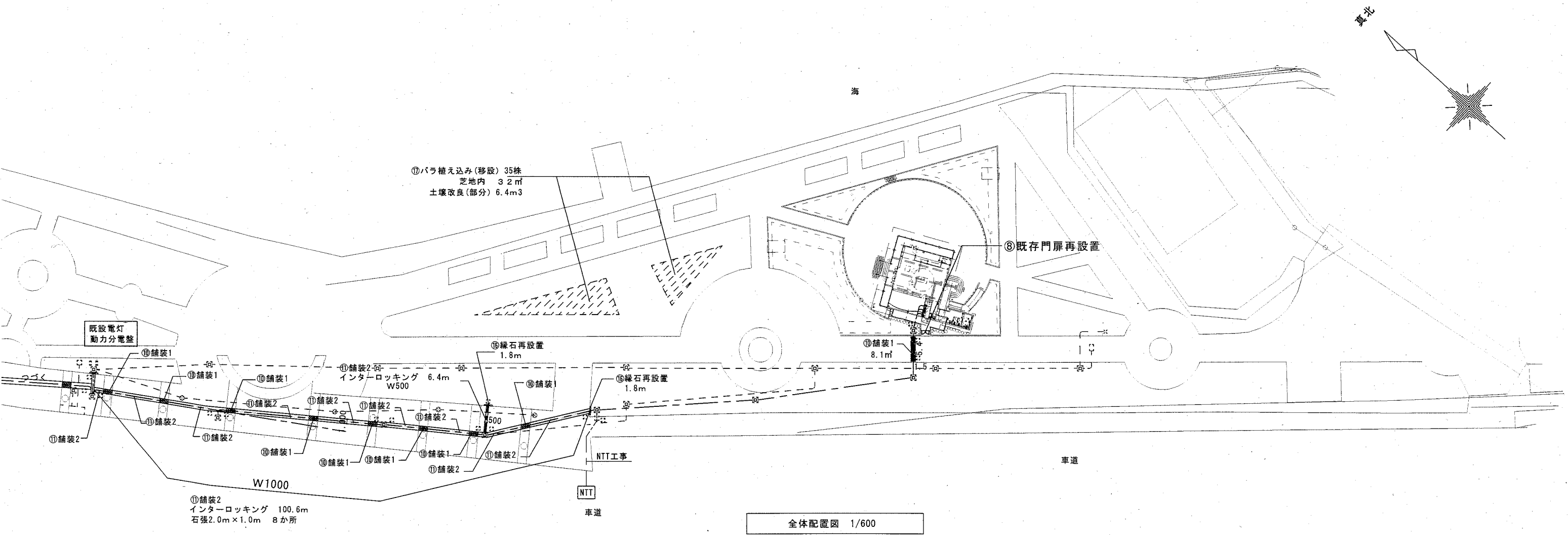
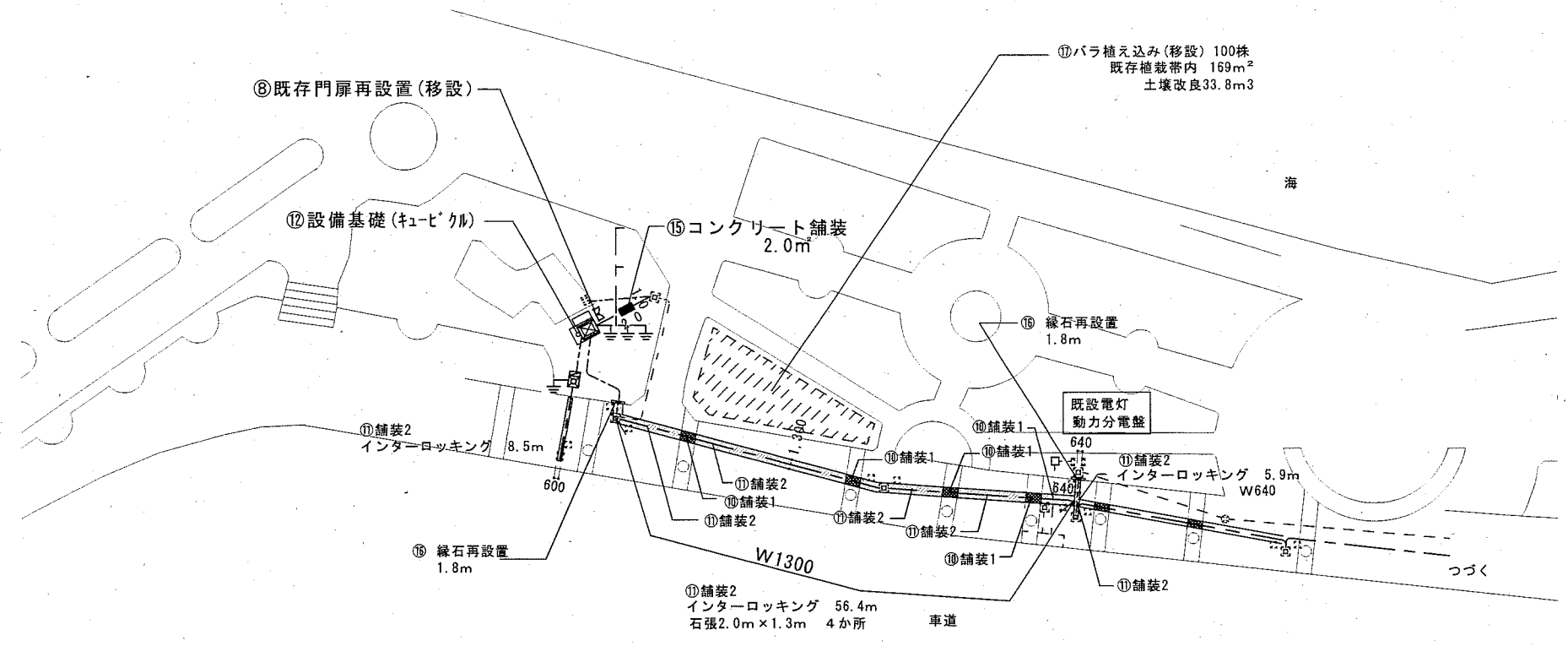
出入口まで≒80m



承認 設計 設計年月日
 年月日
 2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
 図面名称 外構平面図1
 Scale N.S. A3
 1:200 A2

凡 例		
⑧	既存門扉再設置(移設)	2か所
⑩	舗装1 石畳	26.4㎡+8.1㎡
⑪	舗装2 インターロッキング	185㎡
⑫	設備基礎(キュービクル)	1か所
⑮	コンクリート舗装	2.0㎡
⑯	縁石再設置	7.2m
⑰	バラ植え込み(移設)	移設 100株 35株 植栽帯 169㎡(既存土) 32㎡(芝地内) 土壤改良 33.8m ³ 6.4m ³

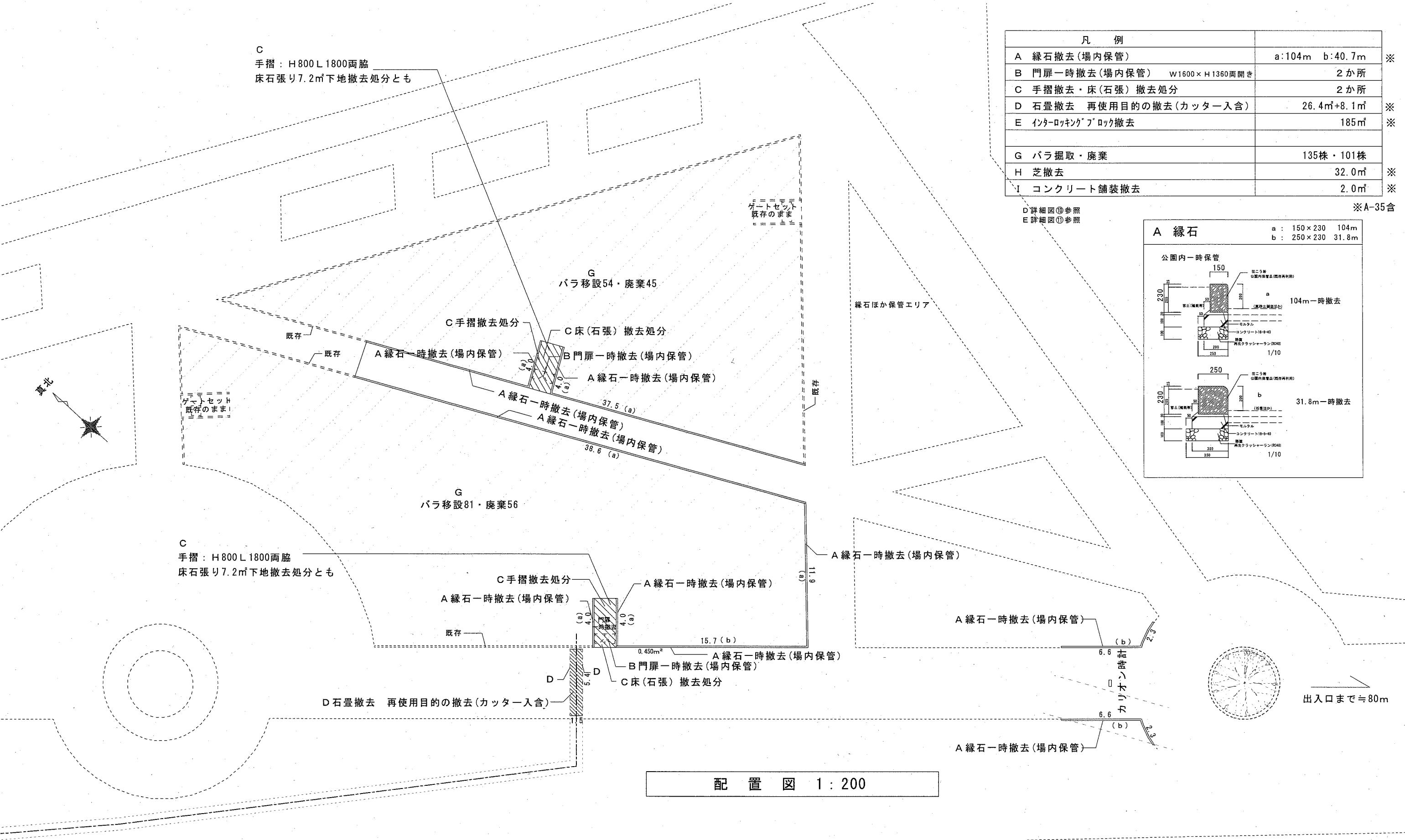
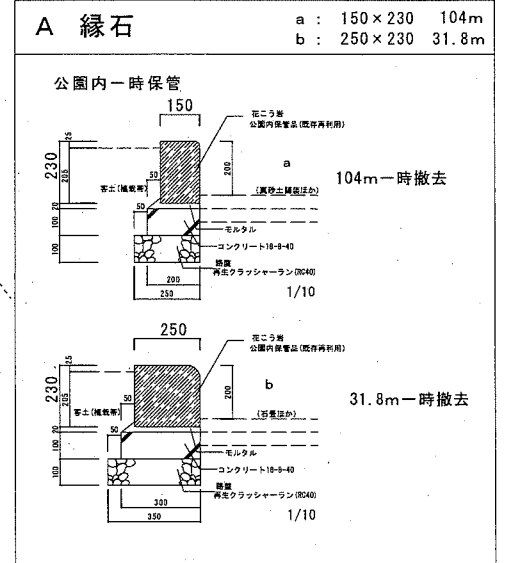


C
手摺：H800 L1800両脇
床石張り7.2㎡下地撤去処分とも

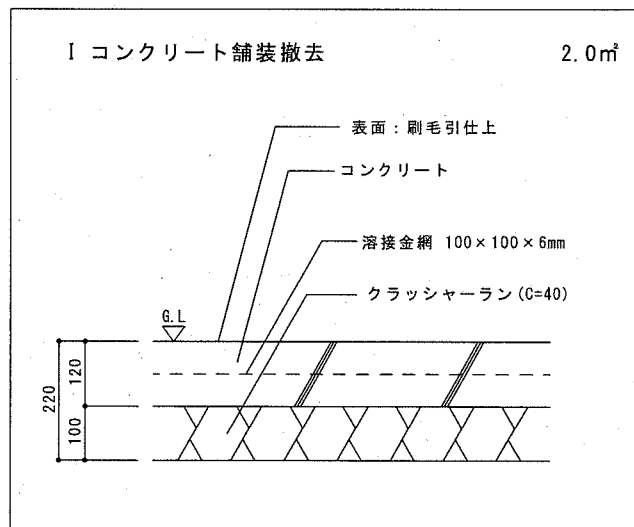
凡 例		
A	縁石撤去(場内保管)	a:104m b:40.7m ※
B	門扉一時撤去(場内保管) W1600×H1360両開き	2か所
C	手摺撤去・床(石張)撤去処分	2か所
D	石畳撤去 再使用目的の撤去(カッター入含)	26.4㎡+8.1㎡ ※
E	インターロッキングブロック撤去	185㎡ ※
G	バラ掘取・廃棄	135株・101株
H	芝撤去	32.0㎡ ※
I	コンクリート舗装撤去	2.0㎡ ※

D詳細図⑩参照
E詳細図⑪参照

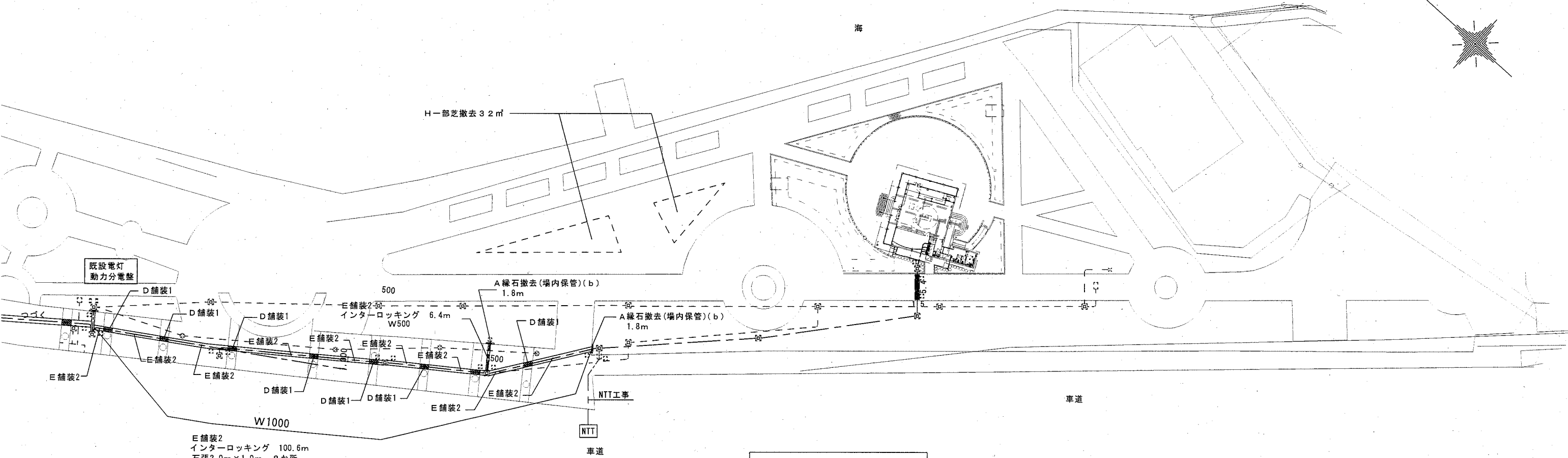
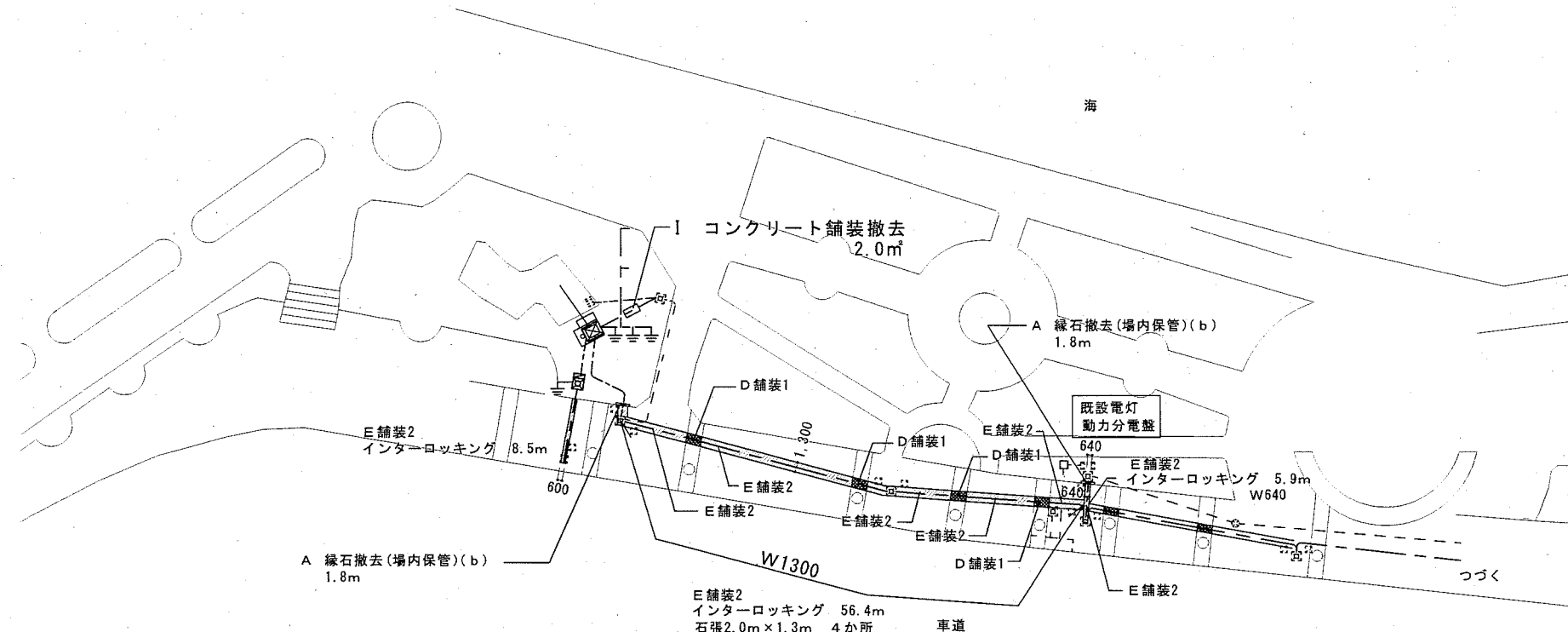
※A-35合



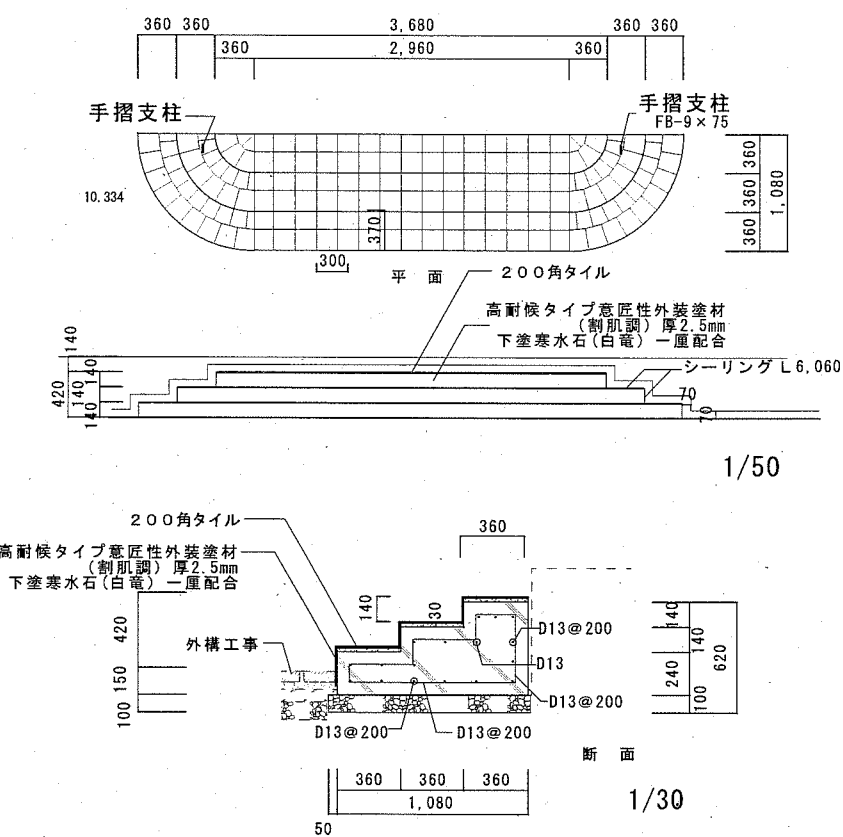
配置図 1 : 200



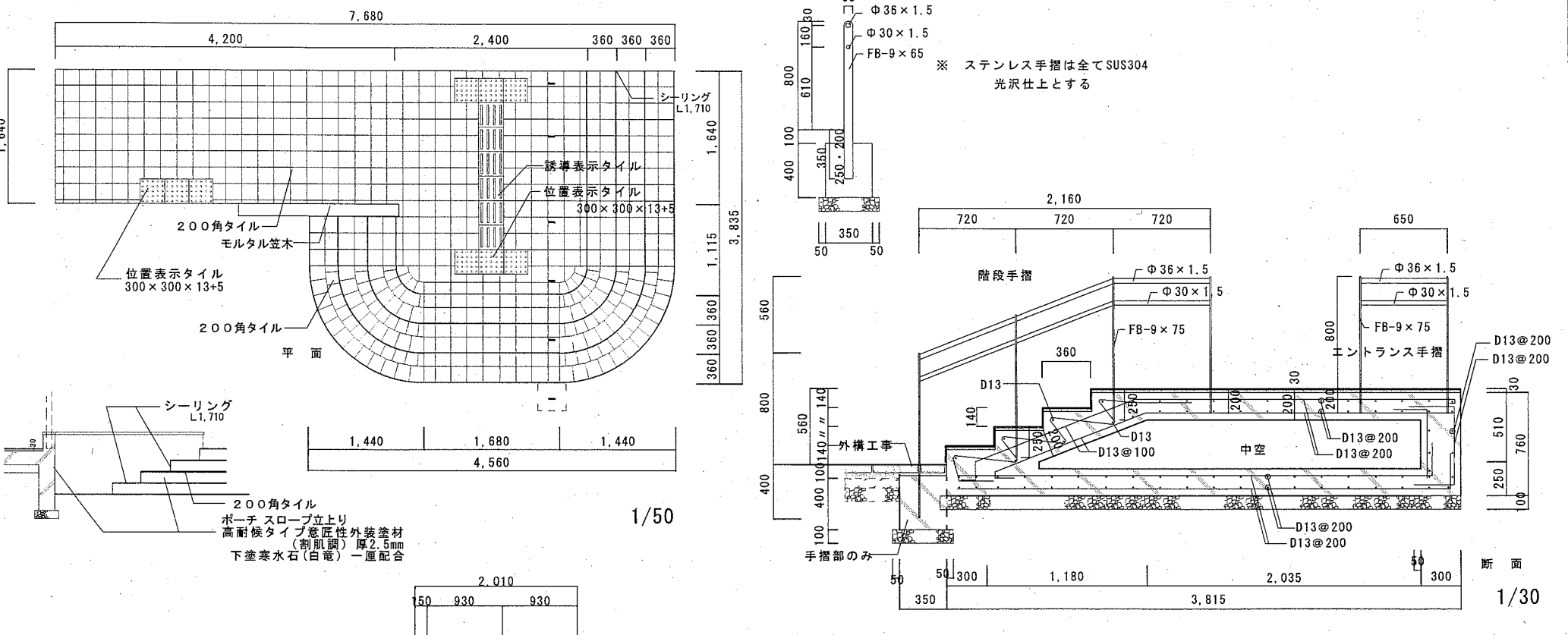
凡 例	
A 縁石撤去(場内保管)	a:104m b:40.7m
D 石畳撤去 再使用目的の撤去(カッター入含)	26.4㎡+8.1㎡
E インターロッキングブロック撤去	185㎡
H 芝撤去	32.0㎡
I コンクリート舗装撤去	2.0㎡



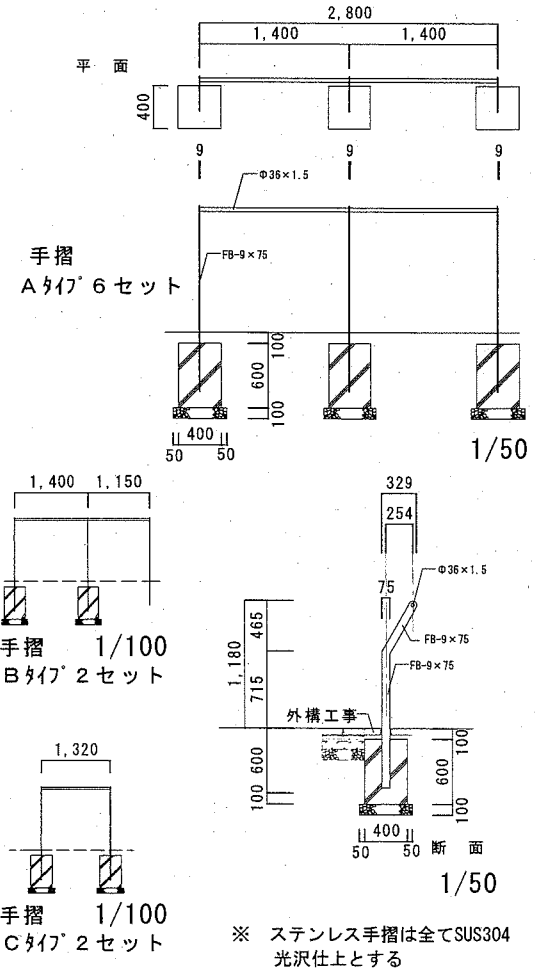
① テラス階段



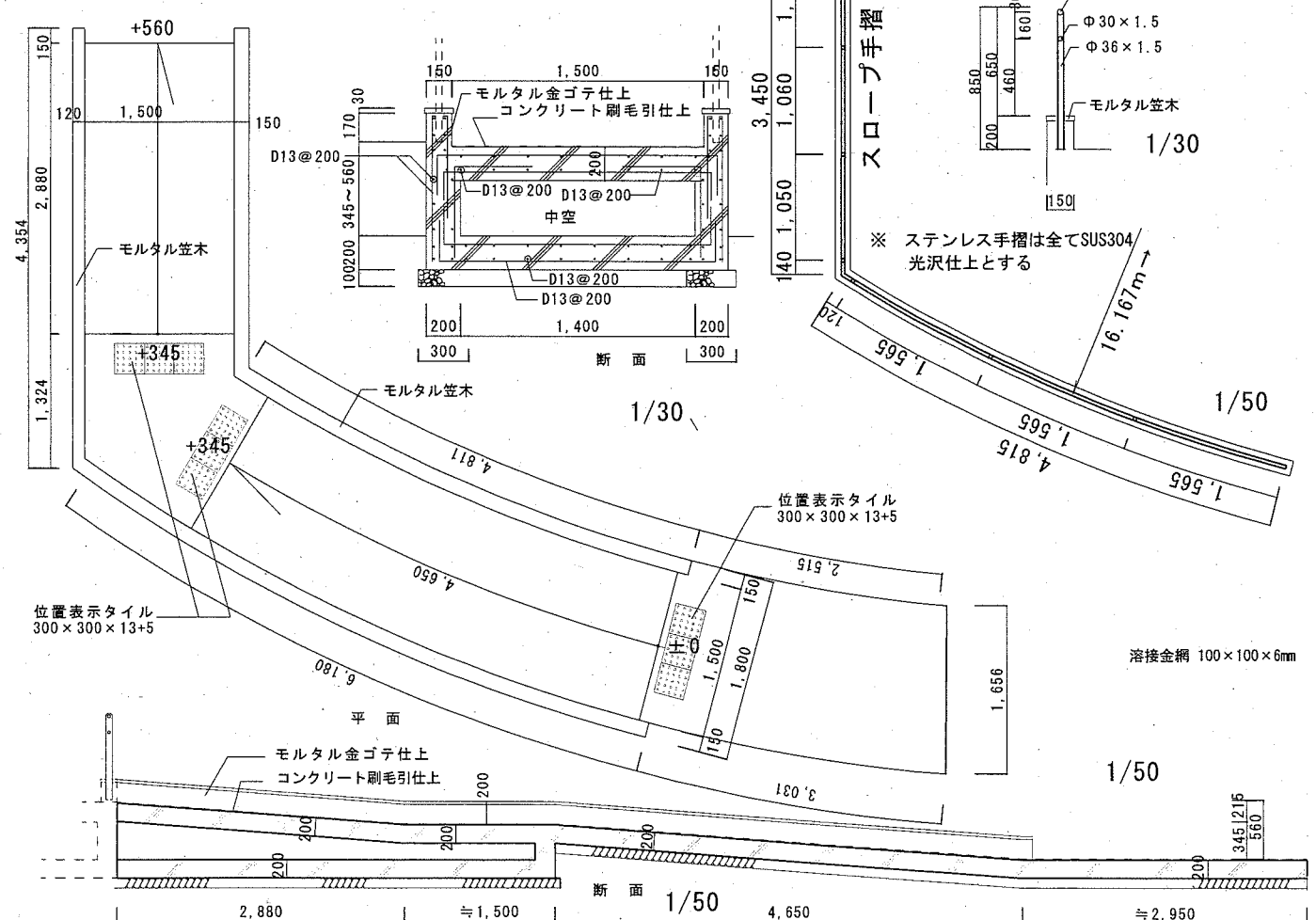
③ エントランス階段



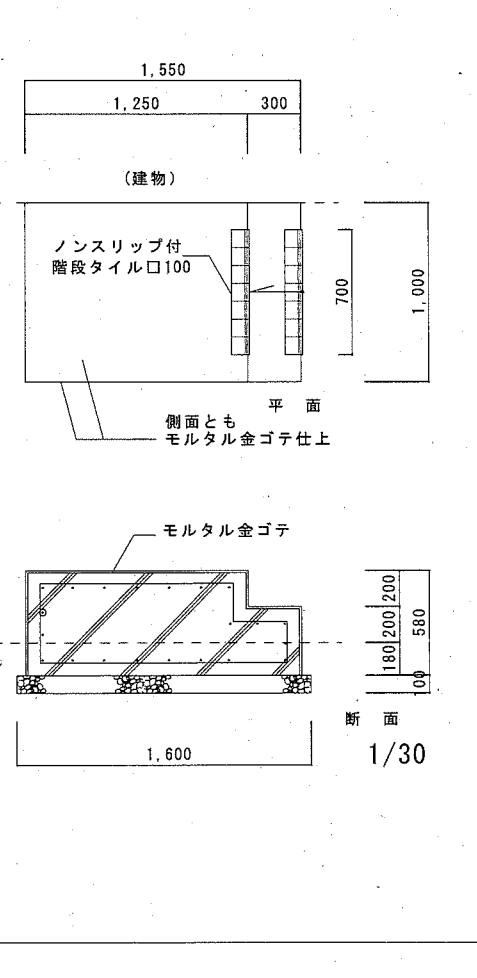
② テラス手摺基礎 26か所



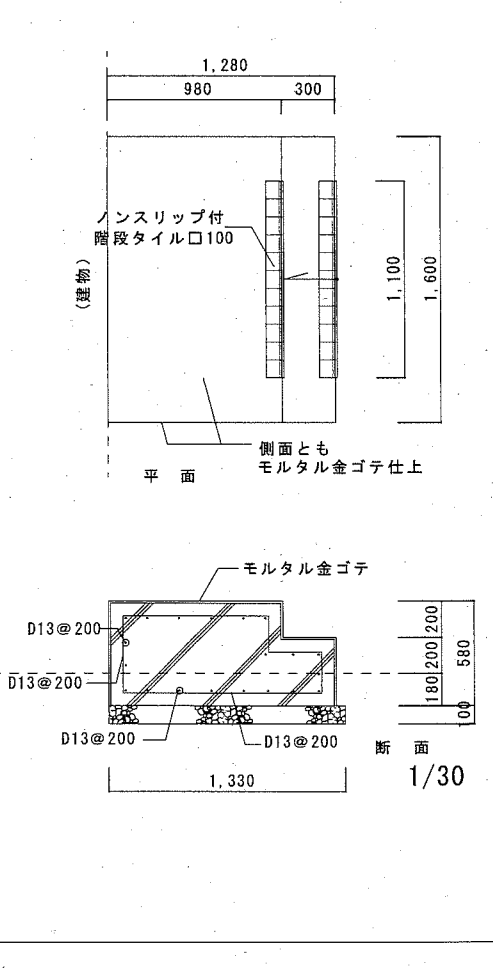
④ エントランススロープ及びタイル張



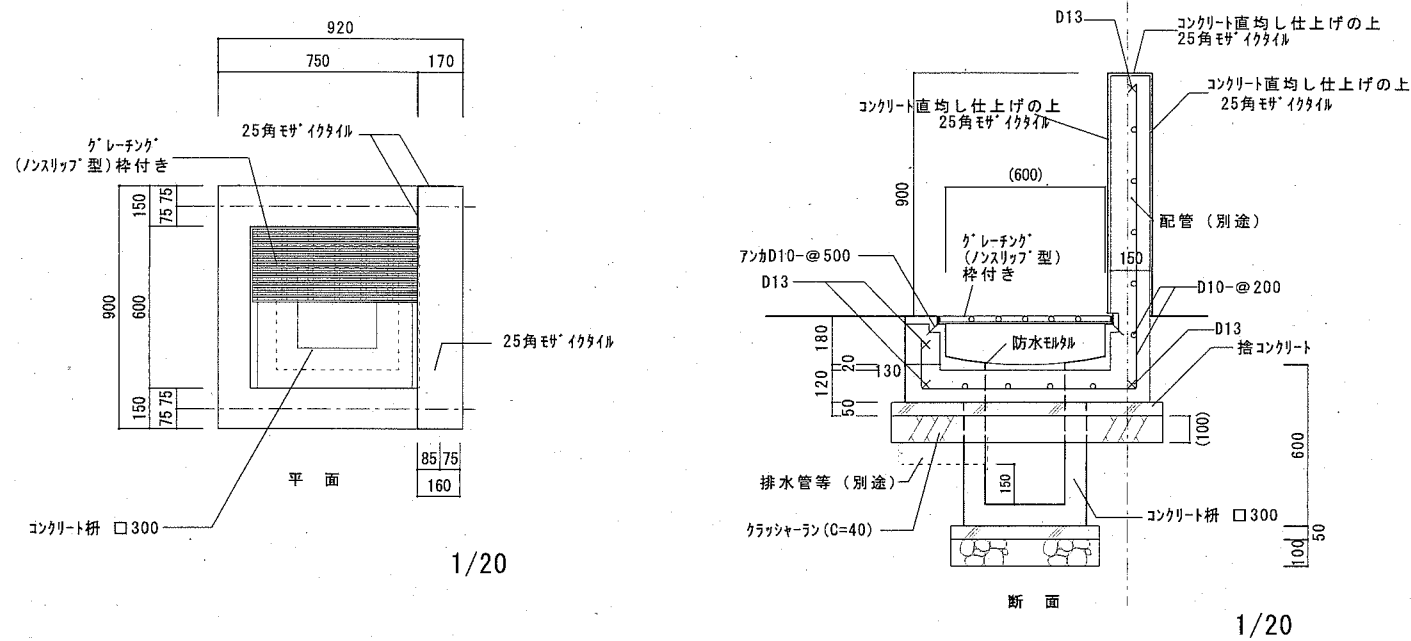
⑤ 通用口階段



⑥ 避難口階段



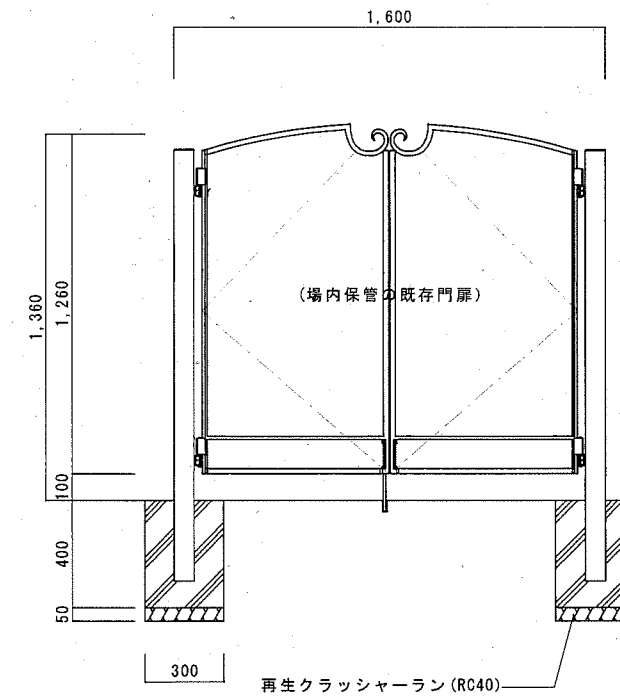
⑦ 外水栓



⑧ 既存門扉再設置

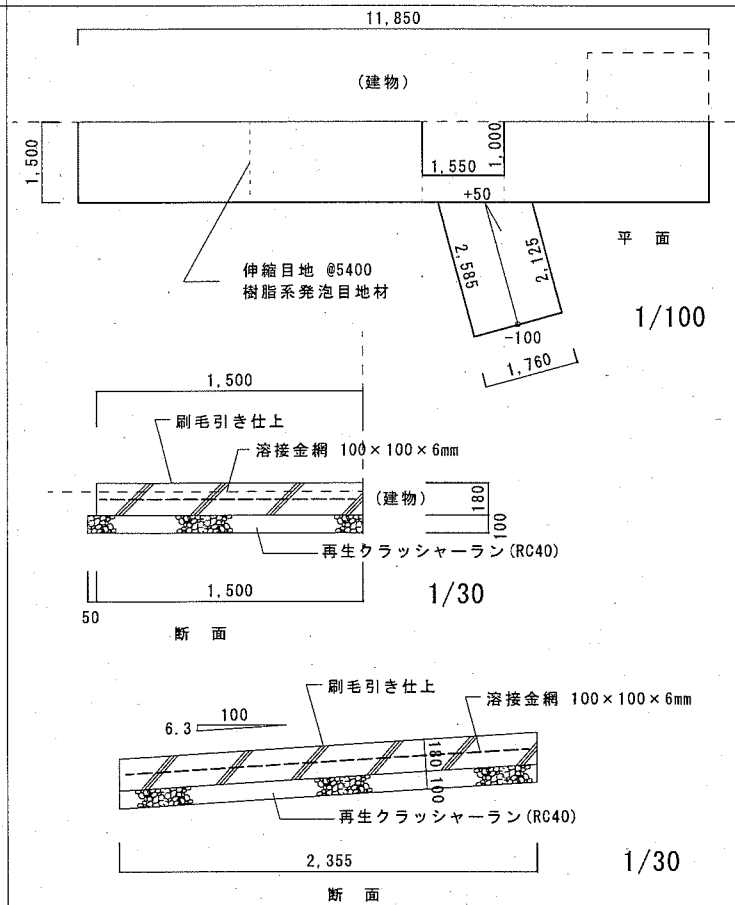
2か所

1か所は移設置 (キュービクル)



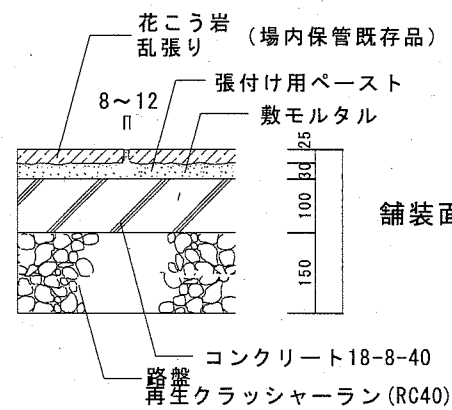
⑨ 設備基礎兼犬走り・スロープ

20.4m²



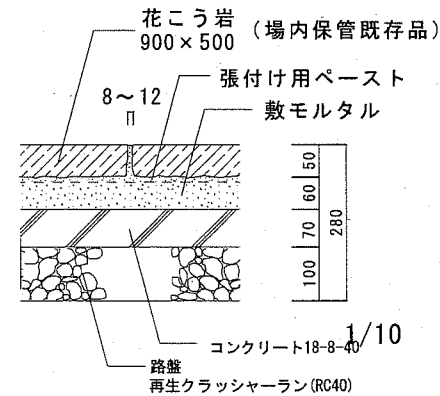
⑩ 舗装1 石畳

乱張り 26.4m²

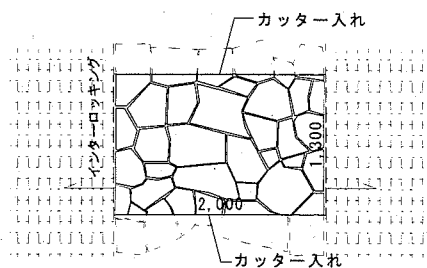


舗装面 (歩道)

必要巾 (mm)	長さ (m)	
1300	8.0	2×4
1000	16.0	2×8

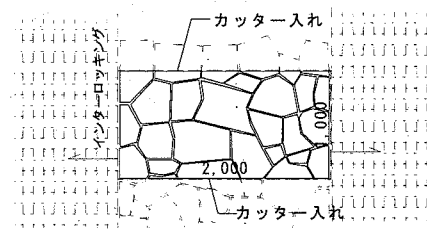


1/10



2000×1300 4か所

平面 1/50



2000×1000 8か所

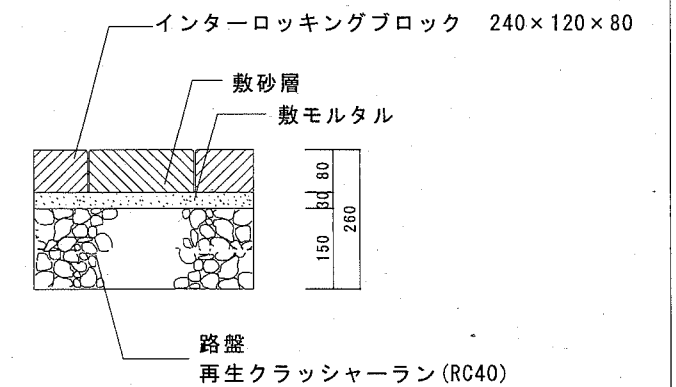
平面 1/50

※再利用品は乱張りにつきカッター入れをして保管する際は記録を取ることを。一部石目に沿って撤去再設置としてもよい。

園内通路 8.1m²

⑪ 舗装2 インターロッキング

185m²



※インターロッキングはカッター入れを行わず必要巾前後を確保すること。

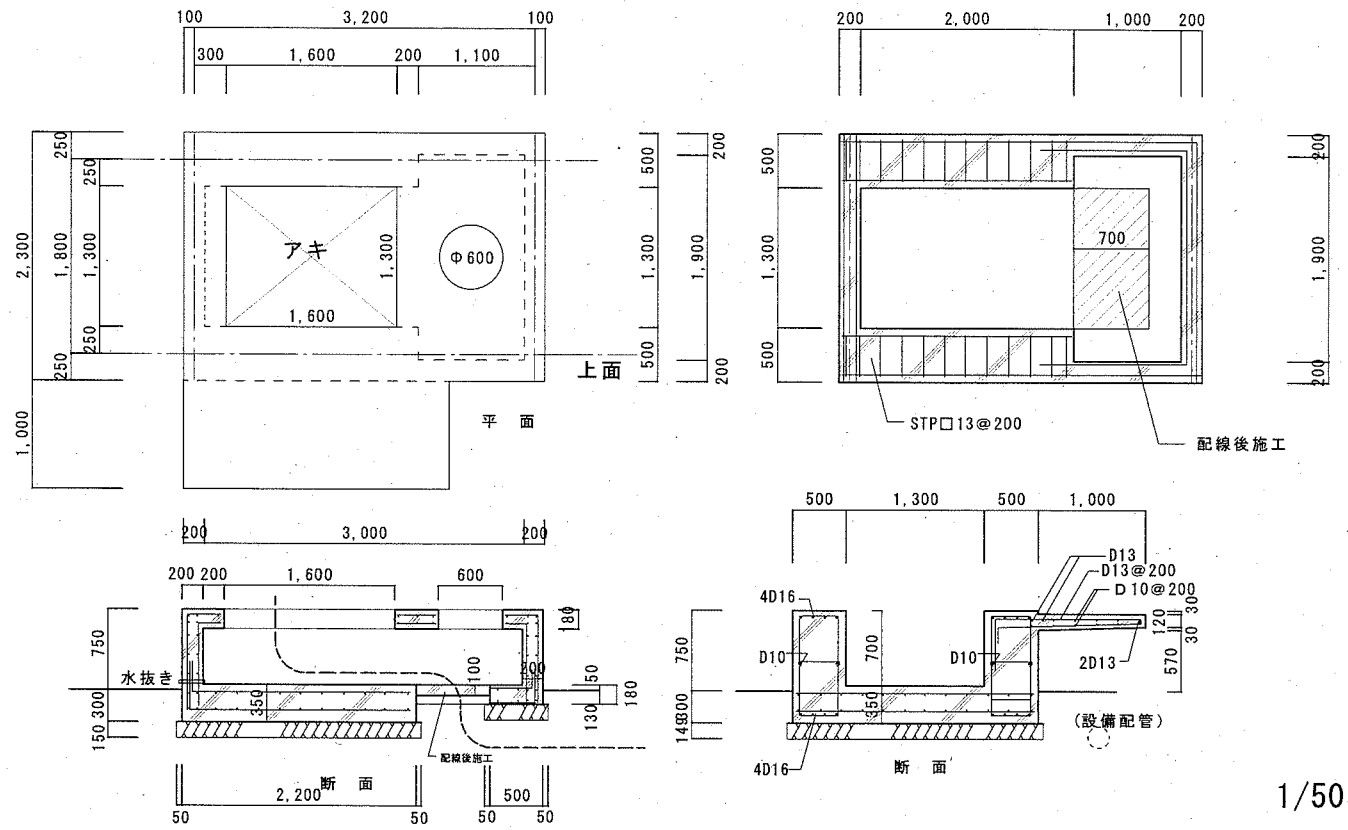
必要巾 (mm)	長さ (m)
600	8.5
1300	56.4
640	5.9
1000	100.6
500	6.4



承認 設計 設計年月日
年月日
2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
図面名称 外構詳細図 2
Scale N.S. A3
図示 A2

⑫ 設備基礎 (キュービクル)

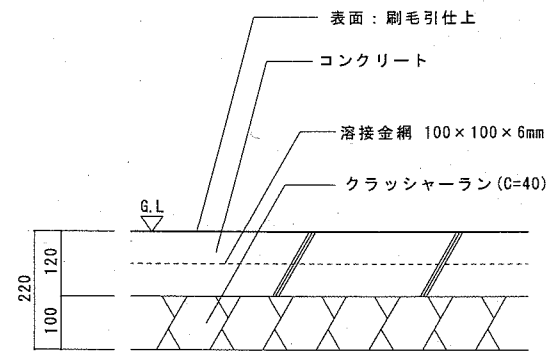


1/50

⑮ コンクリート舗装

2.0m²

1000×2000



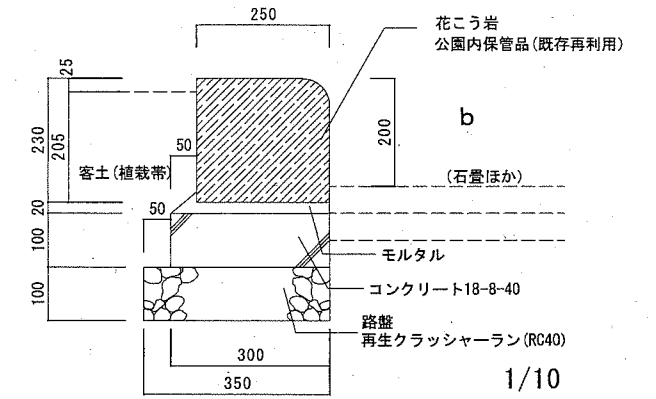
※レストラン通路: 人のみ

⑯ 縁石再設置

7.2m

公園内一時保管品 (既存再利用)

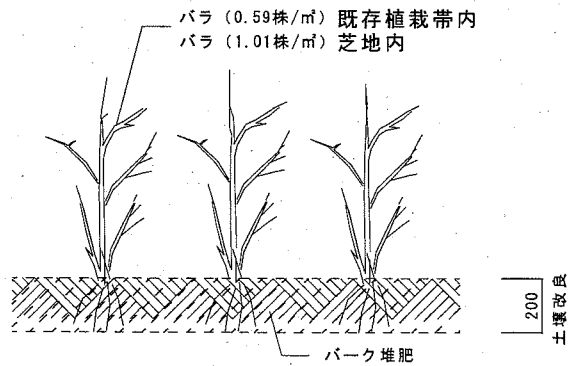
1.8m×4か所



1/10

⑰ バラ植え込み (移設)

※移設先 ヴェルニー公園内
 廃棄 101株
 バラ植え込み 135株
 土壌改良 40.2m³

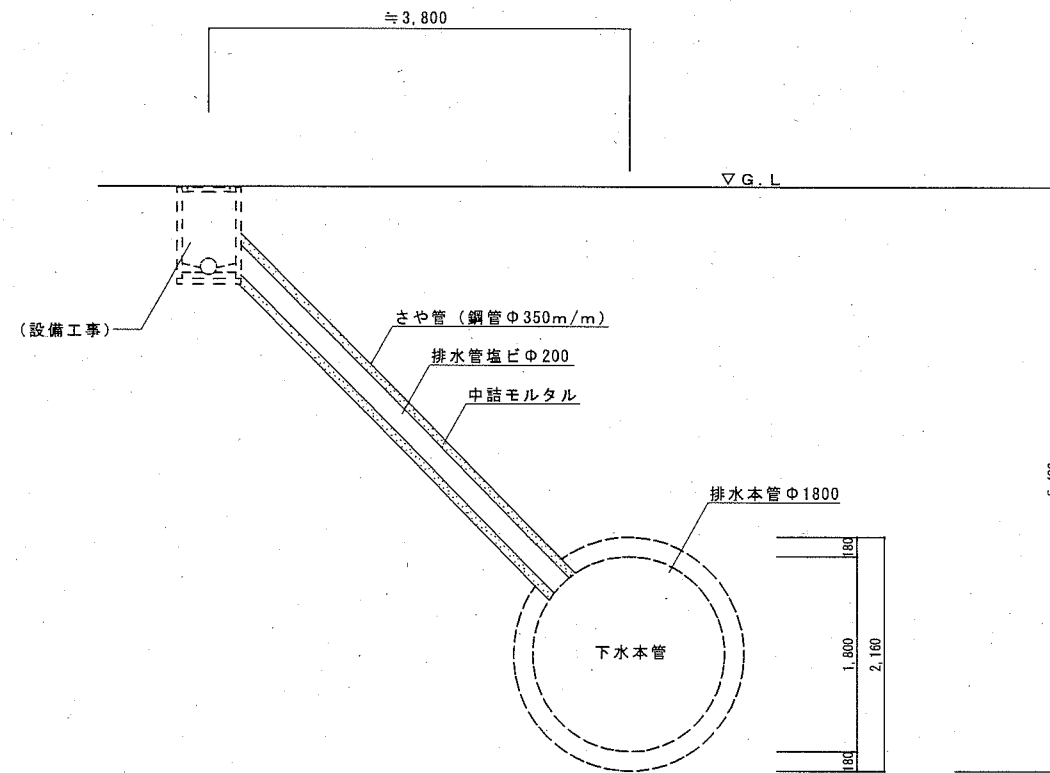


土壌改良33.8+6.4m³

1/20

既存植栽帯内 100株 169m ² (既存植栽帯内) 33.8m ³	芝地内 35株 32m ² (芝地内) 6.4m ³
--	---

⑱ 下水本管つなぎこみ (ベビーモール工法)

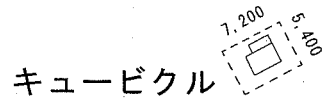


1/50



承認 設計 設計年月日
 年月日
 2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
 図面名称 外構詳細図 3
 Scale N.S. A3
 図示 A2



キュービクル
仮囲いH1800
7.2m×5.4m
25.2m
1.5か月

配置図 1:600

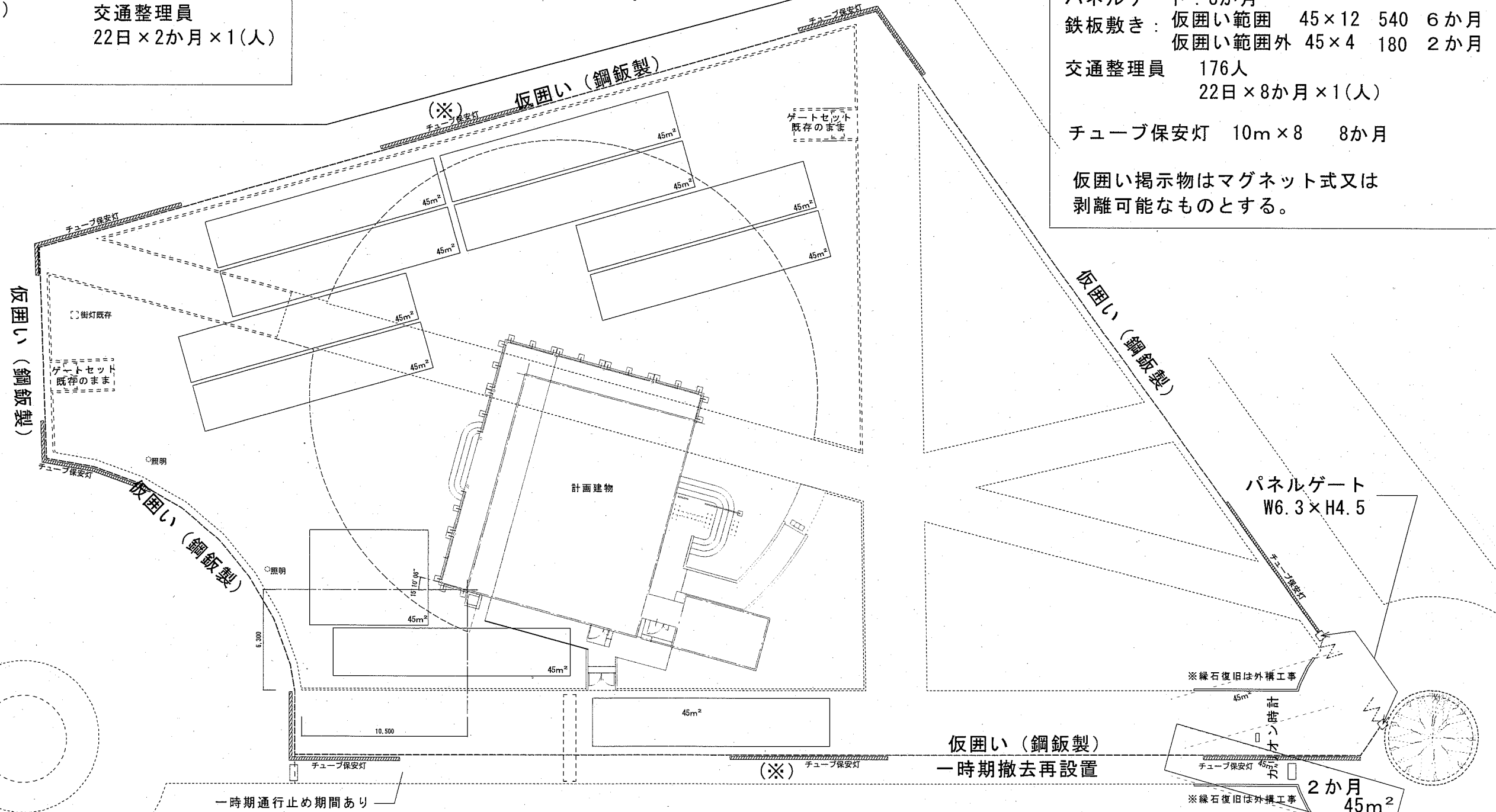
キュービクル工事期間中※部のチューブ保安灯 利用のこと

仮囲いH1800(ガードフェンス)
27m×5.4m 64.8m
6回盛り替え 2か月

交通整理員
22日×2か月×1(人)

仮囲い3m : 8か月 213m
パネルゲート : 8か月
鉄板敷き : 仮囲い範囲 45×12 540 6か月
 仮囲い範囲外 45×4 180 2か月
交通整理員 176人
 22日×8か月×1(人)
チューブ保安灯 10m×8 8か月

仮囲い掲示物はマグネット式又は剥離可能なものとする。



配置図 1:200

一時期通行止め期間あり

※大型重機乗り入れによる舗装の補修・パネルゲート柱脚部の補修は外構工事とする。

通路部分一部 2か月 90m²
出入口付近 2か月 45m² 出入口まで≒80m

構造設計標準仕様

※修正箇所は下線を引くこと
適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター 新築その他工事
建築場所 神奈川県横須賀市東通町1丁目14-9、-12、-13
(2) 工事種別 新築
(3) 構造設計一級建築士の関与
(4) 構造種別
(5) 階数
(6) 主要用途
(7) 屋上付属物
(8) 特別な荷重
(9) 付帯工事
(10) 増築計画
(11) 構造計算ルート

2. 使用構造材料

Table with columns: 適用箇所, 種類, 設計基準強度, 品質管理強度, スランプ, 備考. Lists materials like concrete, rebar, and mortar.

- (1) コンクリート (レディミキストコンクリート JIS A 5308 取得工場 調査・配合等はJASS-5による)
(2) コンクリートブロック (JIS A 5405)
(3) 鉄筋

Table for rebar specifications with columns: 種類, 径, 使用箇所, 継手工法. Includes details for lap splicing and mechanical joints.

Table for reinforcement mesh with columns: 種類, 使用箇所, 現場溶接, JIS規格・認定番号等. Lists various mesh types and their applications.

- (5) ボルト
(6) 屋根、床、壁
Table with columns: 材種, 型式, 厚, その他, 使用箇所, 仕様・構造.

3. 地盤・地盤説明書

Table for ground investigation data with columns: 調査項目, 資料有り, 調査計画, 調査項目, 資料有り, 調査計画. Lists items like boring logs and soil tests.

Large table for soil test results with columns: 深度, 土質, N値, 標準貫入試験. Includes a section for '別図参照' (Refer to other drawings).

4. 地業工事

- (1) 直接基礎
(2) 地盤改良
(3) 杭基礎

Table for foundation work with columns: 杭種, 材料, 施工法, 備考. Lists pile types, materials, and construction methods.

Table for pile load capacity with columns: 杭径 (mm), 設計支持力 (kN), 杭の先端の深さ (m), 本数, 特記事項.

5. 鉄筋コンクリート工事・施工方法等計画書

- (1) コンクリート
(2) 鉄筋
(3) 型枠

Table for rebar construction methods with columns: 鉄筋継手工法, 継手の位置等の設計条件による仕様・等級. Includes details for lap and mechanical joints.

- (3) 型枠
(4) 養生

Table for formwork and curing with columns: 種別, せき板, 交柱. Lists formwork types and curing methods.

- 注) 1 片持り、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注) 2 大はりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを用いる。
注) 5 支柱の盛りかえは、小はりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り除き、盛りかえをしてはならない。
注) 6 直上層に着しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱 (大梁の支柱を除く) の盛りかえを行わないこと。
注) 7 支柱の盛りかえは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
(3) 工事監理者が行う検査項目
(4) 接合部の溶接は下記によること
(5) 接合部の検査

Table for steel joint inspection with columns: 検査箇所, 検査方法, 検査率又は検査数, 備考. Lists inspection points and methods.

- (6) 防錆塗装
(7) 溶融亜鉛めっき
(8) 溶融亜鉛めっき
(9) 溶融亜鉛めっき

7. 設備関係

- 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
建築設備の支持構造部および連結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講ずること。
建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突、その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に接続され、安全であること。
設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されていること。
設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
また、工事管理者の承認を得ること。
エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に接続されていること。
特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
管の収容その他の形状により、当該管に腐蝕が生ずる恐れがある場合において伸縮継手又は、可とう継手を設ける等有効な措置防止のための措置を講ずること。
法第20条第1項第一号から第三号までの建築物に、設ける屋上から突出する水櫃・煙突その他これらに類するものについては、平成12年建設省告示第1464号により、風力並びに地震、その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
管を支け又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴム等を用いる等、地震・その他の衝撃及び振動の緩和のための有効な措置を講ずること。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
必要に応じて記録写真を取り保管すること。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
 - d... 異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D... 部材の成 R... 直径
 - ⊙... 間隔 r... 半径 Q... 中心線 l... 部材の内寸法距離 h... 部材間の内法高さ
 - ST... あばら筋 HOOP... 帯筋 S... HOOP... 補強帯筋 φ... 直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり ※JASS5(2003)による。

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同時に打てる下向きおよび上向きのキャップタイにのみ用いる。 ※キャップタイ
図				
鉄筋の寸法	4φ以上	6φ以上(※4φ以上)	8φ以上(※4φ以上)	
折曲げ内寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の名称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235, SR235, SD295A, SD295B, SD345	15φ以下 D16 19φ以上 31φ	3φ以上
	筋記以外の鉄	SD295A, SD295B, SD345, SD390	D16以下 D19-D25 D29-D41	4φ以上 8φ以上 9φ以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手長さ

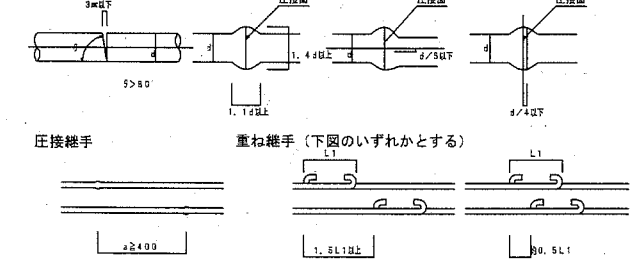
鉄筋の種類	普通、経量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L)
		一般(L2)	下地筋(L3)	
SR235	20.0	25φ	25φ	25φ
SD295A	21.0	25φ	25φ	40φまたは25φ
SD295B	21.0	25φ	25φ	40φまたは25φ
SD345	25.0	25φ	25φ	40φまたは25φ
SD390	35.0	25φ	25φ	40φまたは25φ

(注) 許容応力度計算、許容応力度等計算、(ルート1)、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、表の定着長さの40%とする。

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



(4) かぶり厚さ (単位: mm)

部 位	設計かぶり厚さ(最小かぶり厚さ)	
	部	寸法
土に接しない部分	床スラブ	30
	床スラブ	40
	梁	30
	柱	40
土に接する部分	柱・はり・スラブ・梁	50
	基礎・壁	70

かぶり厚さ



3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(5) 鉄筋のあき
丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値 1.5d以上 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上

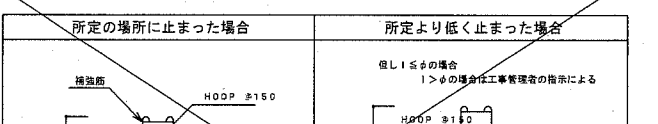


(6) 鉄筋のフック (a-fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

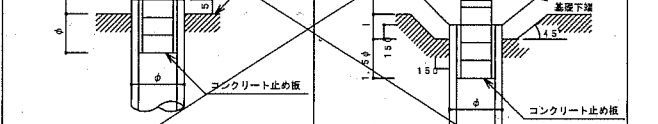
- 丸鋼
- あばら筋、帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱、梁 (基礎梁は除く) の出すみ部分の鉄筋 (右図参照)
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

4. 基礎

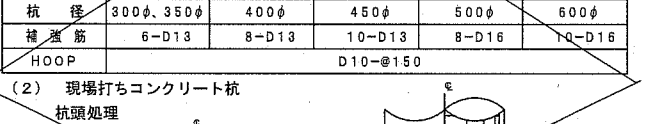
(1) 直接基礎



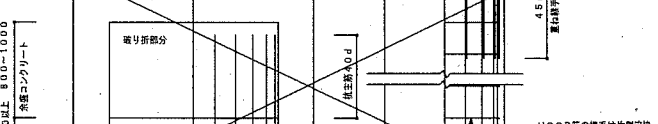
(2) 杭基礎



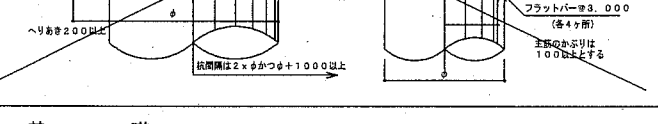
(3) 現場打ちコンクリート杭



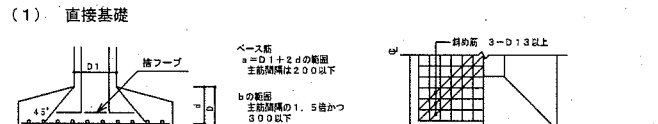
(4) 基礎



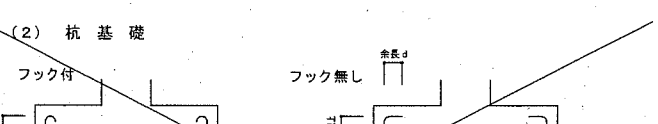
(5) 基礎



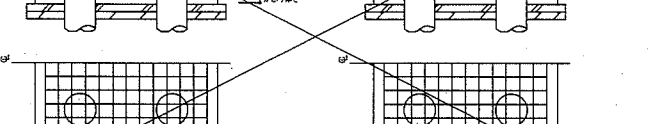
(6) 基礎



(7) 基礎



(8) 基礎

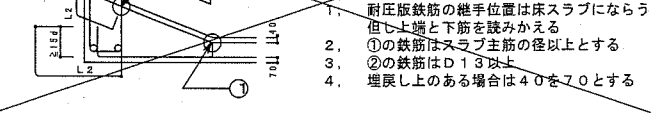


(9) 基礎

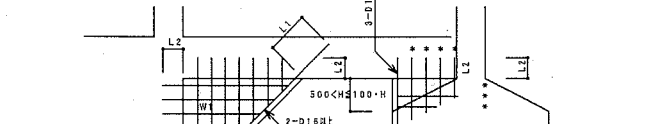


5. 地中梁

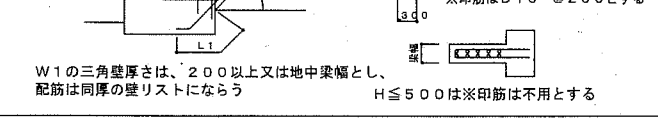
(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



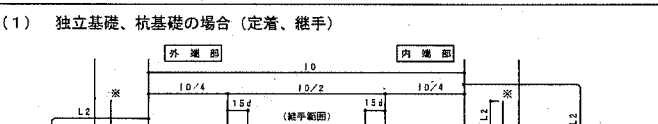
(2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



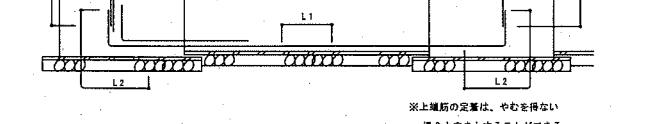
(3) 小規模鉄骨構造の柱脚固定の配筋



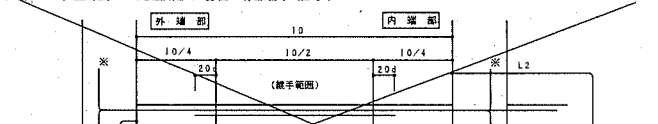
(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領



(5) せいの高い梁のあばら筋加工要領



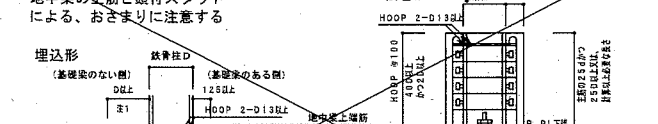
(6) 基礎



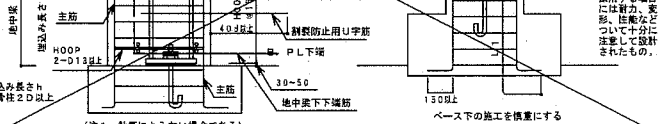
(7) 基礎



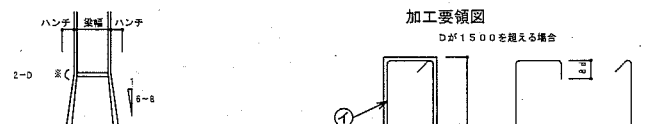
(8) 基礎



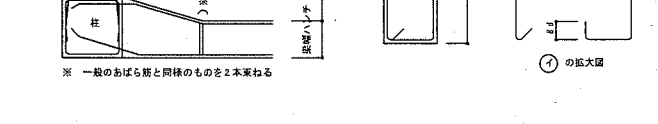
(9) 基礎



(10) 基礎

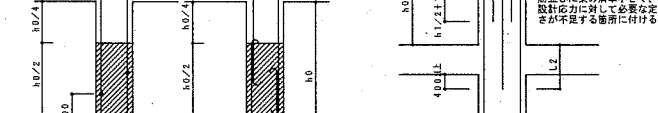


(11) 基礎

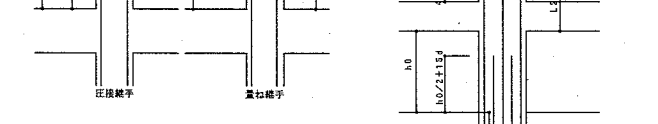


6. 柱

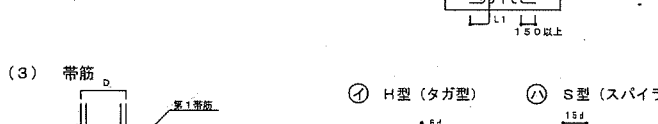
(1) 柱主筋の継手



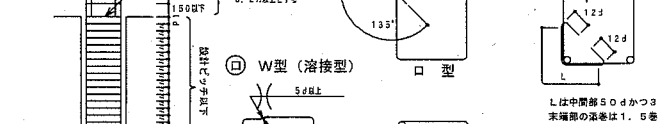
(2) 柱主筋の定着



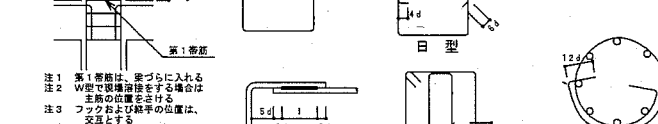
(3) 帯筋



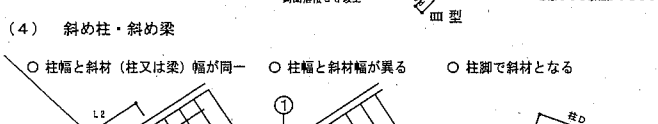
(4) 斜め柱・斜め梁



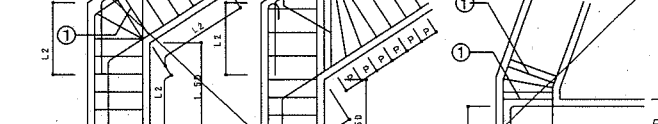
(5) 斜め柱・斜め梁



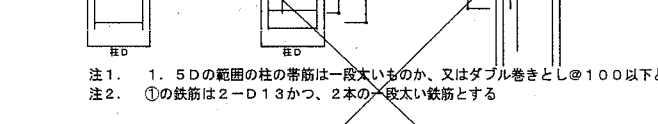
(6) 斜め柱・斜め梁



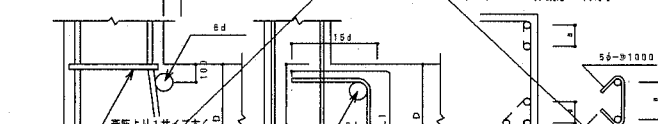
(7) 斜め柱・斜め梁



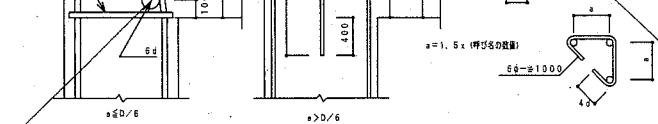
(8) 斜め柱・斜め梁



(9) 斜め柱・斜め梁



(10) 斜め柱・斜め梁



(11) 斜め柱・斜め梁



鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

7. 大梁、小梁、片持梁

(1) 定着

① 大梁

② 小梁の定着

③ 片持梁の定着

(2) 大梁主筋の継手

(3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置

(4) あばら筋の型 (注、床板がない場合は135°以上のフックとする)

(イ) 原則として (ア) のフック先曲げとする。片側床版付(L型)梁で (B)、両側床版付(T型)梁で (C) または (D) とすることができる。

(ロ) フックの位置は (ア) にあっては交互、(B) 似合ってはスラブ側とする。

(5) 幅止め筋の本数、加工

幅筋	D<600 不要
	600≦D<900 2-D10(9φ) 1度
	900≦D<1200 4-D10(9φ) 2度
	1200≦D D10(9φ) 330以内
幅止め筋	D10(9φ) 1000以内で割り付ける

8. 床板

(1) 定着および継手

① 片持ち床スラブ

② 一般床スラブ

(2) 屋根スラブの補強

(3) 片持ちスラブ出隅部補強

(4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

床板厚さD	周囲	斜め
D≦150	各2-D13	各1-D13
150<D≦200	各2-D13	各2-D13
200<D≦300	各2-D19	各2-D16

(5) 床板段差

(6) 土間コンクリート

① 軽作業の土間

② 間仕切壁との交差部

(7) 釜場

(8) 打継ぎ補強 (ダマ穴打継ぎ面について)

- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 長さ2L以上
- 無筋部分D10-@200 長さ800以上

9. 壁

(1) 定着

① 梁に

② 柱に (平面図)

(2) 床に (非耐力壁とスラブが取り合う場合)

(3) 壁と壁 (平面図)

(2) スリット部 (設計図に記入のあるとき)

完全スリット

部分スリット

(3) 手摺、パラベット

手摺

パラベット

(4) コンクリートブロック帳壁

一般の場合

下部防水立上りのある場合

注) h0≦25tかつ3500以下とする。但し直交方向25t以内に壁、又は柱がある場合は除く。注) hはコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、200≦h≦400

注) 継手部は必ずモルタルをてん充すること

10. 柱、梁増打コンクリート補強 (増打するときは事前に設計者、及び工事管理者と打ち合わせのこと)

ハッチ部は増打コンクリートを示す。

●印は補強筋

※柱と同様、同ピッチとする。

(2) 梁 (梁の増打ちコンクリート補強は、構造詳細図による。)

補強筋は、原主筋の1取厚し厚 (D16以上) とする。

あばら補強筋は、梁と同様、同ピッチとする。

腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。

D≦400の場合は補強筋を3本とする。

※は100~200程度。

床下増打コンクリートの場合も上増打コンクリート補強と同様とする。

ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

(1) 設置可能範囲

梁端部 (スパン1/10以内かつ2D以内) はさける

(2) 鉄筋標準配筋 但し、φ≦D/3とする

80≦φ≦100	100≦φ≦150	150≦φ≦250
折筋 2-D13 (上下)	折筋 2-D13 (上下)	折筋 2-D13 (上下)
	縦筋 ST-3Xφ-D13-100@	縦筋 ST-3Xφ-D13-100@
	横筋 2-D13 (上下)	横筋 2-D13 (上下)
	上下筋 STφ1-D13	上下筋 STφ1-D13

φ>250

孔補強の有効範囲と定まる長さのとり方

※ 部分については計算で確認された場合は左記の位置、寸法によらずに良い。

(3) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事管理者と打ち合わせのこと)

- 既製品を使用し 認定既製品を使用し個別検討を行う
- リング型 □ パイ型 □ 金網型 □ プレート型

12. 増築予定 (将来増築予定のコンクリート間仕打ち部分は、増築時の鉄筋継手工事を考慮して配置する)

(1) 柱、梁 (2) 地中梁 (3) 床版、壁



承認 設計 設計年月日

年月日 2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事

図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2) Scale

鉄骨構造標準図(1)

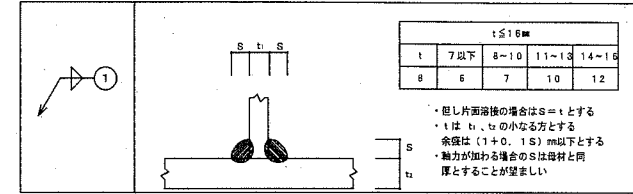
1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
- 構造設計仕様による
 - 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする
 - 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
 - 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 - 高強度鋼のひずみきよ正は、冷間きよ正とする
- (3) 高力ボルト接合
- 本締め使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
- (a) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適合する JIS Z 3801 (手溶接) 又は JIS Z 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - アークエア-ガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - サブマージアーク溶接機1式 (ハ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法
アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエア-ガウジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢
-
- (e) 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
組立て溶接は溶接の始、終端、隅部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
-
- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
-
- (f) 溶接施工
- (イ) エンドタブ
- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
 - エンドタブの材質は、母材と同質とする
 - エンドタブの長さは、MC: 3.5mm以上
NGC, GC: 4.0mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、エンドタブ母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
 - プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スクラップ 半径は3.0~3.5mmと、1.0mmのダブルールとする
- 1) スクラップ工法
-
- 2) ノンスクラップ工法
-
- (ニ) 裏はつり
規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の承認を履行し、部材に確認マークを付ける
- (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う
- (5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

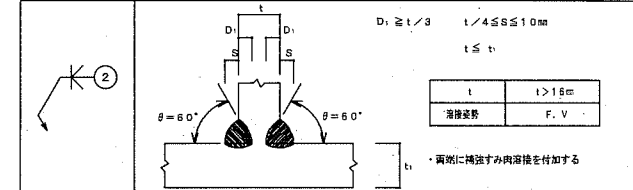
2. 溶接規準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位 mm)

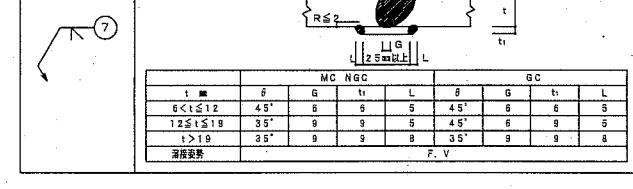
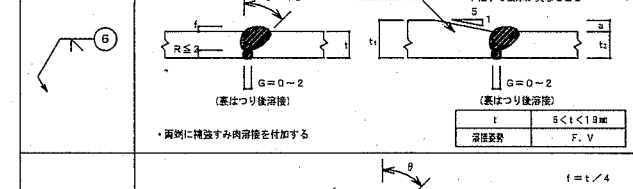
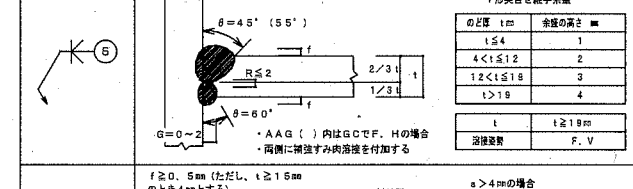
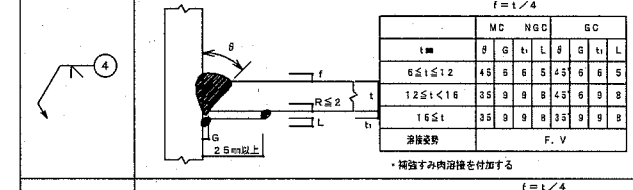
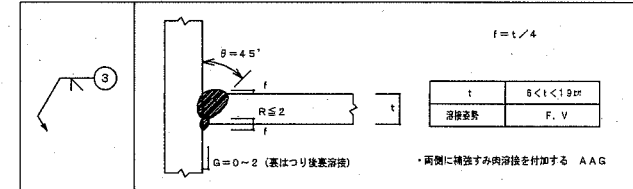
(1) スミ肉溶接



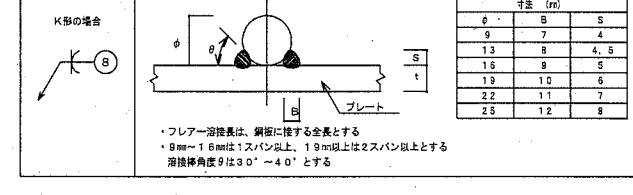
(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所注意)



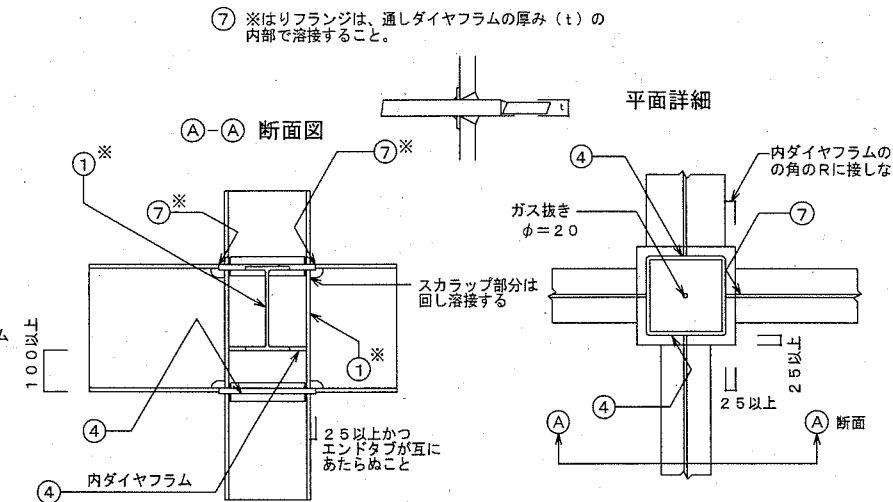
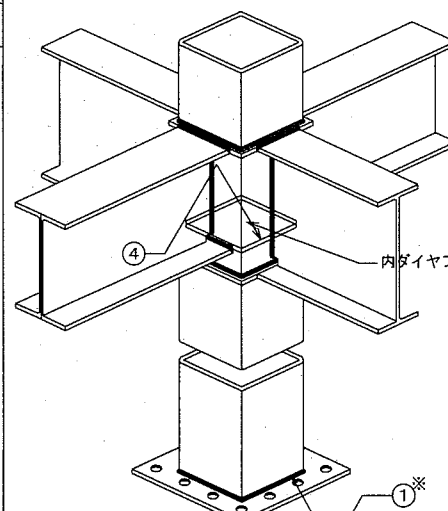
(3) 完全溶込み溶接 (平継手、T形継手)



(4) フレア溶接



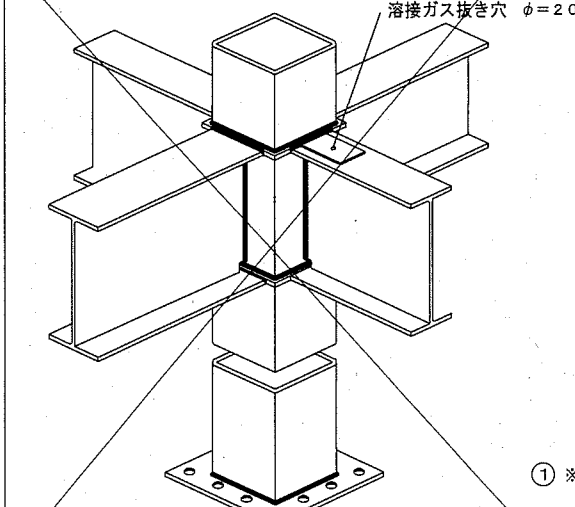
●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス温度差 (°C)
400N級鋼	JISZ 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		
490N級鋼	JISZ 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW-11, 15		
	YGA-50W, 50P		

●カバープレート部



◎カバープレート付き大梁の現場溶接についての注意事項

カバープレート付き大梁の現場溶接について従来のカバープレートを取り付けた状態で行うと鋼板の重ね合わせ目が欠陥の発生に影響している場合が多いため下記の手順で溶接及び検査を行うこと。

本溶接→[検査] (欠陥なし) →カバープレート取り付け→カバープレート部溶接→[検査] (欠陥なし) →終了
「突合せ継ぎ手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアル」等の参考文献を参照して施工すること。



鉄骨構造標準図 (2)

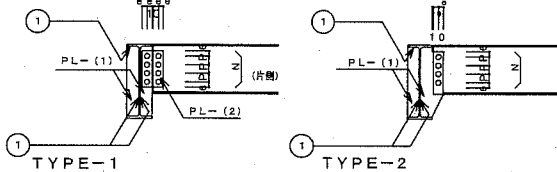
3. 継手標準図、その他

(1) ボルトピッチ (P) ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e)			ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	60
M20	22	50	34	26	40	60
M22	24	55	38	28	40	60
M24	26	60	44	30	45	70

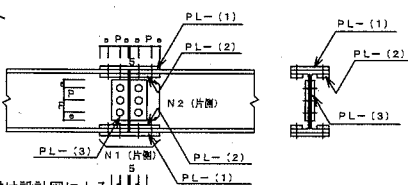
- (注) (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

(2) ピン接合継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)		PL-(2)		N-径
			PL-(1)	PL-(2)	PL-(1)	PL-(2)	
		断面表に依る					

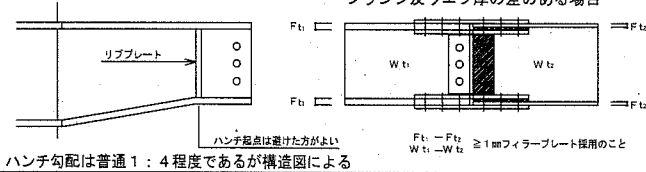
(3) 梁鋼接合継手リスト (SCSS-H97による)



注) 端部をBとする場合の部材は設計図による

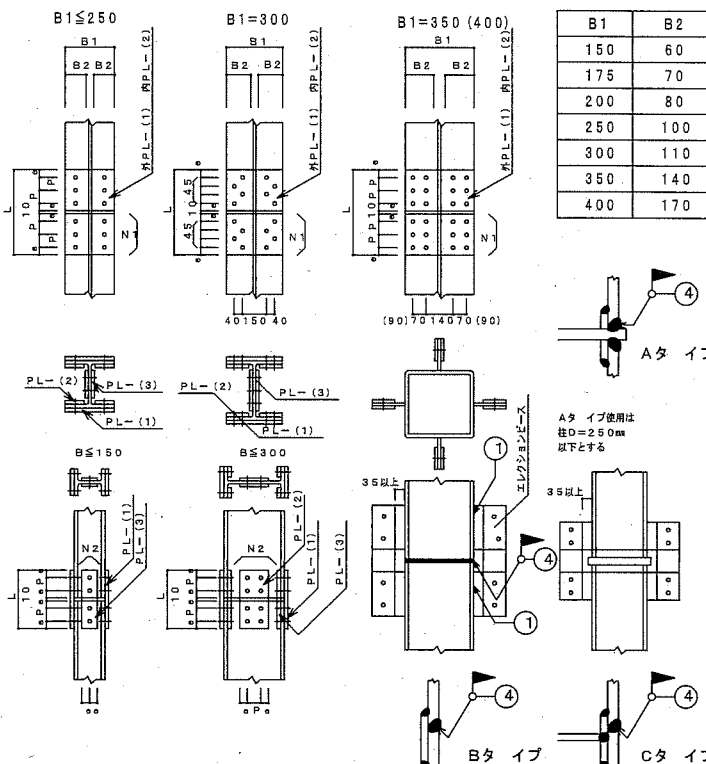
符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	断面表に依る					

(4) ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通1:4程度であるが構造図による

(5) 継手リスト (SCSS-H97による)



注) 現場溶接は原則として超音波深傷試験を100%行う

符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
	断面表に依る					

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする...JISA5540~5542...1982)

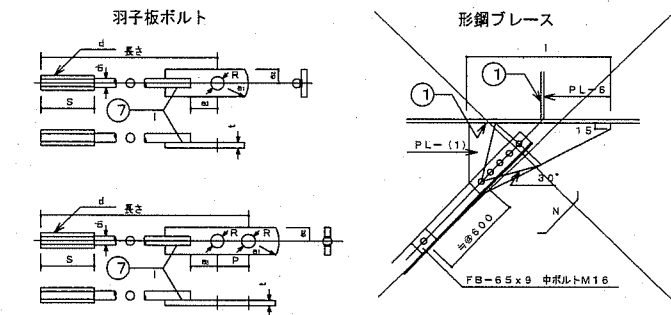
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)	M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	
								最大
最大	10.81	12.55	14.55	16.33	18.33	20.33	21.99	
最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	
調整ねじ長さ	S	100	115	125	140	150	165	
取付ボルト穴径	R	13	17	17	21.5	21.5	23.5	
はしあき(最小)	e1	35	40	45	50	50	55	
切板製	e2	22	28	28	34	34	38	
平鋼製	e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	
ボルト端から取付ボルト穴のあき(最小)	e3	47	52	59	66	66	73	
溶接長さ(最小)	l	40	50	55	60	75	85	

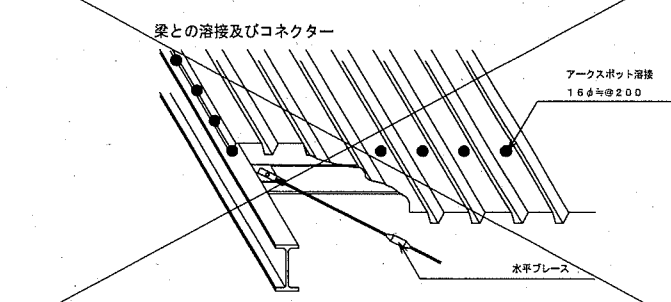
- (注) (1) e1, e2 が確保されていれば形状は自由でよい
 (2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

(b) 形鋼ブレース

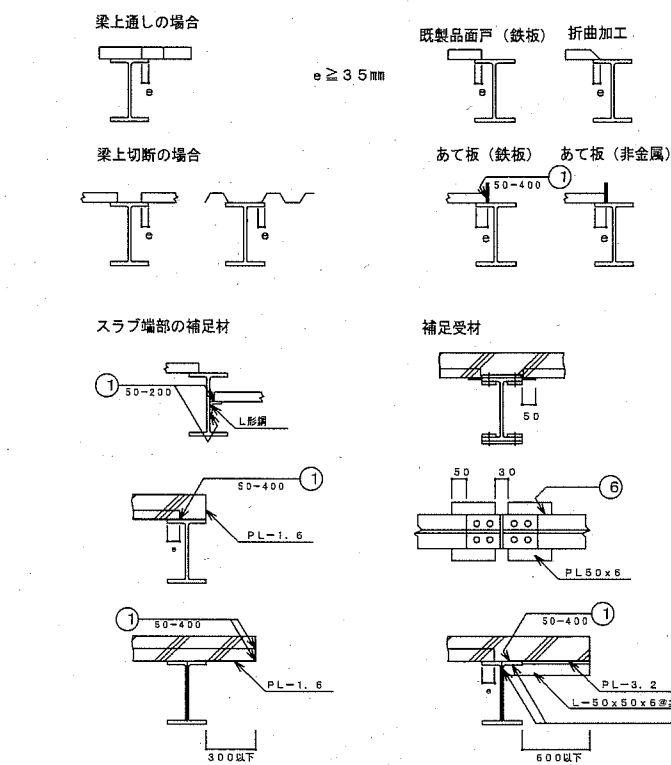
符号	部材	PL-(1)	N-径	l
	断面表に依る			



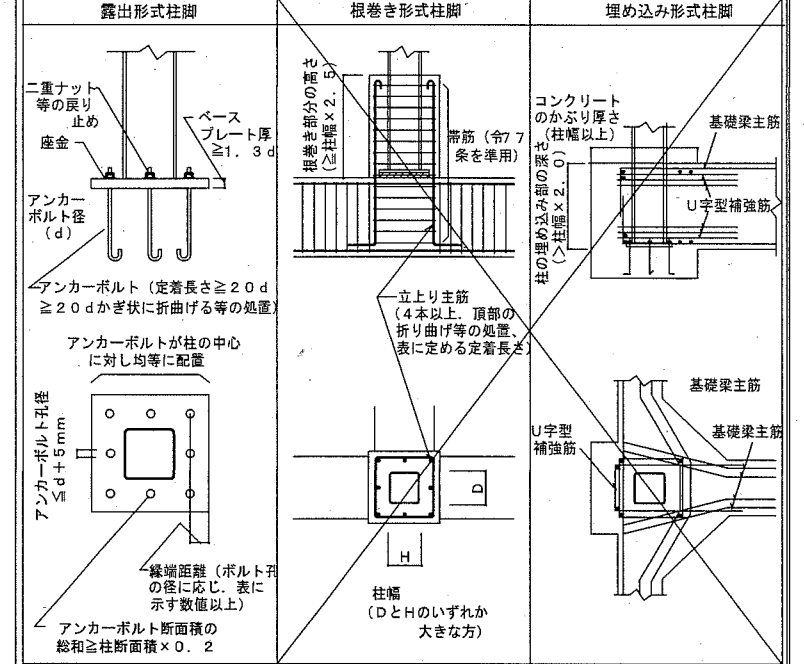
(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)



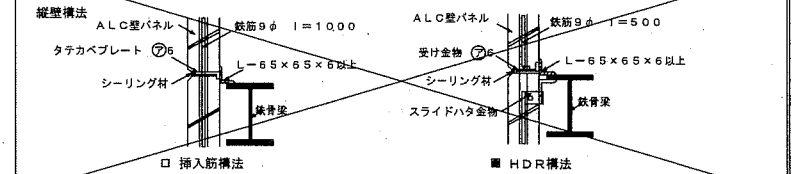
受梁へのかかり寸法および端部処理



(8) 柱脚 (注) 許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式



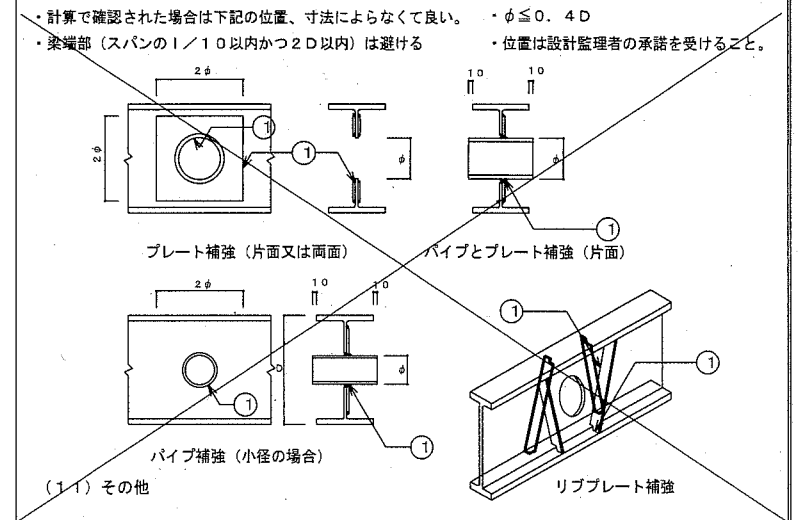
(9) ALC板取付要領



(10) 頭付きスタッド (JIS1198)

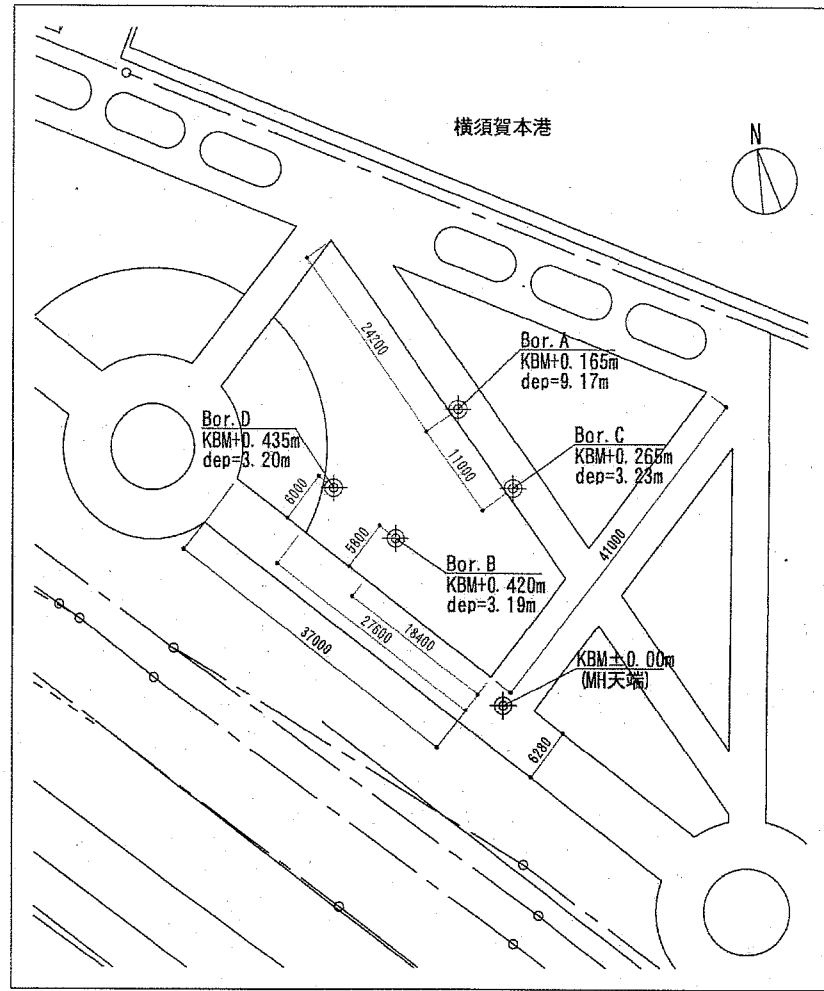
形状	スタッド材				
	呼び名	軸径 d (mm)	頭径 D (mm)	頭高さ T (mm)	溶接後の長さ L (mm)
φ13mm	13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130	
	12.7	25.4	7.9		
φ16mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130	
	15.8	31.7	7.9		
φ19mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150	
	19.0	31.7	9.5		
φ22mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150	
	22.2	34.9	9.5		

(11) 梁貫通補強 別図参照



承認設計 設計年月日
 年月日
 2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
 図面名称 鉄骨構造標準図 (2) Scale - 図面番号 S-05



ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor. A	調査位置	神奈川県横須賀市沙入町1丁目1番1	北緯	35° 16' 59.52'
発注機関	横須賀市都市部公共建築課	調査期間	平成31年2月25日～31年2月27日	東経	139° 39' 34.52'
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	KBM +0.165m	角	180° 上 90° 下 0° 向	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	9.17m	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試験機 YBM 05 エンジン YANMAR NFD10
		ハンマー	落下用具	ポンプ	半自動落下 YBM SP-40

標高	層厚	土質	相対密度	相対密実度	記号	標準貫入試験		原位置試験	試験名	試験結果	試料採取	室内試験
						深さ	打撃回数					
1.16	1.16	粘土	0.8	0.8	含水分少ない 粒径10mm程度は詰まった砂 以深、砂、粘土の混合土 泥岩片混入 レンガ片、コンクリートガラは少量	1.16	2	300	△基礎底	1.16	1	①
2.18	1.02	風化泥岩	0.7	0.7	上部は特に風化を帯びる 所々酸化し赤褐色を呈する 軽石、有機物少量混在 やや脆く、片状に剥れる 下部は色調不均一で 腐炭と炭屑の混在状 3.0-4.0mm、透水する	2.18	3	300	△支持層	2.18	2	②
3.20	1.02	泥岩	0.6	0.6	含水分少ない 均質均質 有機物や白色の軽石片少量混在	3.20	4	300	ラップルコンクリート打設	3.20	3	③
4.22	1.02	泥岩	0.5	0.5	6.0付近、少量の微細砂をシーム状 に挟む	4.22	5	300		4.22	4	④
5.24	1.02	泥岩	0.4	0.4		5.24	6	300		5.24	5	⑤
6.26	1.02	泥岩	0.3	0.3		6.26	7	300		6.26	6	⑥
7.28	1.02	泥岩	0.2	0.2		7.28	8	300		7.28	7	⑦
8.30	1.02	泥岩	0.1	0.1		8.30	9	300		8.30	8	⑧
9.32	1.02	泥岩	0.0	0.0		9.32	10	300		9.32	9	⑨

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor. B	調査位置	神奈川県横須賀市沙入町1丁目1番1	北緯	35° 16' 58.88'
発注機関	横須賀市都市部公共建築課	調査期間	平成31年2月22日～31年2月25日	東経	139° 39' 34.54'
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	KBM +0.420m	角	180° 上 90° 下 0° 向	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	3.19m	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試験機 YBM 05 エンジン YANMAR NFD10
		ハンマー	落下用具	ポンプ	半自動落下 YBM SP-40

標高	層厚	土質	相対密度	相対密実度	記号	標準貫入試験		原位置試験	試験名	試験結果	試料採取	室内試験
						深さ	打撃回数					
1.11	1.11	風化泥岩	0.8	0.8	砂、粘土の混合土 泥岩片、レンガ片、コンクリートガ ラ多量混入 0.5mm以下はガラが密集する	1.11	6	300	△基礎底	1.11	1	①
2.22	1.11	泥岩	0.7	0.7	含水分少ない 均質均質	2.22	7	300	△支持層	2.22	2	②
3.33	1.11	泥岩	0.6	0.6	所々、微細砂シーム状に挟む 白色の軽石片少量混在	3.33	8	300		3.33	3	③

ボーリングNo

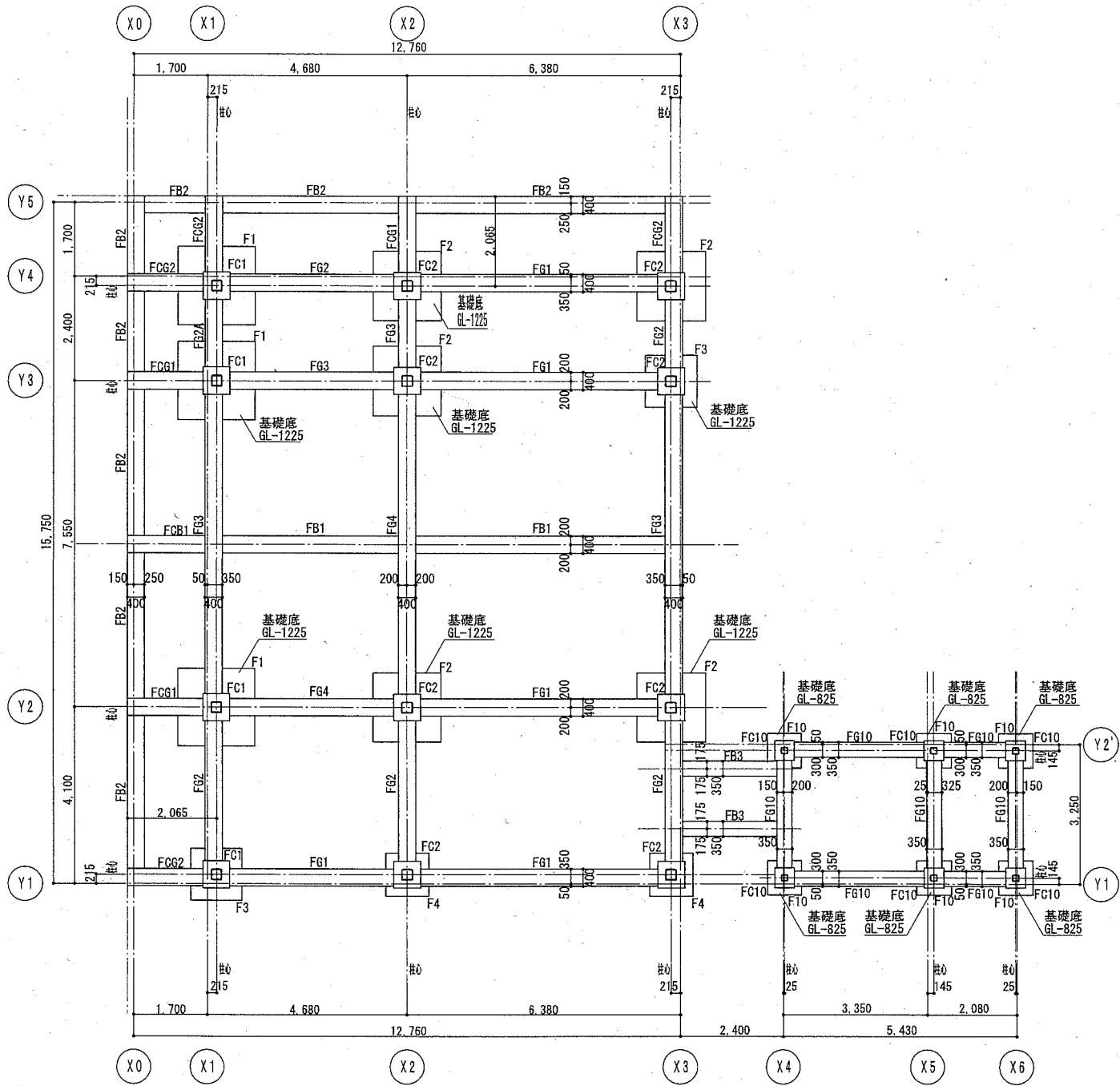
事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor. C	調査位置	神奈川県横須賀市沙入町1丁目1番1	北緯	35° 16' 59.23'
発注機関	横須賀市都市部公共建築課	調査期間	平成31年2月28日～31年2月28日	東経	139° 39' 34.79'
調査業者名	主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	KBM +0.265m	角	180° 上 90° 下 0° 向	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総掘進長	3.23m	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試験機 YBM 05 エンジン YANMAR NFD10
		ハンマー	落下用具	ポンプ	半自動落下 YBM SP-40

標高	層厚	土質	相対密度	相対密実度	記号	標準貫入試験		原位置試験	試験名	試験結果	試料採取	室内試験
						深さ	打撃回数					
1.16	1.16	粘土	0.8	0.8	含水中位 砂質 レンガ片、コンクリートガラ、泥岩 片混入	1.16	1	300	△基礎底	1.16	1	①
2.32	1.16	風化泥岩	0.7	0.7	風化し灰褐色を呈する	2.32	2	300	△支持層	2.32	2	②
3.48	1.16	泥岩	0.6	0.6	含水分少ない 均質均質 白色の軽石片少量混在 2.0付近、部分的にやや多く混入 所々酸化し赤褐色を呈する	3.48	3	300		3.48	3	③





基礎伏図 1/100

特記なき限り

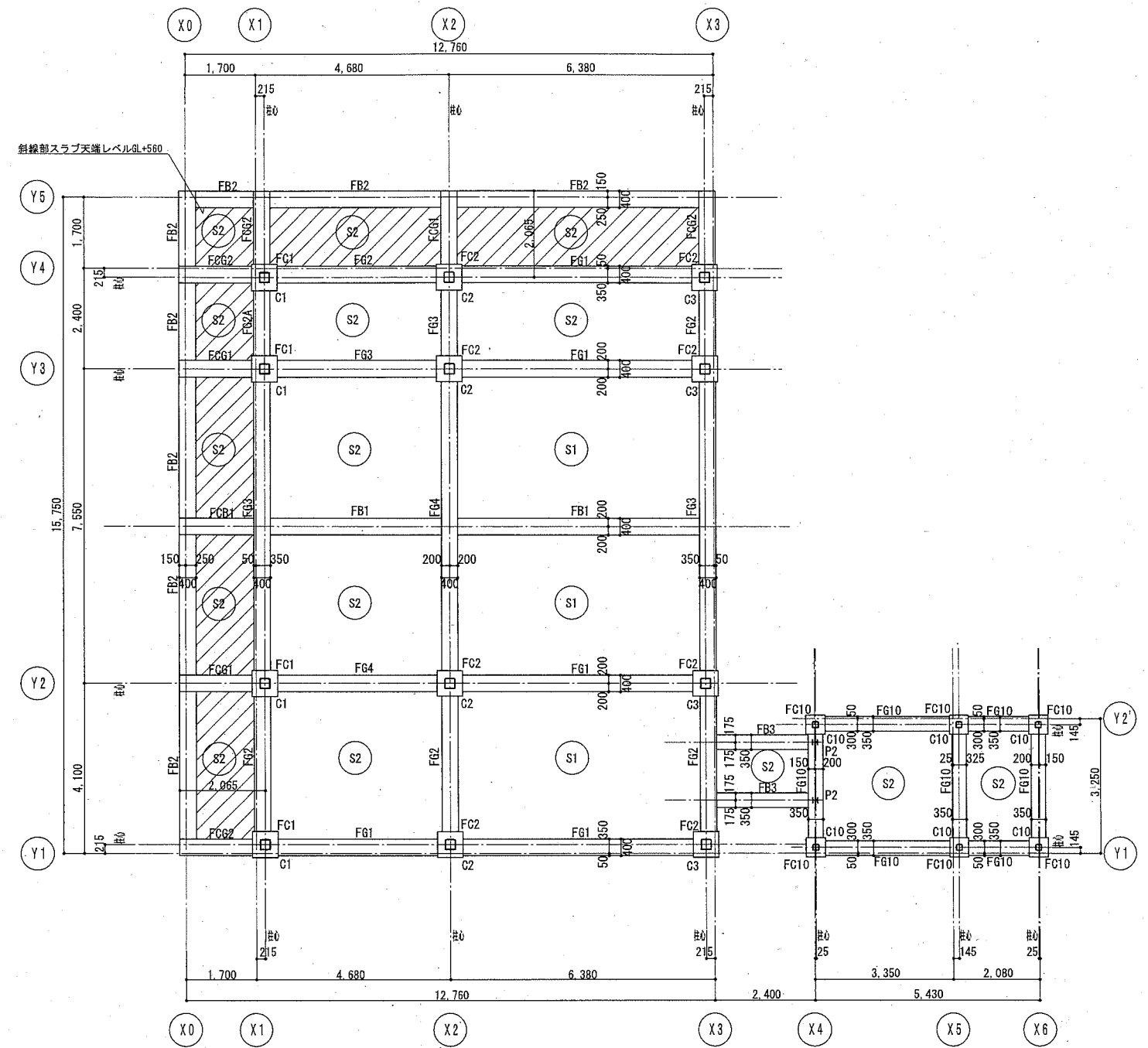
柱材質 BCR295

地中梁天端レベル GL+75

基礎底レベル GL-925

基礎高 H=500

長期地耐力300kN/m²(泥岩層)



1階床伏図 (1階梁・1階柱伏図) 1/100

特記なき限り

柱材質 BCR295

地中梁天端レベル GL+75

基礎底レベル GL-925

基礎高 H=500

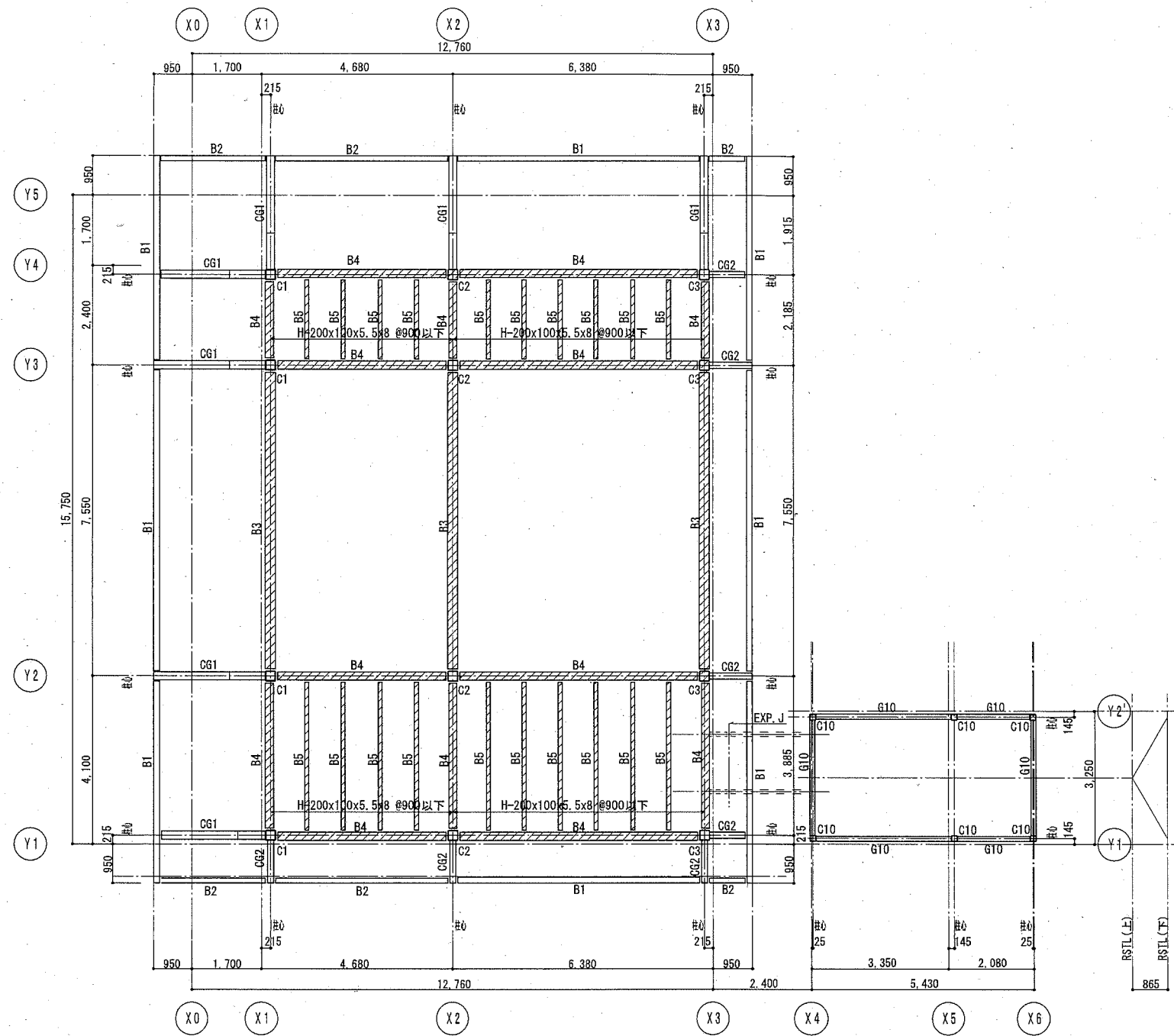
スラブ天端レベル GL+375

地中梁天端は、付随するスラブ天端までフカシ



承認設計 設計年月日
年月日
2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
図面名称 基礎伏図・1階床伏図 (1階梁・1階柱伏図) Scale 1:100



小屋伏図 (小屋梁・1階柱伏図) 1/100

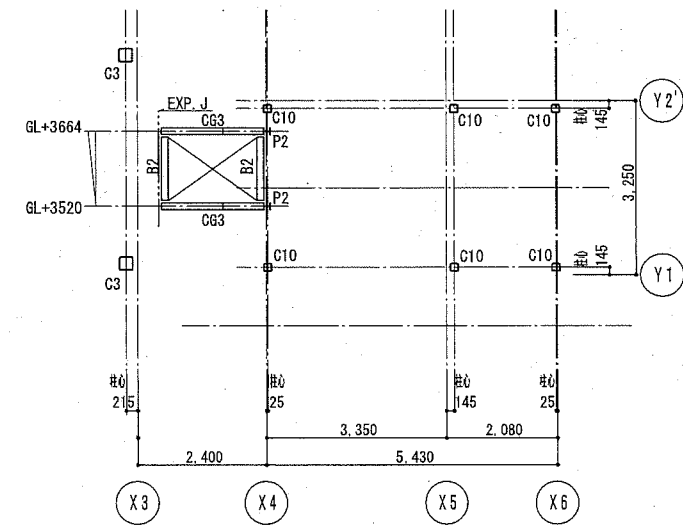
特記なき限り

柱材質 BCR295

鉄骨下端レベルGL+4292

鉄骨上端レベルGL+4306

GL+ の表記は梁天端レベルを示す



下屋伏図 (下屋梁・1階柱伏図) 1/100

特記なき限り

柱材質 BCR295

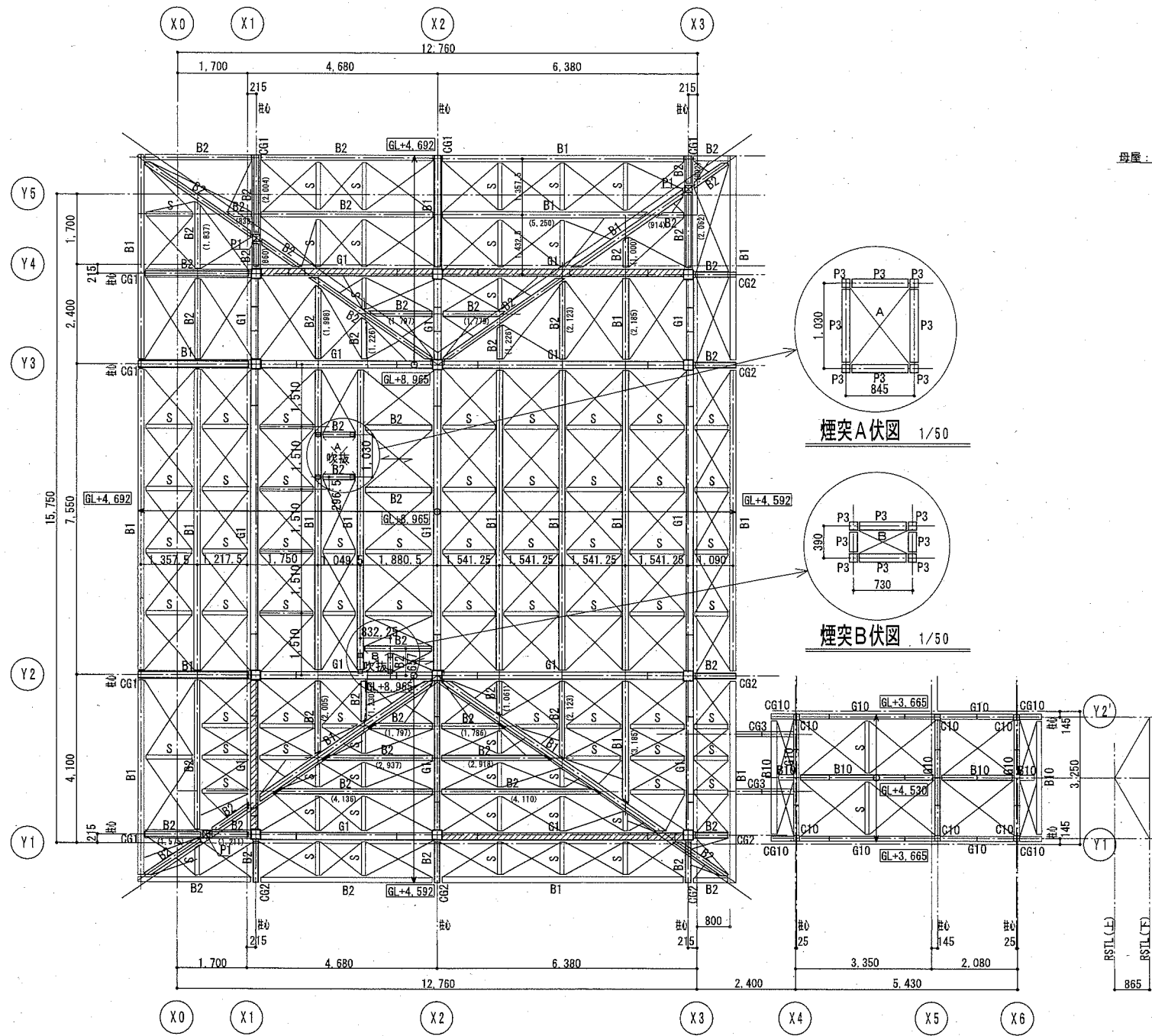
水平プレスM20 JIS規格品 上フランジに取付

GL+ の表記は梁天端レベルを示す



承認	設計	設計年月日
		年月日
		2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイドセンター新築その他工事	図面番号
図面名称 小屋伏図 (小屋梁・1階柱伏図)・下屋伏図 (下屋梁・1階柱伏図) Scale 1:100	



屋根伏図 (屋根梁・小屋束伏図) 1/100

特記なき限り

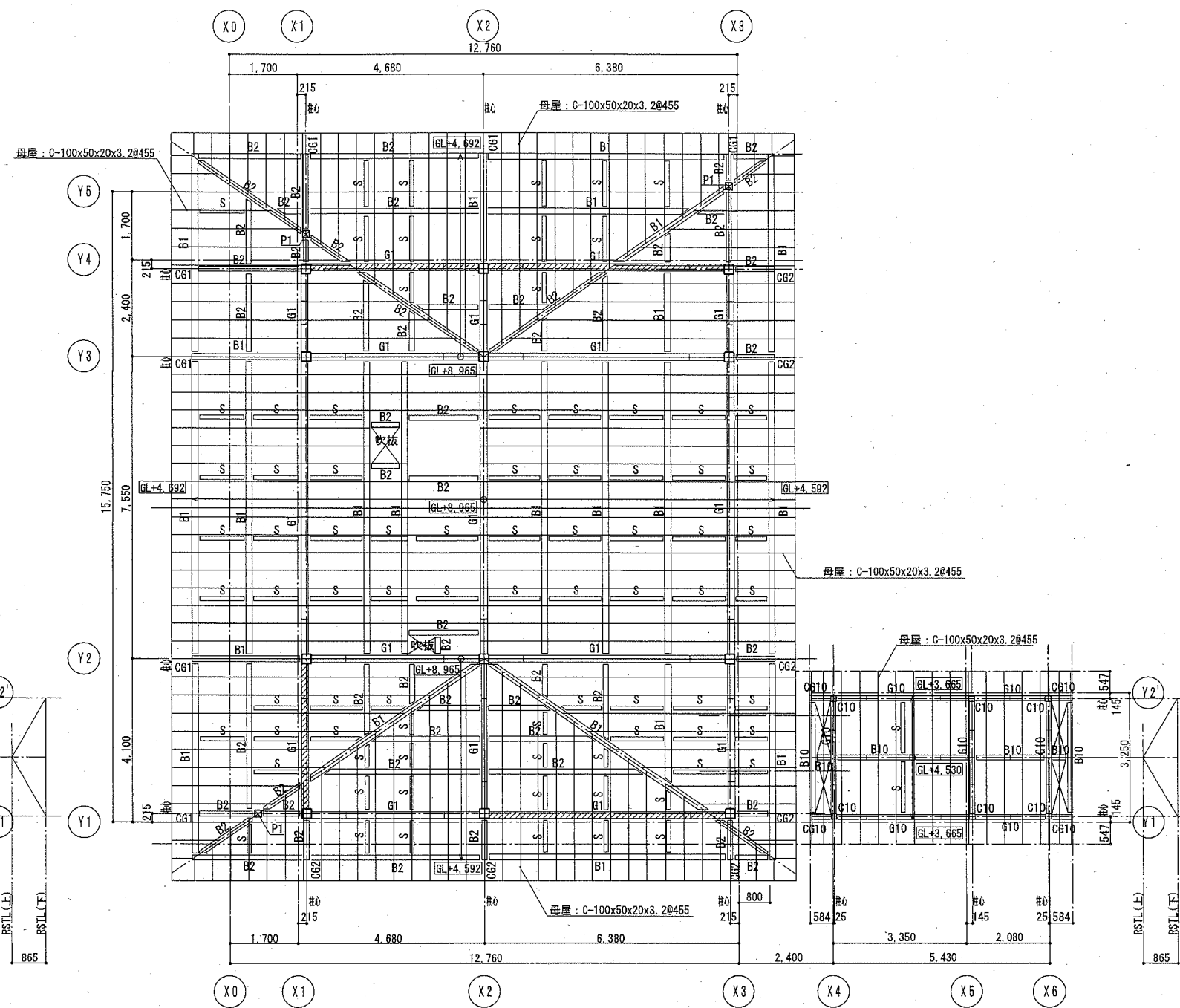
柱材質 BCR295

水平ブレースM20 JIS規格品 上フランジに取付

大梁 中折れ材



GL+ の表記は梁天端レベルを示す



屋根伏図 (母屋伏図) 1/100

特記なき限り

母屋: C-100x50x20x3. 2@455

柱材質 BCR295

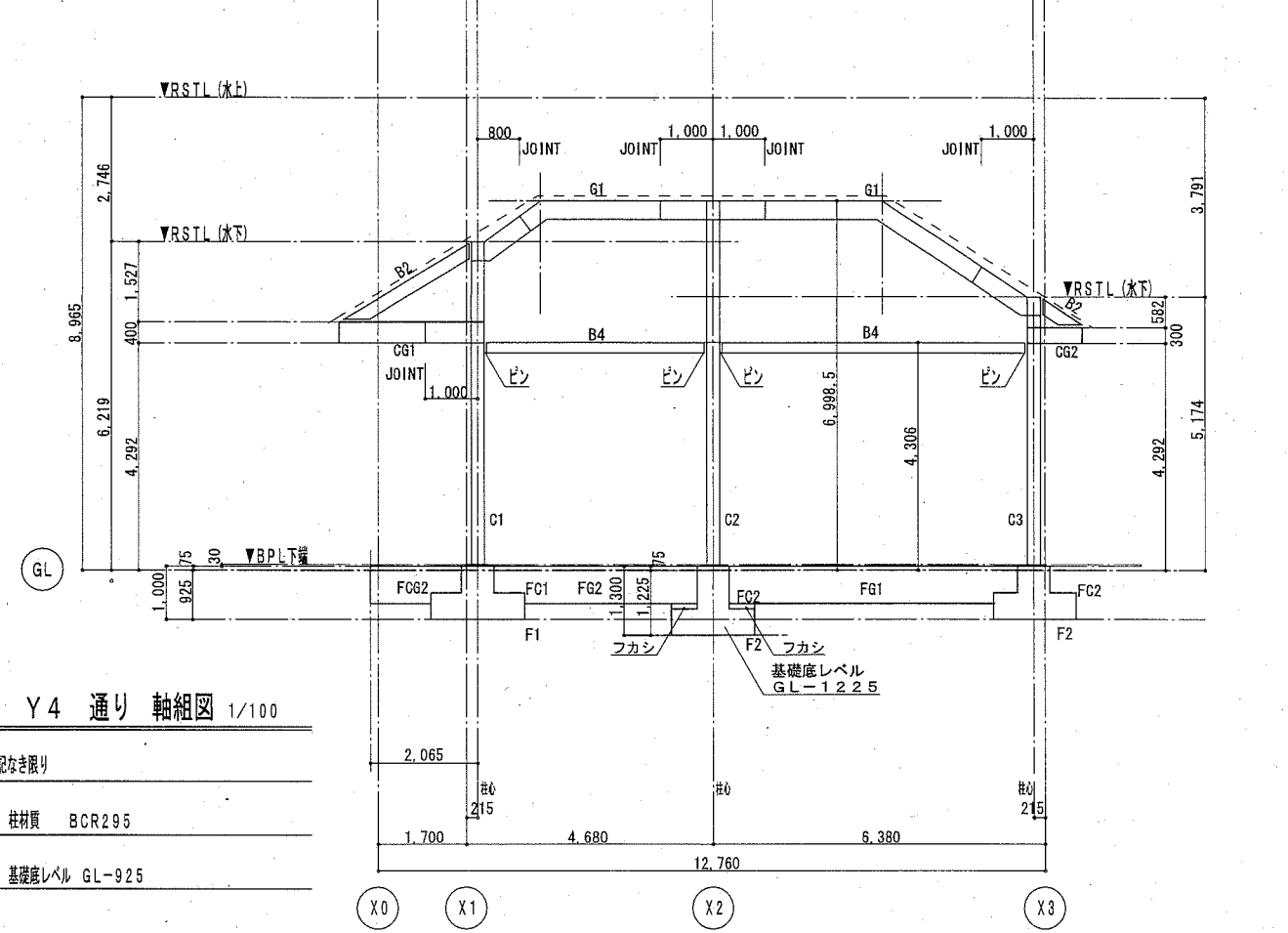
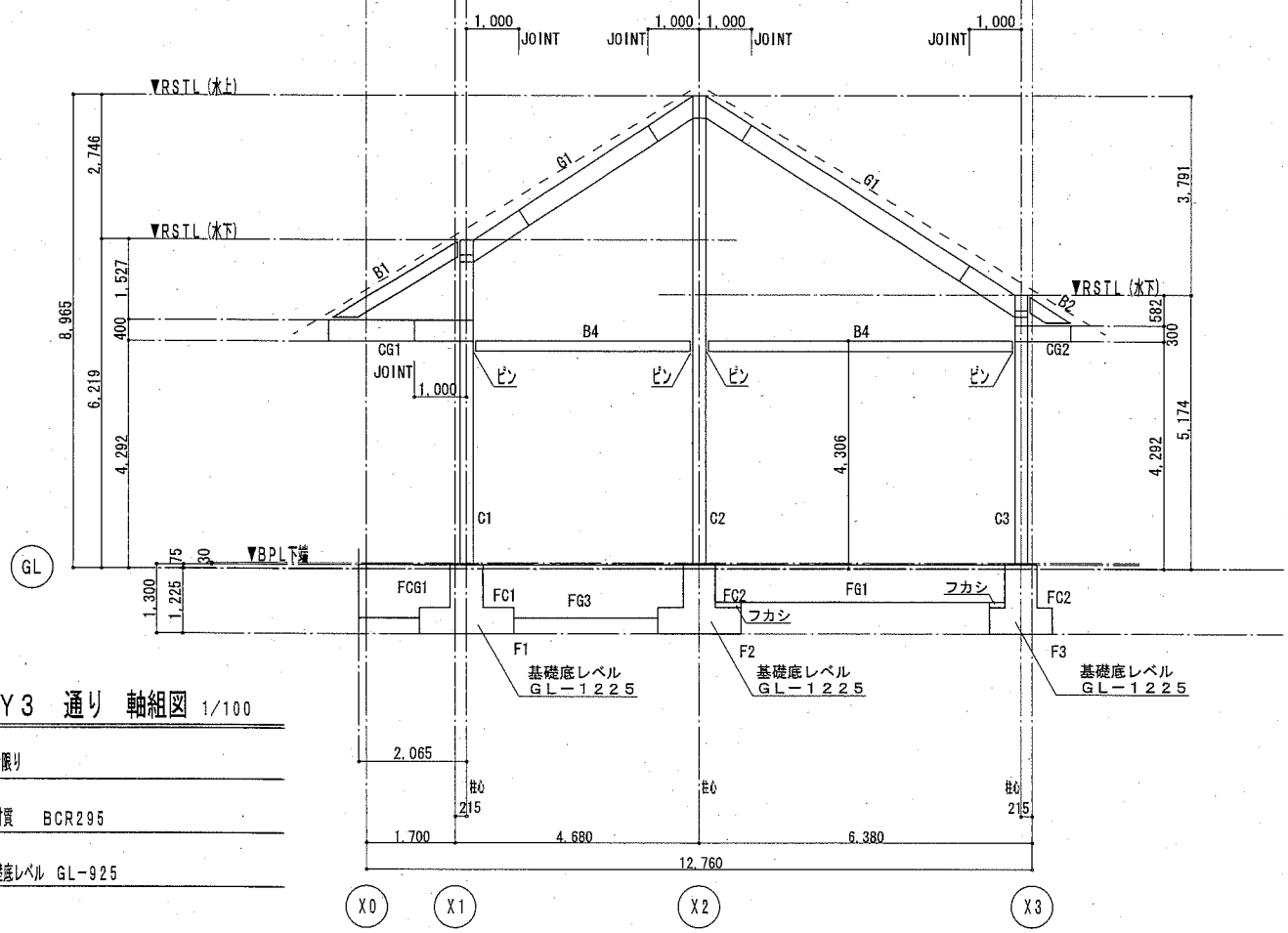
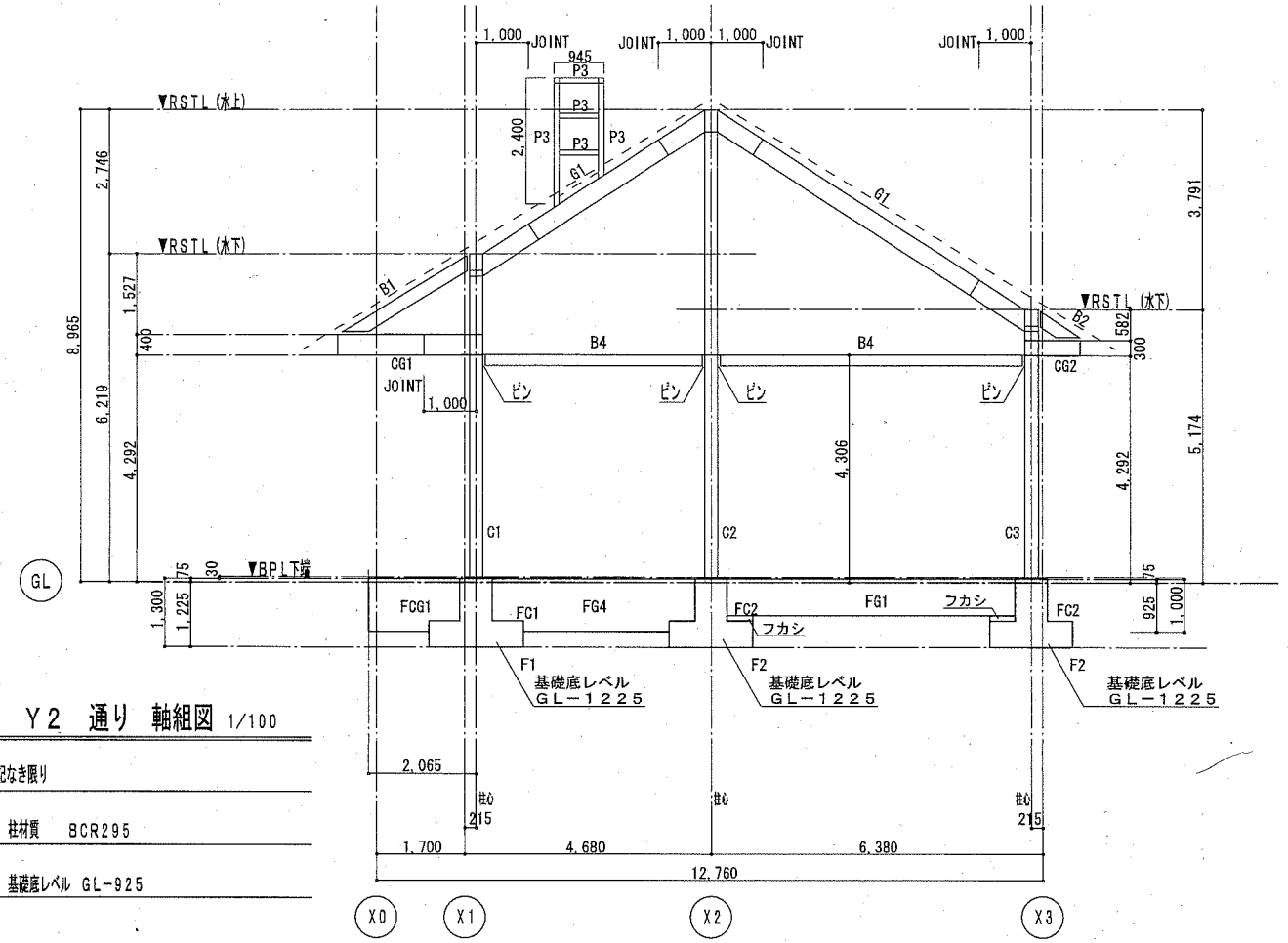
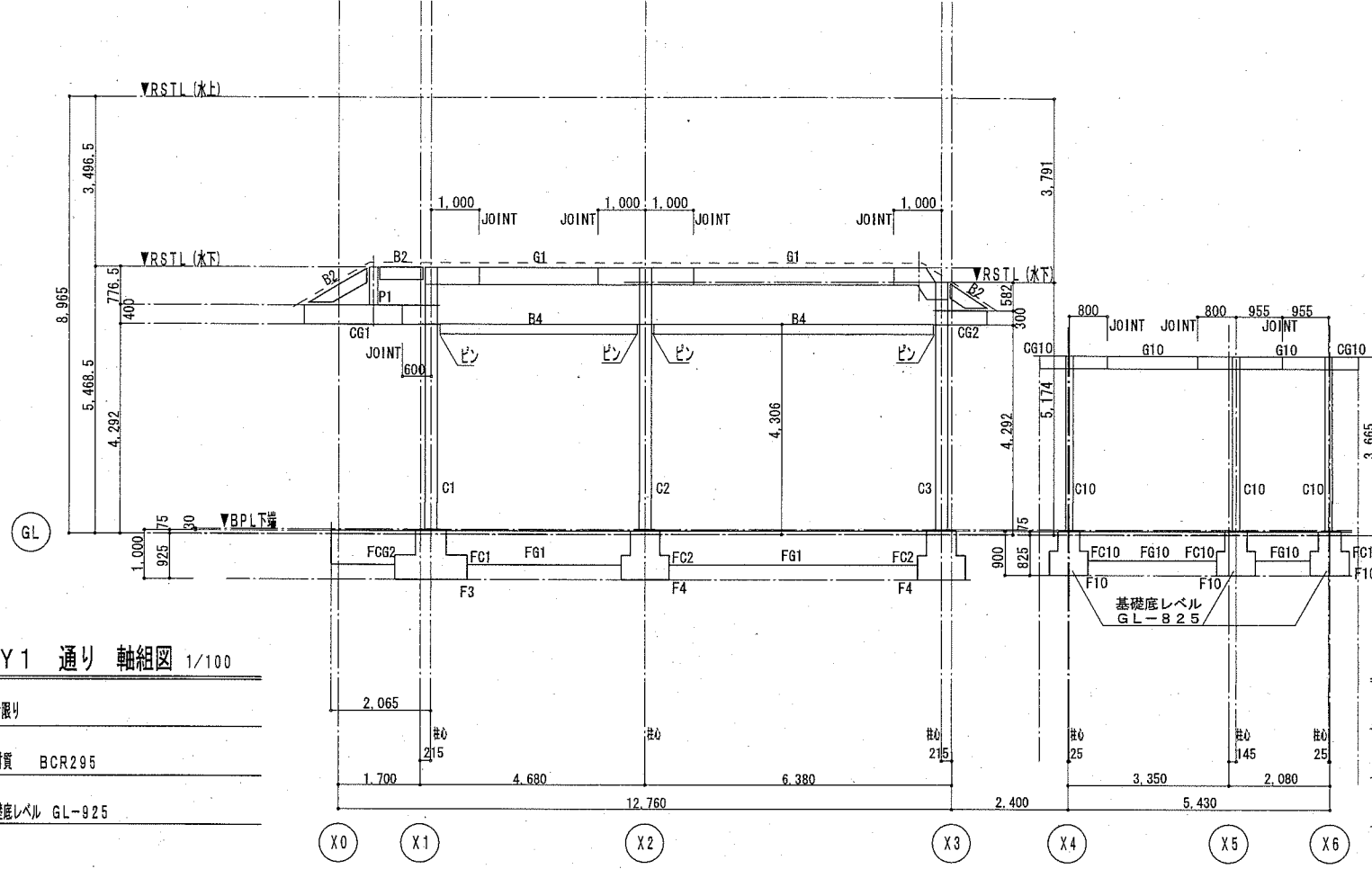
大梁 中折れ材

GL+ の表記は梁天端レベルを示す



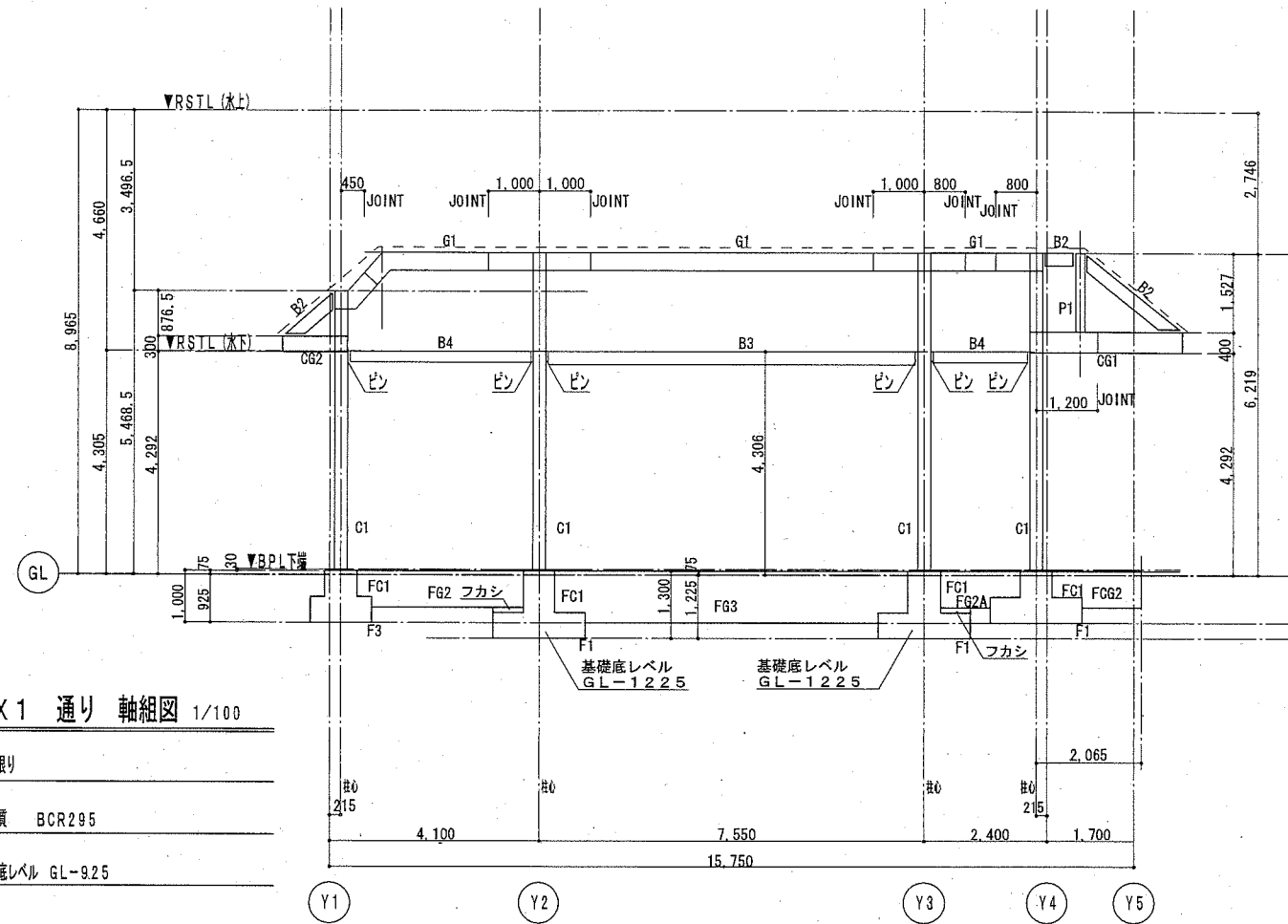
承認	設計	設計年月日
		年月日
		2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事	図面番号
図面名称 屋根伏図 (屋根梁・小屋束伏図・母屋伏図)	Scale - 1:100



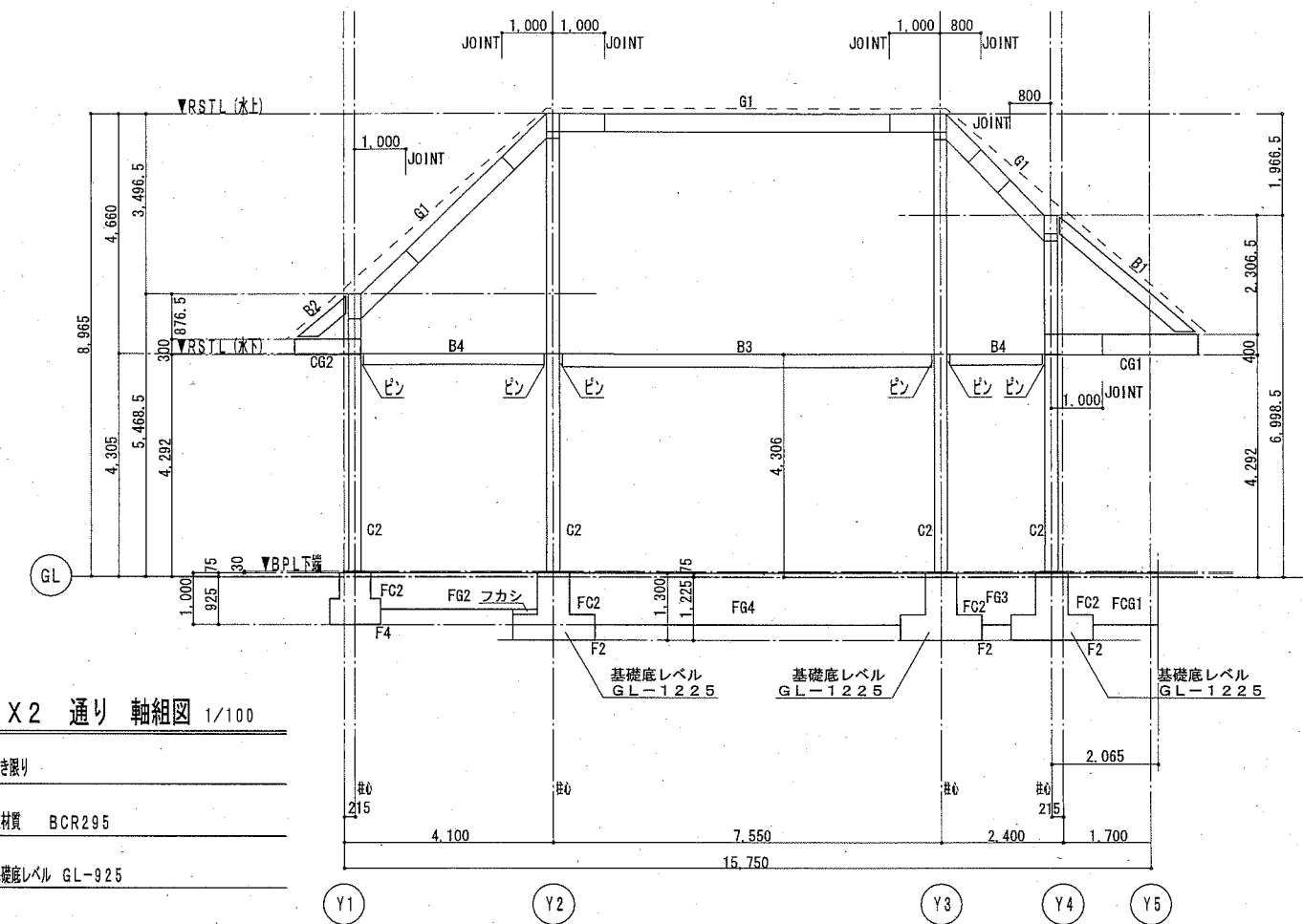
承認	設計	設計年月日
		年月日 2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事	図面番号
図面名称 Y通り 軸組図	Scale 1:100



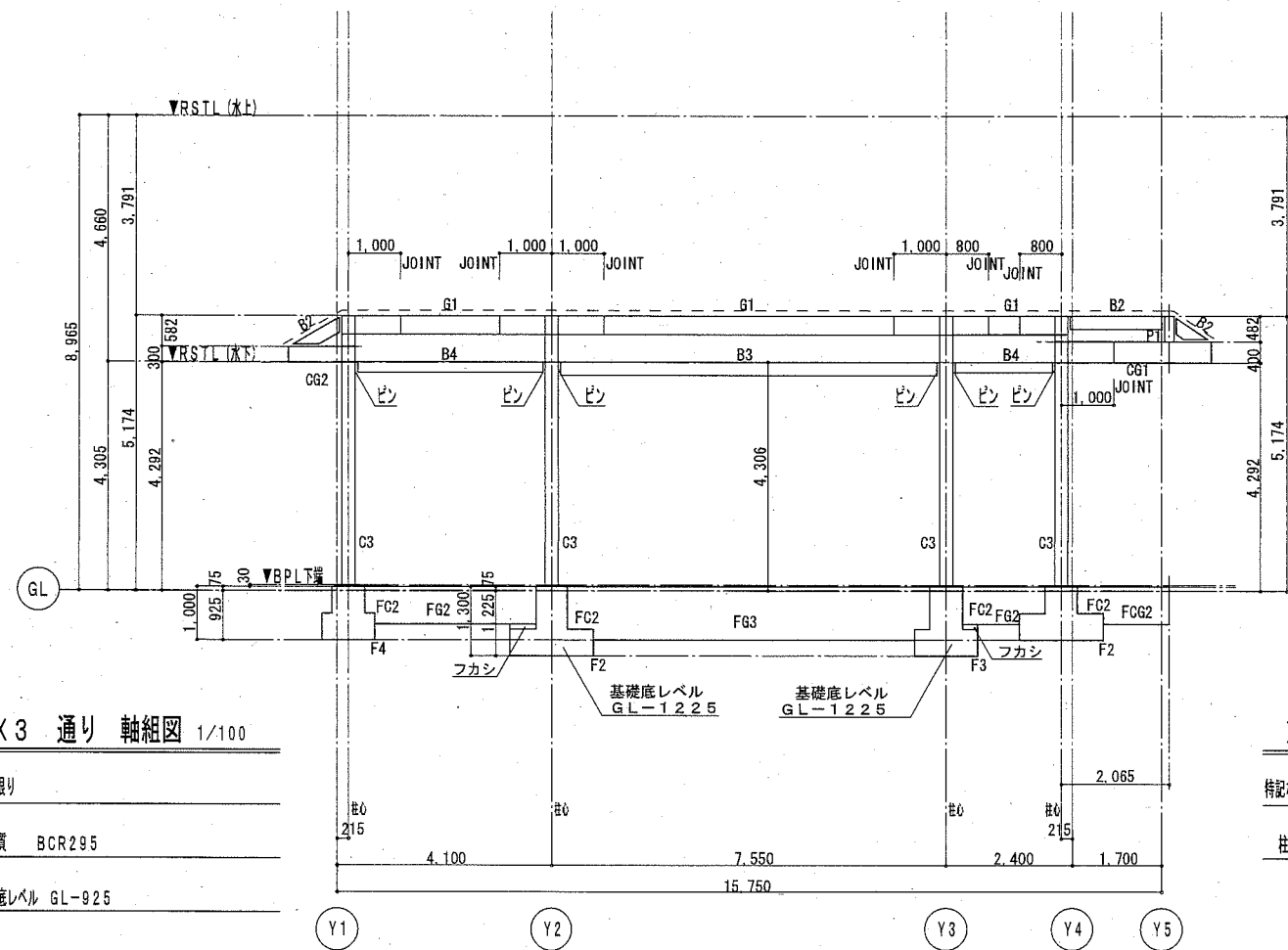
X1 通り 軸組図 1/100

特記なき限り
柱材質 BCR295
基礎底レベル GL-925



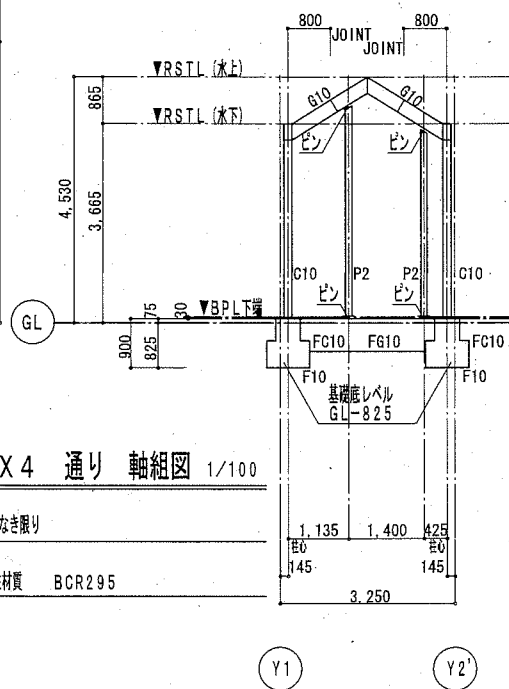
X2 通り 軸組図 1/100

特記なき限り
柱材質 BCR295
基礎底レベル GL-925



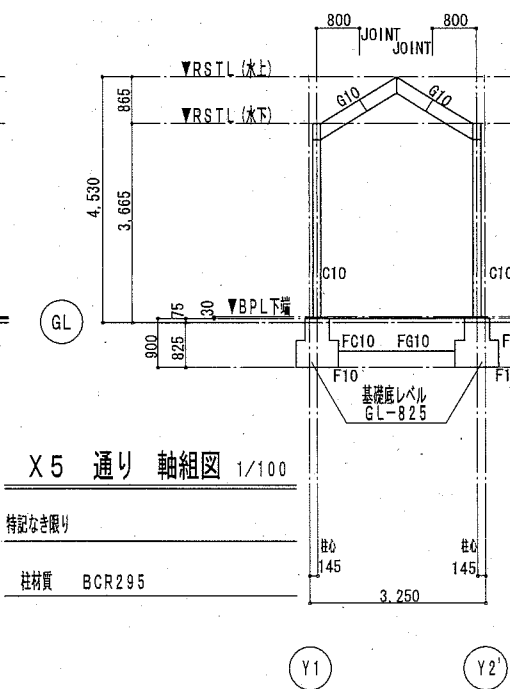
X3 通り 軸組図 1/100

特記なき限り
柱材質 BCR295
基礎底レベル GL-925



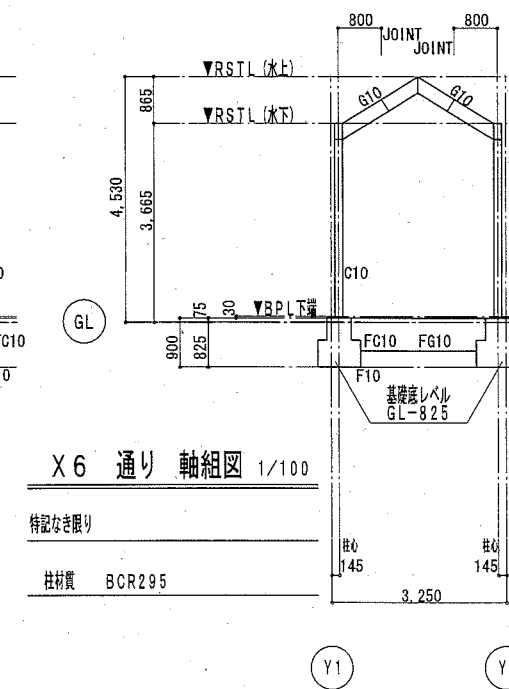
X4 通り 軸組図 1/100

特記なき限り
柱材質 BCR295



X5 通り 軸組図 1/100

特記なき限り
柱材質 BCR295



X6 通り 軸組図 1/100

特記なき限り
柱材質 BCR295

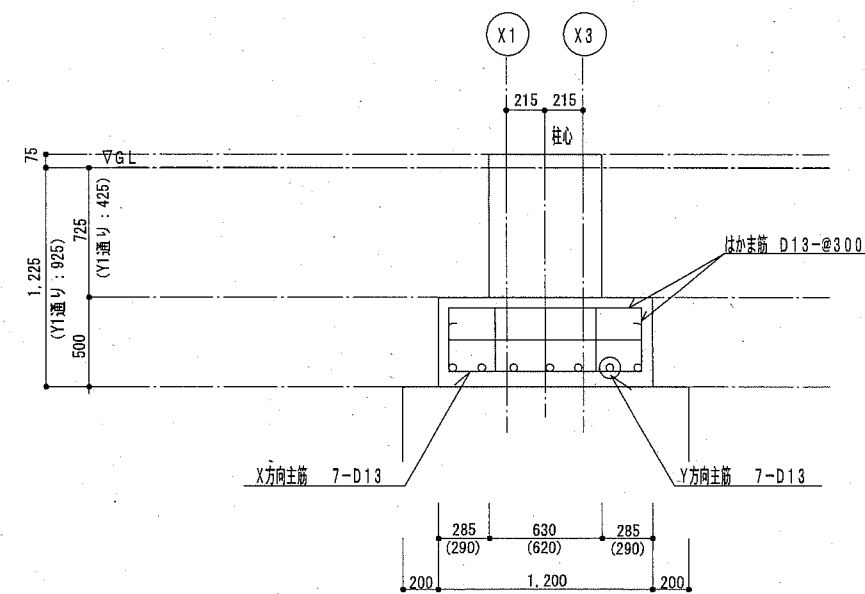
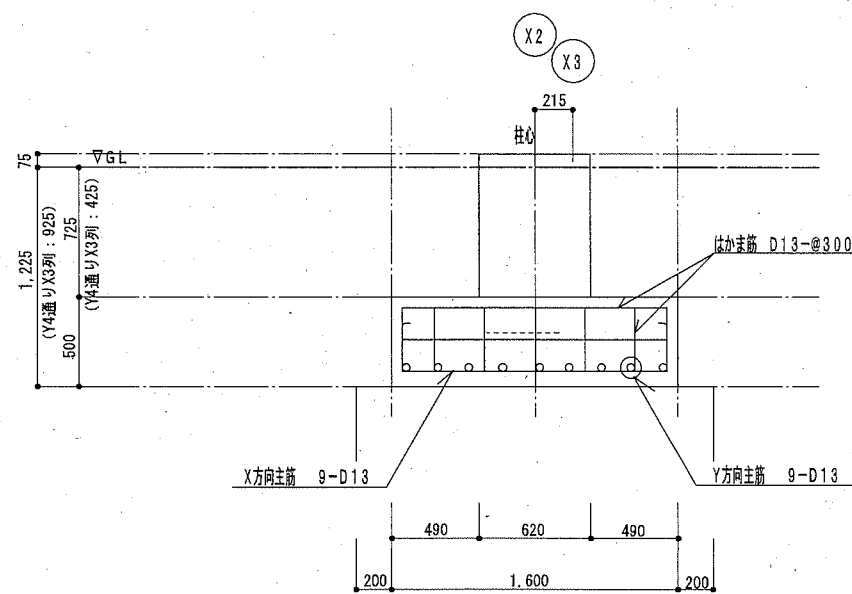
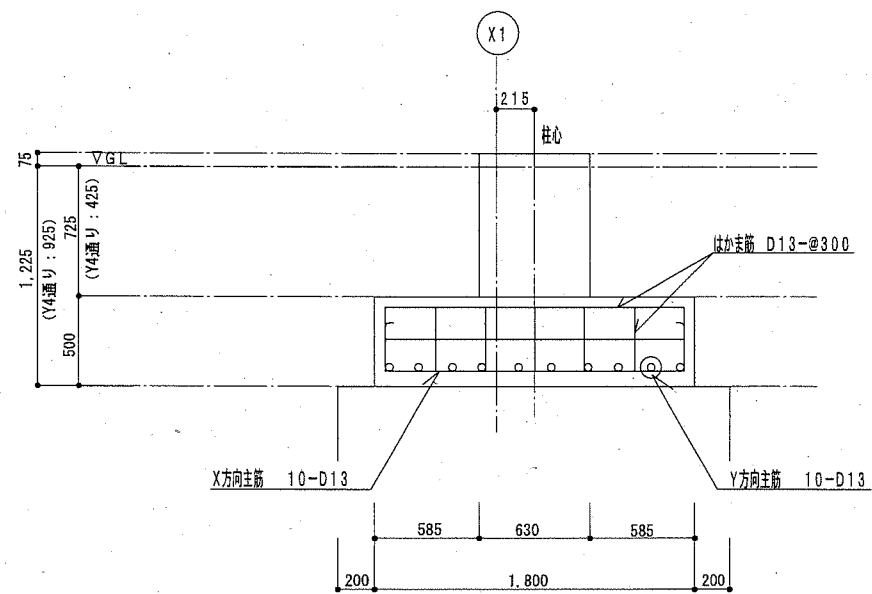
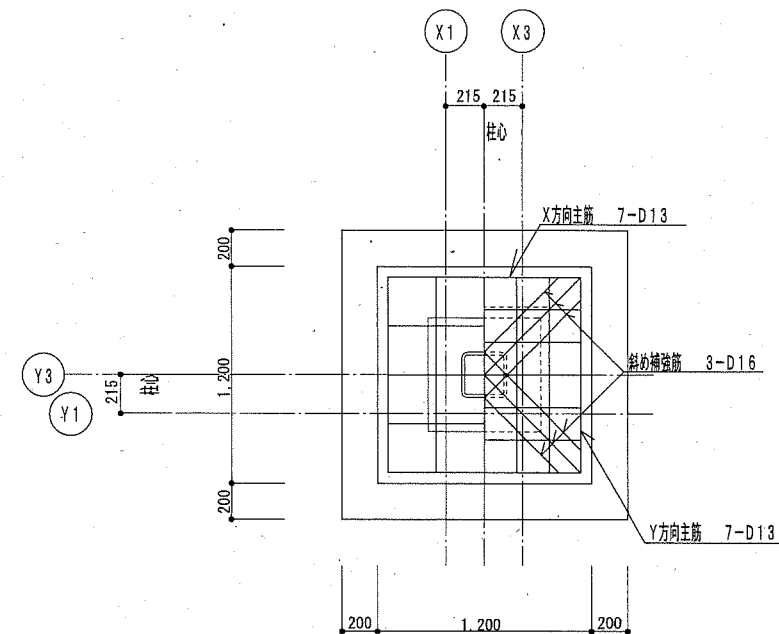
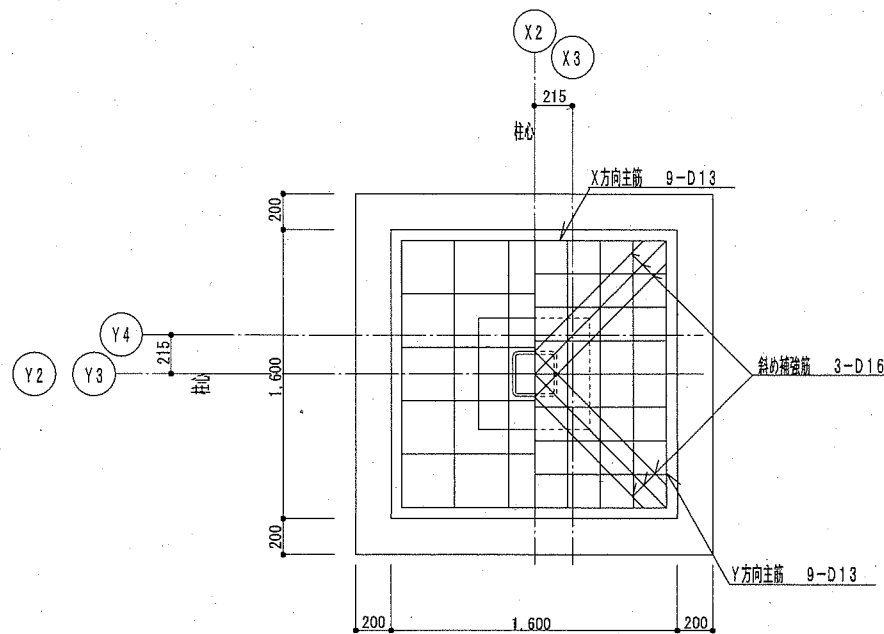
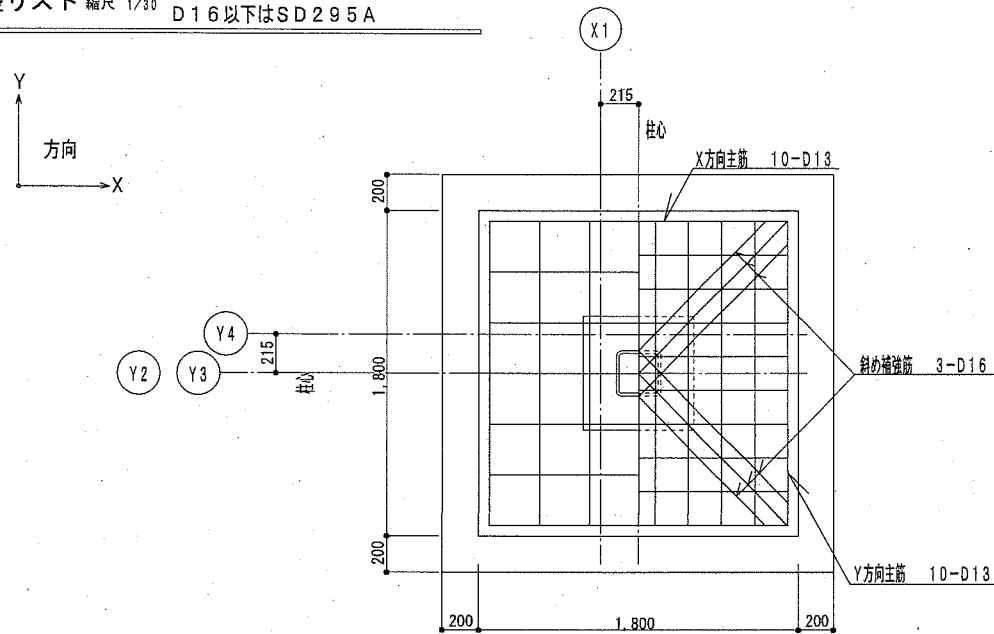


承認	設計	設計年月日
		年月日 2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイドセンター新築その他工事	図面番号
図面名称 X通り 軸組図	Scale - 1:100

構造詳細図

基礎リスト 縮尺 1/30
 D19以上D25以下はSD345
 D16以下はSD295A



F1基礎
(3箇所)

長期地耐力 $f_e = 300 \text{ kN/m}^2$ 泥岩層
 支持層がない場合、ラップコンクリート打設
 ラップコンクリート有 ⇒ 砕石、捨てコン無
 ラップコンクリート無 ⇒ 砕石厚100、捨てコン厚50

F2基礎
(5箇所)

長期地耐力 $f_e = 300 \text{ kN/m}^2$ 泥岩層
 支持層がない場合、ラップコンクリート打設
 ラップコンクリート有 ⇒ 砕石、捨てコン無
 ラップコンクリート無 ⇒ 砕石厚100、捨てコン厚50

F3基礎
(2箇所)

長期地耐力 $f_e = 300 \text{ kN/m}^2$ 泥岩層
 支持層がない場合、ラップコンクリート打設
 ラップコンクリート有 ⇒ 砕石、捨てコン無
 ラップコンクリート無 ⇒ 砕石厚100、捨てコン厚50

() はFC2の寸法を示す

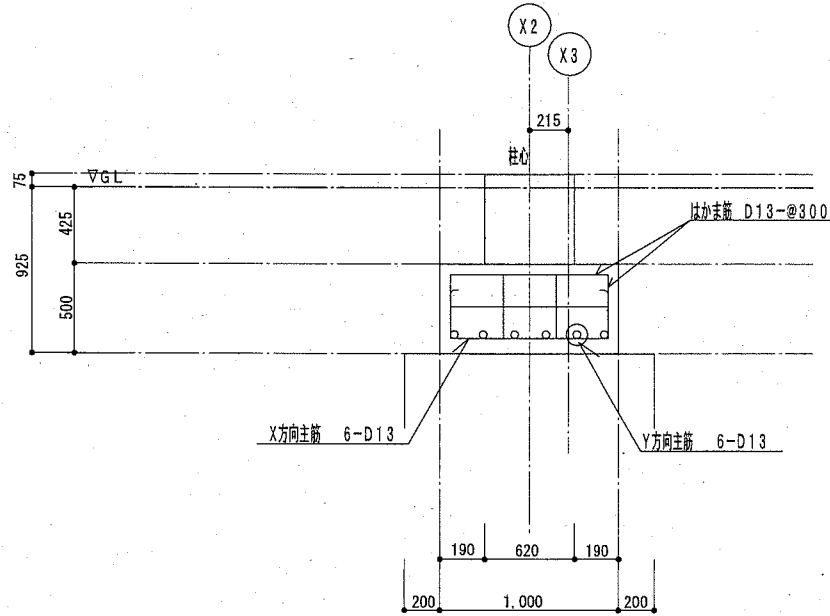
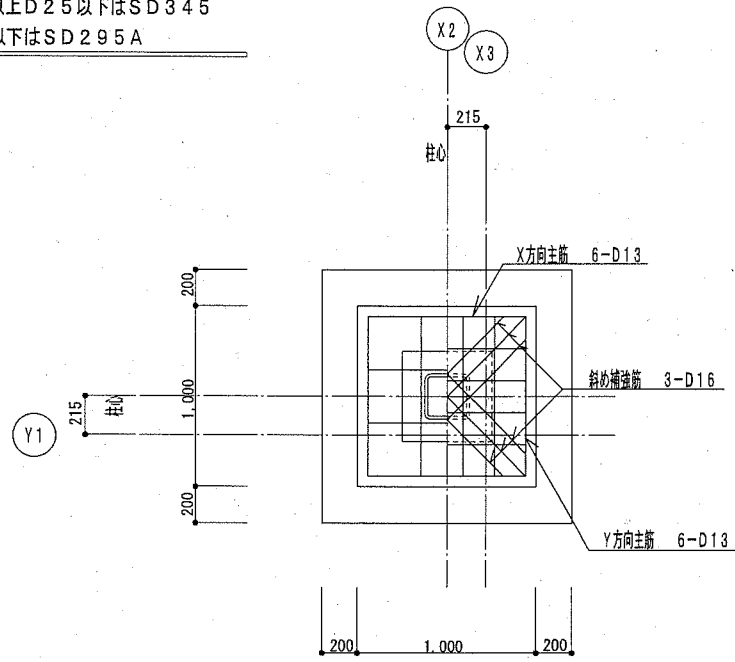
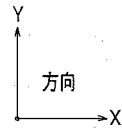
備考：ラップコンクリート30mm

基礎符号	杭符号	根 本 数	杭径 D	基礎下端 DI	基礎上端 A	基礎成 H	X 方向		Y 方向		X 方向ベース筋	Y 方向ベース筋	はかま筋	備 考		
							基礎幅 BX	へりあき		基礎幅 BY					へりあき	
								X1	X2						Y1	Y2
F1				925 1225	425 725	500	1800			1800			10-D13	10-D13	D13-@300	
F2				925 1225	425 725	500	1600			1600			9-D13	9-D13	D13-@300	
F3				925 1225	425 725	500	1200			1200			7-D13	7-D13	D13-@300	



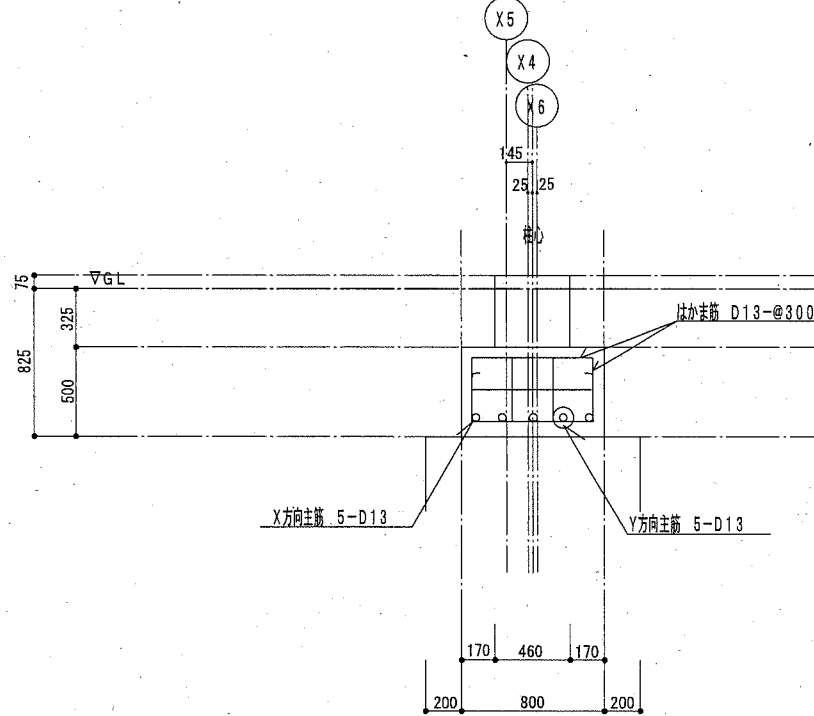
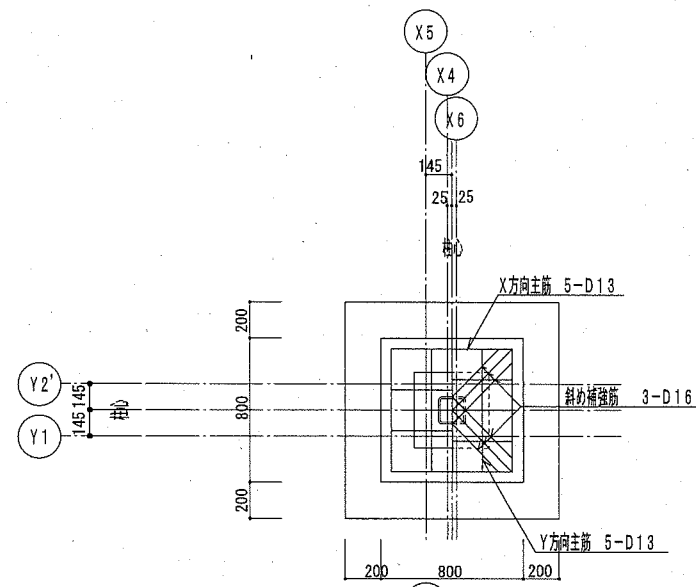
構造詳細図

基礎リスト 縮尺 1/30
 D19以上D25以下はSD345
 D16以下はSD295A



F4基礎
(2箇所)

長期地耐力 $f_e = 300 \text{ kN/m}^2$ 泥岩層
 支持層がでない場合、ラップコンクリート打設
 ラップコンクリート有 ⇒ 砕石、捨てコン無
 ラップコンクリート無 ⇒ 砕石厚100、捨てコン厚50

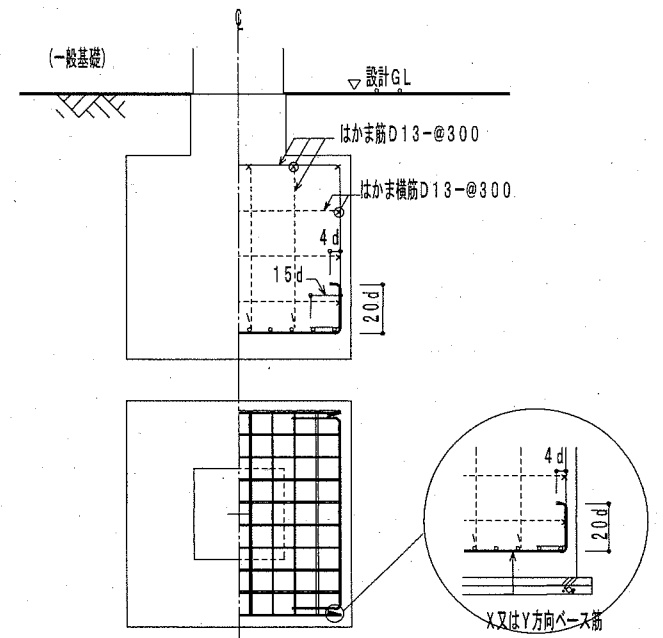


F10基礎
(6箇所)

長期地耐力 $f_e = 300 \text{ kN/m}^2$ 泥岩層
 支持層がでない場合、ラップコンクリート打設
 ラップコンクリート有 ⇒ 砕石、捨てコン無
 ラップコンクリート無 ⇒ 砕石厚100、捨てコン厚50

仕様

- 隅角部のベース筋は、一方を水平に20d以上定着し、他方を立ち上げるものとする。
- はかま筋は、特記なき限りD13-@300とし、末端部は15d以上ベース筋とラップさせる。尚隅角部のはかま筋は、一方を水平に20d以上定着させる。
- はかま横筋は、D13-@300とする。
- フーチング側面は、杭面から300mm以上確保する。
- ベース筋は、杭頭からスパーサー等により70mm以上のかぶりを確保する。



ベース筋の立ち上げ

基礎符号	杭符号	本数	杭径 D	基礎下端 Df	基礎上端 A	基礎成 H	X方向		Y方向		X方向ベース筋	Y方向ベース筋	はかま筋	備考		
							基礎幅 Bx	へりあき		基礎幅 By					へりあき	
								X1	X2						Y1	Y2
F4				925	425	500	1000				6-D13	6-D13	D13-@300			
F10				825	325	500	800				5-D13	5-D13	D13-@300			

備考：ラップコンクリート30mm



承認 設計 設計年月日
 年月日
 2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事
 図面名称 構造詳細図 (基礎リスト2) Scale 1:30

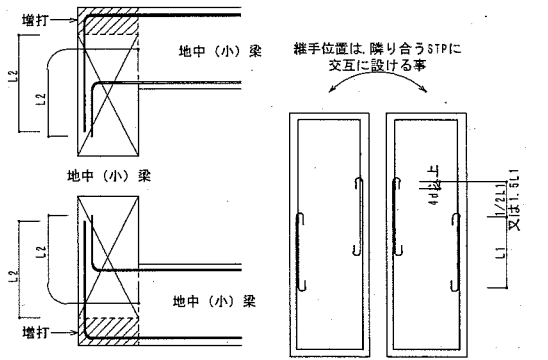
構造詳細図 大梁リスト

縮尺 1/30 *特記なき限り、巾止メ筋はD10-@1000とする

D28以上は S0390
D19以上D25以下はS0345
D16以下は S0295A

符号	FG1	FG2, FG2A	FG3	FG4	FG10
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面					
断面寸法	400x700	400x700	400x1,000	400x1,000	350x600
上端筋	4-D22	8-D22	6-D22	7-D22	3-D19
下端筋	4-D22	8-D22	6-D22	7-D22	3-D19
あばら筋	□-D13-@200	□-D13-@200 (□-D13-@100 FC2A)	□-D13-@200	□-D13-@200	□-D13-@200
巻筋	2-D13	2-D13	4-D13	4-D13	2-D13

特記なき限り
STP形状は閉鎖形先曲げ又は溶接(片面104以上)
巾止メ筋はD10-@1000



地中(小)梁主筋の増打定着 *1 STP形状は上図の様にしてもよい

構造詳細図 大梁リスト

縮尺 1/30 *特記なき限り、巾止メ筋はD10-@1000とする

D28以上は S0390
D19以上D25以下はS0345
D16以下は S0295A

符号	FCG1・FCB1		FCG2		FB1		FB2	FB3
	基端	先端	基端	先端	両端	中央	全断面	全断面
断面								
断面寸法	400x1,000		400x700		400x800		400x700	350x600
上端筋	8-D22	4-D22	6-D22	4-D22	6-D22	4-D22	3-D22	3-D22
下端筋	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	4-D22	6-D22	3-D22	3-D22
あばら筋	□-D13-@200		□-D13-@200		□-D13-@200		□-D13-@200	□-D13-@200
巻筋	4-D13		2-D13		2-D13		2-D13	2-D13

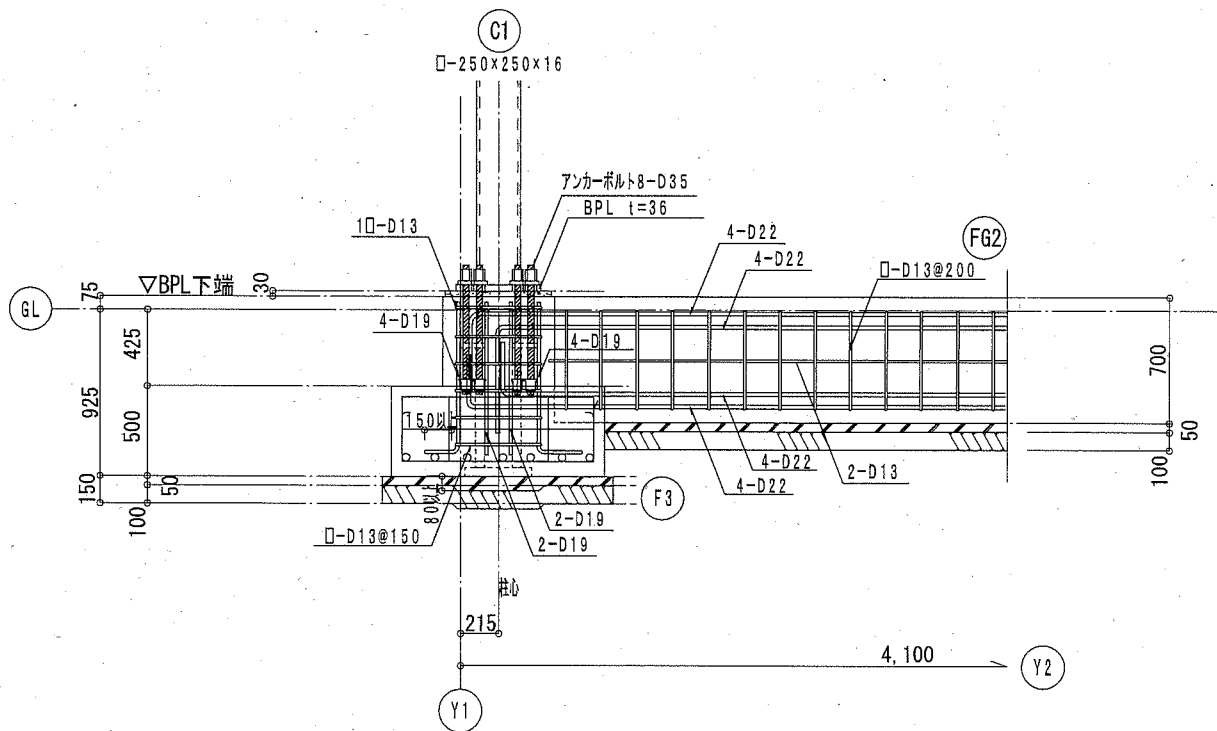
029以上は SD390
 019以上025以下はSD345
 016以下は SD295A
 特記なき限り
 STP形状は閉鎖形先曲げ又は溶接(片面194以上)

構造詳細図 柱脚リスト 1/30

符号	FC1	FC2	FC10
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
断面寸法	630 x 630	620 x 620	460 x 460
主筋	12-D19	8-D16	8-D10
帯筋	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D10-@150
備考			

構造詳細図 鉄骨リスト 1/20

符号	C1	C2	C3	P1	P2	P3	C10
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
全断面							
断面寸法	□-250x250x16	□-250x250x12	□-250x250x9	□-175x175x6	H-125x125x6.5x9	□-100x100x3.2	□-150x150x9
備考	ジャストベース工法 J250-16	ジャストベース工法 J250-12	ジャストベース工法 J250-09	BPL-16 4-M16	BPL-12 2-M16	BPL-12 2-M16	ジャストベース工法 J150-09
	アンカーボルト 8-D35 タ'イアフラム SN490C 柱材質 BCR295 ジャストベース工法は別図参照	アンカーボルト 4-D35 タ'イアフラム SN490C 柱材質 BCR295 ジャストベース工法は別図参照	アンカーボルト 4-D35 タ'イアフラム SN490C 柱材質 BCR295 ジャストベース工法は別図参照	P1 梁柱脚 接合部 	P2 梁柱脚 接合部 	P3 梁柱脚 接合部 	アンカーボルト 4-D29 タ'イアフラム SN490C 柱材質 BCR295 ジャストベース工法は別図参照
				1階柱脚部はS-20による		P3 柱梁 接合部 	

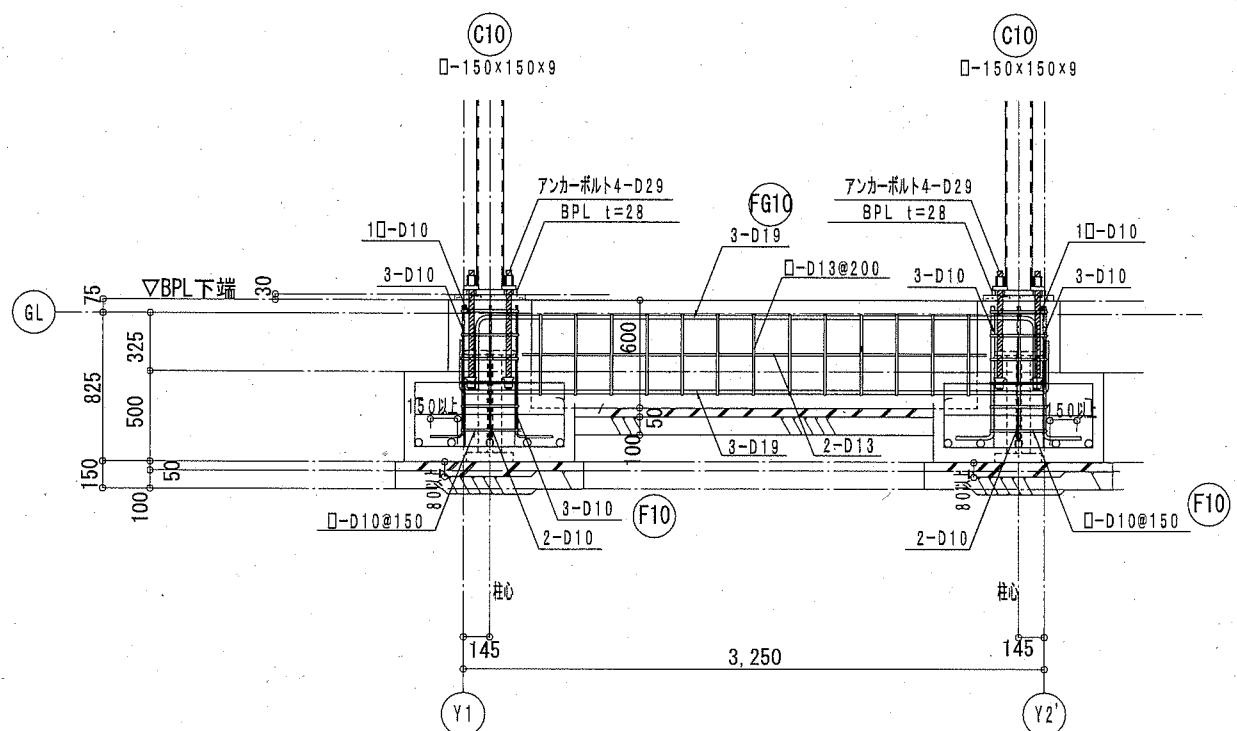


X1 通り基礎配筋詳細図 1/30

特記なき限り

柱材質 BCR295

長期地耐力 $f_e = 300 \text{ kN/m}^2$ 泥岩層
 支持層がでない場合、ラップコンクリート打設
 ラップコンクリート有 ⇒ 砕石、捨てコン無
 ラップコンクリート無 ⇒ 砕石厚100、捨てコン厚50



X5 通り基礎配筋詳細図 1/30

特記なき限り

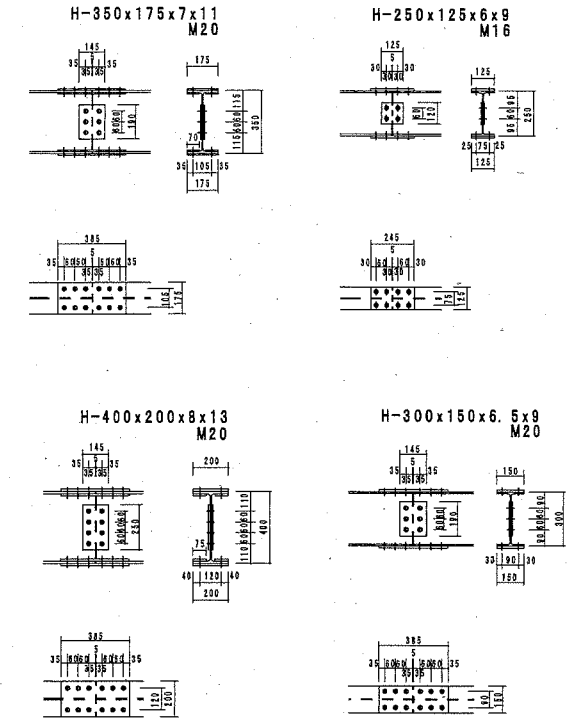
柱材質 BCR295

長期地耐力 $f_e = 300 \text{ kN/m}^2$ 泥岩層
 支持層がでない場合、ラップコンクリート打設
 ラップコンクリート有 ⇒ 砕石、捨てコン無
 ラップコンクリート無 ⇒ 砕石厚100、捨てコン厚50



符号	G1	G2	CG1	CG2	G10・CG3
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面					
断面寸法	H-350x175x7x11	H-250x125x6x9	H-400x200x8x13	H-300x150x6.5x9	H-250x125x6x9
備考	FLG継手 2SPL-9 6-M20	FLG継手 SPL-12 4-M16	FLG継手 2SPL-12 6-M20	FLG継手 SPL-12 6-M20	FLG継手 SPL-12 4-M16
	WEB継手 2SPL-9 3-M20	WEB継手 2SPL-6 2-M16	WEB継手 2SPL-9 4-M20	WEB継手 2SPL-6 3-M20	WEB継手 2SPL-6 2-M16
	タイヤラム SN490C PL-19、-22	タイヤラム SN490C PL-16	タイヤラム SN490C PL-19、-22	タイヤラム SN490C PL-16	タイヤラム SN490C PL-16

剛接合部材 接合部

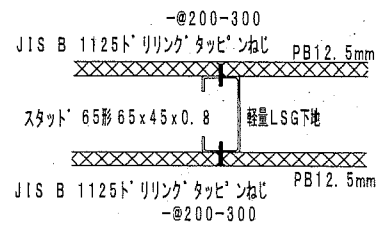


記号	B1	B2	B3	B4	B5	S	母屋	B10
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
形状寸法								
鉄骨	H-300x150x6.5x9	H-250x125x6x9	H-250x250x9x14	H-200x200x8x12	H-200x100x5.5x8	H-100x100x6x8	C-100x50x20x3.2	H-250x125x6x9
備考	GPL-9 3-M20	GPL-6 2-M16	GPL-9 2-M20	GPL-9 2-M20	GPL-6 2-M16	GPL-6 2-M16	GPL-4.5 2-13φ 中ボルト ワッシャー付	GPL-6 2-M16

構造詳細図

壁下地 詳細図 1/10

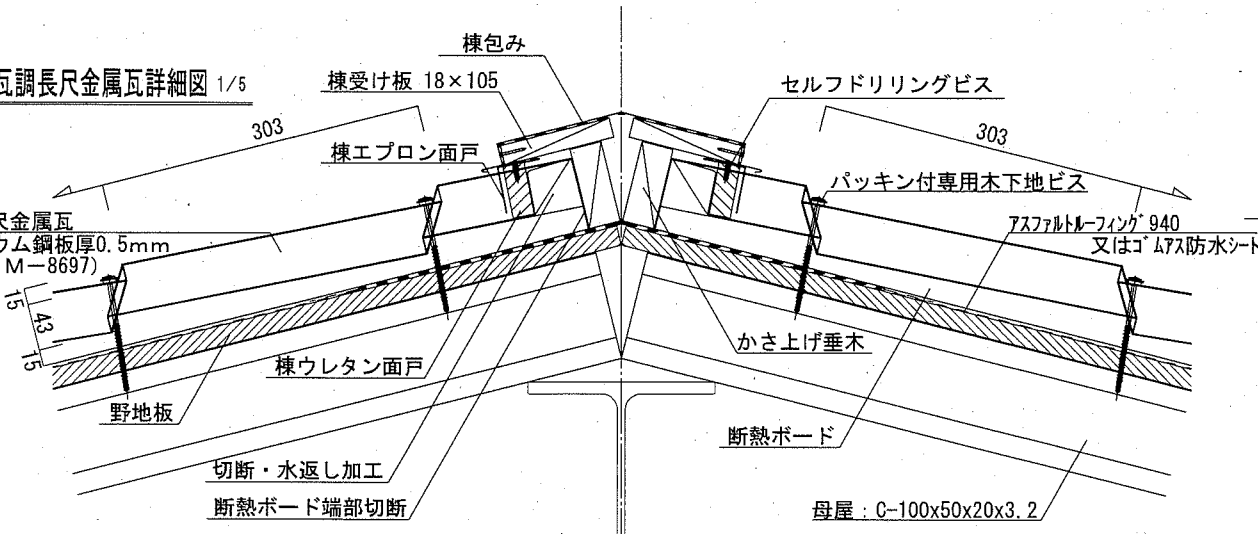
(外壁面の仕上げは意匠参照)



構造詳細図

金属屋根：和風棧瓦調長尺金属瓦詳細図 1/5

金属屋根：和風棧瓦調長尺金属瓦
耐摩塗装次世代ガルバリウム鋼板厚0.5mm
(NM-8697)

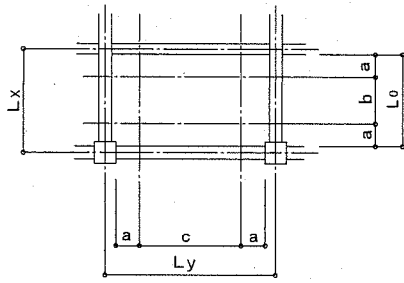


構造詳細図

共通事項

特記なき限り下記による

1. 床スラブ用語及び配筋範囲の説明

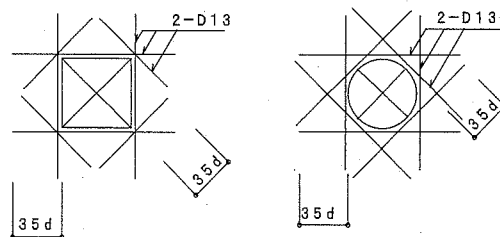


- Lx : 短辺スパン長さ
- Ly : 長辺スパン長さ
- L0 : 短辺方向内法有効長さ
- a : 周辺部 ($Lx/4$)
- b : 長辺方向柱間帯
- c : 短辺方向柱間帯

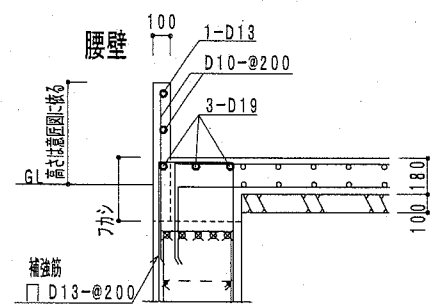
短辺方向 : 短辺方向に配置する鉄筋
長辺方向 : 長辺方向に配置する鉄筋

2. 床スラブ開口部補強筋要領

開口部の長辺又は、直径が300以上の場合に適用

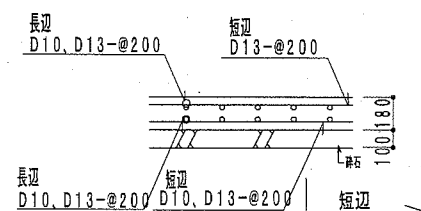


符号	室名	Lx x Ly	厚さ	位置	短辺方向			長辺方向		
					柱間帯		周辺部	柱間帯		周辺部
					端部	中央部	全断面	端部	中央部	全断面
S1		モチアミ	180	上層筋	D13-@200			D10, D13-@200		
				下層筋	D10, D13-@200			D10, D13-@200		
S2		モチアミ	180	上層筋	D10, D13-@200			D10, D13-@200		
				下層筋	D10, D13-@200			D10, D13-@200		
				上層筋						
				下層筋						
				上層筋						
				下層筋						
				上層筋						
				下層筋						
				上層筋						
				下層筋						
				上層筋						
				下層筋						

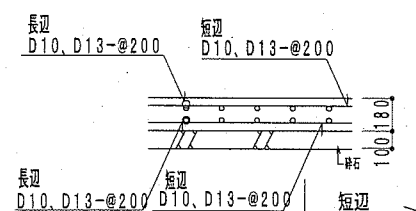


構造詳細図

標準増打ちコンクリート補強、腰壁詳細図 1/30



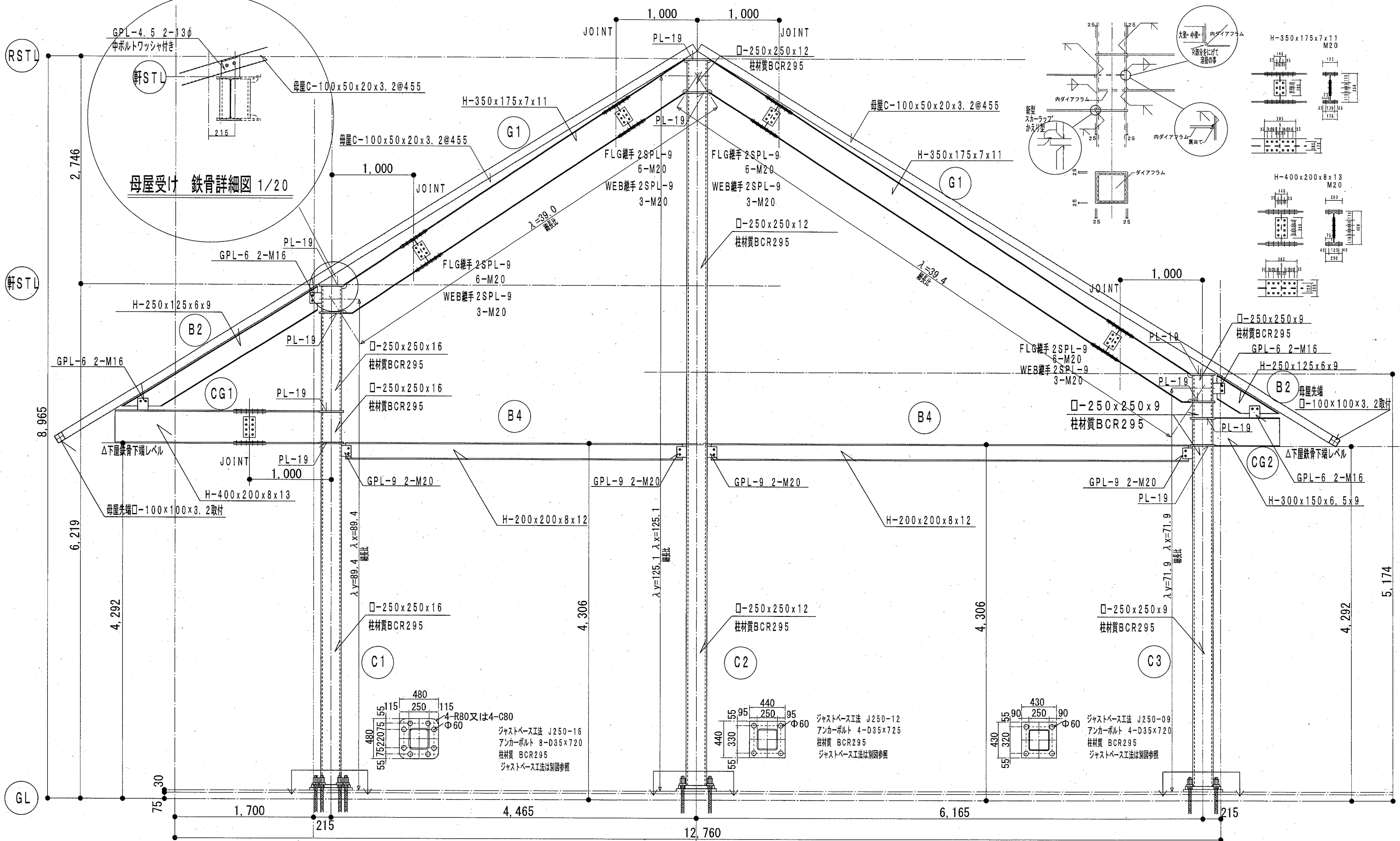
構造詳細図 S1スラブ 1/30



構造詳細図 S2スラブ 1/30

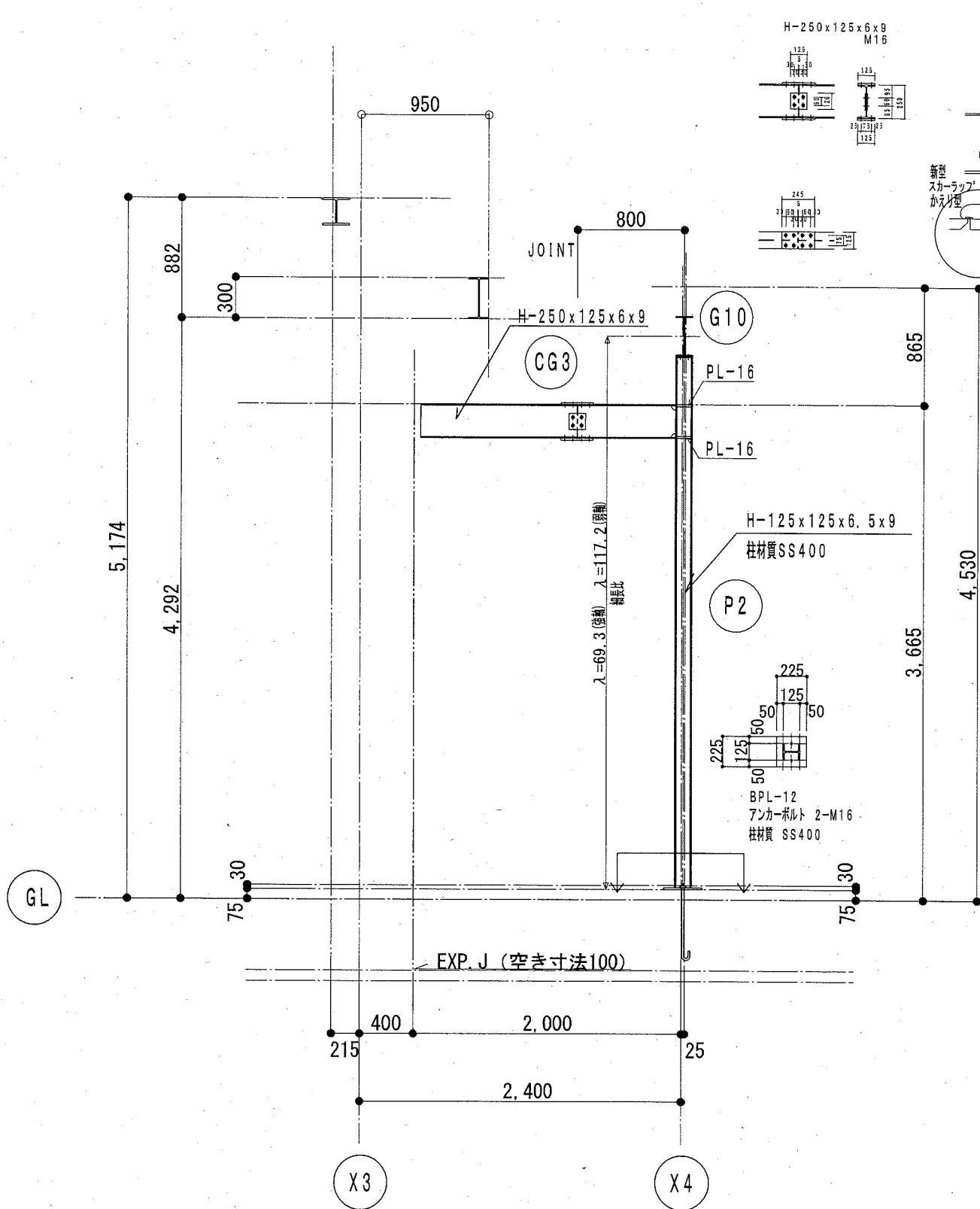


承認	設計	設計年月日	工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事	図面番号
		年月日 2019.10	図面名称 構造詳細図・床スラブ断面表	Scale - 1:30



Y2通り 鉄骨詳細図 1/30

特記なき限り
 柱材質 BCR295
 梁材質 SS400

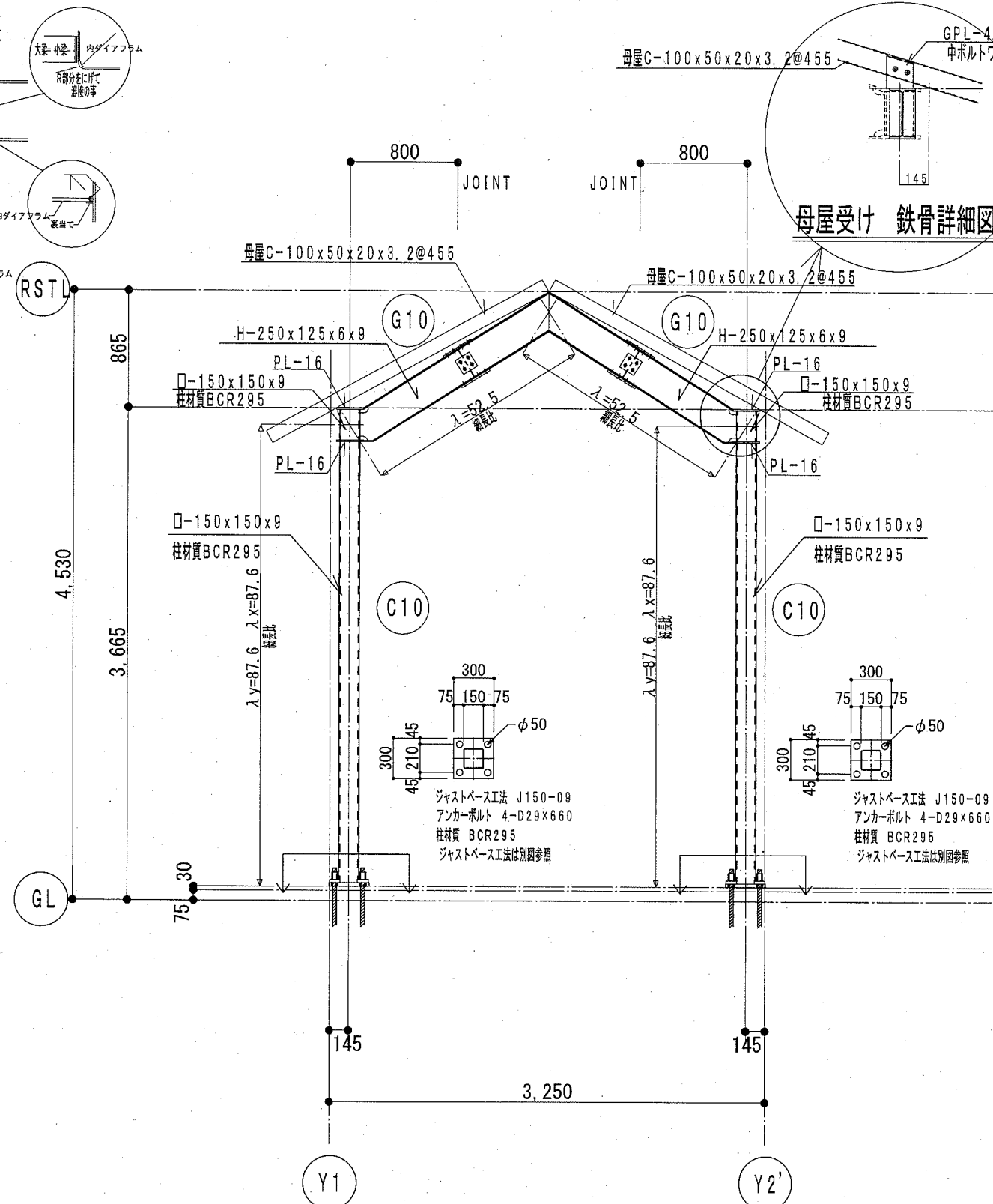
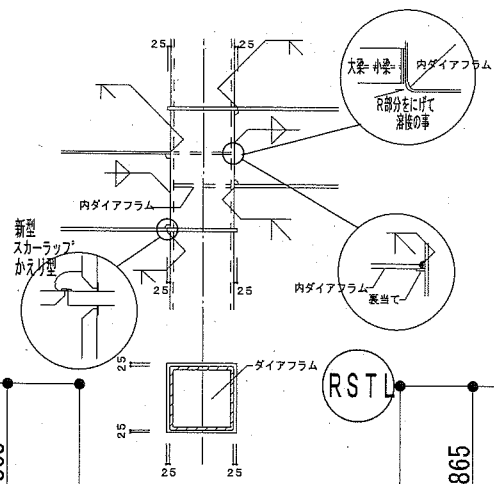


EXP. J 鉄骨詳細図 1/30

特記なき限り

柱材質 BCR295

梁材質 SS400

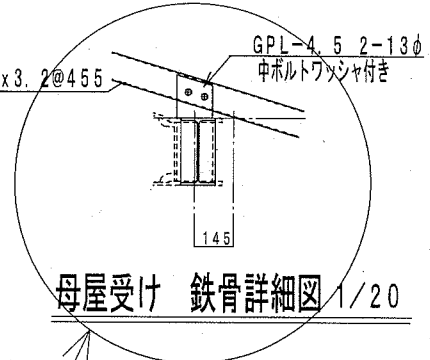


X5通り 鉄骨詳細図 1/30

特記なき限り

柱材質 BCR295

梁材質 SS400



母屋受け 鉄骨詳細図 1/20



承認	設計	設計年月日
		年月日 2019.10

工事名 (仮称) 横須賀市近代遺産ガイダンスセンター新築その他工事	図面番号
図面名称 鉄骨詳細図 (EXP. J部・X5通り)	Scale 1:20・1:30